

金光学園

やっなみ

2024.12

創立130年記念号



268・269合併号



高校入学式



中学入学式



中学ゆずり葉の会



令和6年3月19日(火)、義務教育終了式と、中学ゆずり葉の会が行われた。終了式では藤井裕生くんが総代として卒業証書を受け取り、大橋千紘さんが中学生生活を振り返り、友人や家族、後輩への感謝の気持ちを述べた。

その後、生徒会役員の引き継ぎ式である「中学ゆずり葉の会」が行われた。1年生は「合唱」と「呼びかけ」、2年生は「体育会のダンス」と「呼びかけ」という、旅立つ先輩に対する温かな出し物が行われた。その後、いよいよ3年生による出し物が行われた。有志による「バンド演奏」や「コーラス」から始まり、家族、後輩、先生への感謝の手紙が紹介された。続く、中学3年生全員による合唱の「手紙」では、素晴らしいハーモニーを披露し、会場からは感動の声が上がった。その後も、クラスごとのダンスや有志による迫力あるダンス、拍手観音、呼びかけと様々な趣向を凝らした出し物が続いた。ラストは全体合唱「友」と「呼びかけ」で締めくくった。最
高学年の中学3年生らしい、素晴らしい出し物であった。

「創立百三十周年記念式典に出席して」

高戸 賢一

2024年11月8日に執り行われました金光学園創立百三十周年記念式典にやつなみ保護者会副会長として出席させていただきました。やつなみ保護者会としてかかわるまで金光学園の理念に触れる機会も少なく、この度の式典で改めてその理念を知り、深く感銘を受けました。

田淵理事長先生のご挨拶や金光校長先生の式辞の中で幾度とおっしゃられていた建学の理念である「世のお役に立つ人材の育成」、そのための「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」、「これらの理念は130年経ても揺るぎのない、そして理念の大切さを深く認識させてくれました。

祭事から始まった式典は厳かで、学園の長きに渡る伝統を感じ、卒業生の人材の豊富さはまさしく理念を实践されてこられたからこそではないでしょうか。私自身は卒業生ではありませんが学園愛が深まり、少しでもかかわれたことが大きな誇りとなりました。

後の講演は「お客様に喜ばれる仕事」との題で越智幸紀先生のお話でした。講話の中に劇団四季の企業理念として「人生の感動 生きた喜びを届ける」といったことがありました。

明確な理念のもと、「やっといういいこと、してはいけないこと」がはっきりとし、その存在価値が高まっていくと思います。劇団四季は創立から70年を過ぎ、それを越智先生は「存在を許された」と、とても謙虚な表現をされていましたが、価値が高まることよって「存在を許された」のではなく必要とされる存在価値があったということではないでしょうか。

式典においても講演においても理念の大切さを改めて学ぶことができました。今後の金光学園においてもさらに高まる存在価値のもと、20年、30年と伝統を深めていかれることを切に祈念いたします。

(金光学園やつなみ保護者会 副会長)

目次

巻頭言	1
中学・高等学校校入学式	2
道	12
学園生の故郷	14
活躍する卒業生：鈴木重一郎	17
表紙の言葉	19
やつなみ保護者会のページ	20
会長就任挨拶	23
友愛セーブルご協力の御礼	24
地区会報告	25
自画像	26
メタセコイア	28
活躍おめでとう	29
金光学園創立百三十年記念式	33
会報	47
令和6年度大学入試結果	49
国際交流活動報告	50
中学生になって	64
入校時合宿	67
中学2年生 広島平和宿泊研修	70
高1 一日旅行	74
高2 修学旅行	77
芸術鑑賞会 兼 百三十年記念音楽会	90
ほつま祭	94
高3 人権講演	98
法人決算の概要／保護者会決算・予算	100
金光学園わかばプロジェクトの活動について	104
ある日のホームルーム	109
生徒会活動	111
学園だより	126
教室の窓から	132
編集後記	

金光学園 中学・高等学校 入学式

4月8日、入学式が挙行された。中学は午前9時から131名が、高校は午後1時30分から180名が、保護者・教職員の祝福を受けて新たな出発をした。

国歌斉唱、校長式辞の後、中学は柚木柚七さんが、高校は岡野寿美さんがそれぞれ「願いのことば」を力強く述べた。続いて学校法人理事長田淵美賀雄氏の挨拶、金光教を代表して教務総長 岩崎道與氏の祝辞があり、次に保護者を代表して中学は清水裕介氏、高校は中桐大作氏の挨拶があった。終わりに、中学では学園歌紹介、高校は学園歌斉唱で式の最後が締めくくられた。

式辞

校長 金光 道晴



今日は、金光駅周辺の桜も、校庭の桜も皆さんの入学式をお祝いするかのよう満開になっています。ここ何年も、入学式の日には、すっかり花は散って葉桜になっていたこともありましたが、ほとんど散ってしまい、花はわずかしが残っていないような年も多かったです。今年は3月下旬には寒い日が続きます、と

りわけここ金光町は県内各地よりも開花が遅かっただけに、今日桜満開の中で、来賓の方々にもご臨席を賜り、このように美しく入学式が挙行できますことは誠に有り難く嬉しいことでもあります。

金光教務総長様をはじめ、金光教関係の来賓の皆様には、昨日、3日間にわたる春の御大祭を任せ終えられたばかりの中で、また、やつなみ保護者会の皆様をはじめご来賓の方々には、年度初めのご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。高い所からではありませんが、心から御礼申し上げます。

はじめに保護者の皆様にお慶びを申し上げます。皆様には、お子様のご入学、誠にありがとうございます。地元の中学へ行けばよいところを、私学である本学園に、お子様を入学させていただきました

たことは、誠に嬉しいことであります。金光学園に入学されたということは、本学園とこれから生涯にわたる深く尊いご縁ができたということでもあります。

そして、お子様がご両親にとつて、大切なわが子であるように、私どもにとつても大切な学園の子となったわけでありますから、私達もうちの子として6年間大事にお預かりし、保護者の皆様と「あいやかけよ」で手を携え、協力し合つて、お子様の健やかな成長を見守り、共に育ててまいりたいと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、131名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今年金光学園が明治27年(1894年)に創立されて、130歳の誕生日を迎えるという節目になる年ですが、この記念すべき年に、皆さんをお迎えできることは私達教職員や在校生にとつても、大きな喜びであります。どうぞこれからの6年間の学園生活で色々なことを学び、経験し、大きく成長して頂きたいと思えます。

私は金光学園は様々なことにチャレンジできる学校だと思っておりますが、第一

にはしっかりと日々の勉強に取り組んでもらいたいと思えます。担任の先生が大部分の授業を受け持つ小学校と違って、中学では、英語や数学や国語、理科や社会体育や音楽など、それぞれの教科を担当する先生が授業をすることになります。色々な先生の授業も楽しみにしておいてください。

部活動でも頑張ってもらいたいと思えます。多くの運動部や文化部があります。皆さんが入部したい部活動は決まっていますか。まだどの部に入ろうか決まっていない人は、この四月にある一日体験入部に参加したり、新入生歓迎会での部活動紹介などを参考にしたりして、入部を決めるのもいいと思えます。

学校行事も盛んです。体育会やほつま祭と呼ばれる文化祭も盛大に行われます。小学校と違って、生徒自身が自分たちの手によって、主体的に作り上げていくもので、とても楽しみな行事です。

さらにグローバル研修や国際交流もたくさんです。コロナの期間は海外との交流もほとんどストップしていましたが、コロナが五類に引き下げられた昨年度は多くの生徒たちが外国に行ったり、海外か



ましたが、大変素晴らしい経験をし、大きく成長して帰ってきました。皆さんも中3になると行くこととなります。

このような学園生活の中で、勉学・部活動・学校行事やグローバル研修などの諸活動に積極的に取り組んで、たくましく大きく成長して行って頂きたいと願っています。私が一番大切にしてもらいたいことは金光学園の合言葉の精神であります。皆さんは入学前から合言葉については何度か見たり聞いたりしたことがあると思いますが、えんじ色のバックに金色の字で「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつ」と書かれています。これが、皆さんがこれから勉強する全ての教室に掲げられています。この言葉は、生徒の皆さんだけに大切にしたいというものではありません。

私たち教職員も、保護者の方々も、そして卒業生にいたるまで最も大切にしていく言葉で、私たちは校訓とか校是と呼び、**「合言葉」**と呼んでいます。

金光学園ではこの「人、自分、そして物をたいせつ」にし、「真に世の中のお役に立つ人を育てる」ことを願いに、日々

の教育活動を進めているのです。

どうぞ新入生の皆さんには、これから六年間かけてこの合言葉の中身をしっかりと身につけていただきたいと思っております。そして、人・自分・物を大切に出来る人、合言葉を実践できる人になって頂きたいと願っております。

もう一つお話をします。今日この後のHRで皆さんには、金光教の教祖様の教えが書かれている日めくりを入学の記念品としてお渡しします。

昨日の7日の日めくりの言葉は、「信心する者は 木の切り株に腰を下ろして 休んでも 立つ時には礼をいう心持ちになれよ」と書いてあります。例え木の切り株といえども、お世話になったものに



対する感謝の気持ちを忘れてはならないということなのです。

今日の8日には「食物はみな人の命のために天地の神がつくりあたえ給うものぞ」という言葉が書いてあります。これには続きがあって「何を飲むにも食べるにも有り難くいただく心を忘れなよ」という言葉がさらに続き、食前訓といって金光学園では食事の前に唱える言葉でもあります。

私達があたりまえに過ごしている日常生活も、色々な人や物から実に多くの恩恵を受け、お世話になっているのであります。今日のことでも、朝元気で目覚めさせてもらったこと、おいしく朝ごはんをいただいたこと、ご両親をはじめお世話になっている人はもちろんですが、靴や服や鞆などにもお世話になって、お互い今ここにいますのであります。

改めて多くの人や物のお世話になっていることに心から感謝したいと思えます。そして、今日から皆さんも合言葉の全てを大切にする心や、感謝する心を大切にして、これからの学園生活を元気で頑張っていくて頂きたいと思えます。

勉強はもちろん、生徒会行事、部活動

などいろいろな活動に全力を尽くし、心身を鍛え、豊かな人間関係を養い、友達と仲良くして立派な金光学園の生徒として成長していくようお祈りし、もう一度「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の合言葉を申し上げ、式辞といたします。

法人理事長挨拶

田淵 美賀雄



天地の息吹を体いっぱい浴びて、晴れて金光学園高等学校に入学された生徒の皆様、誠におめでとうございます。それぞれに希望を抱いてこの日をお迎えになったことでしょう。心からお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、今日

までお子様を愛情深く育ててこられ、晴れて入学の日をお迎えになりましたこと、誠にお慶びのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

また、金光教団におかれましては、日頃から金光学園に変わりなく温かいご理解とご支援を賜っておりますこと、誠に有り難いことに存じます。厚く御礼申し上げます。

さて、わが金光学園では、「真に世のお役に立つ人材の育成」を建学の精神として、「学・徳・体一本の全人教育」に取り組んでおります。世界各地における紛争や、国内外の経済的格差、人権侵害や差別、環境破壊など、これまでの世界秩序の枠組みが大きく変わろうとしている今こそ、人間として尊い行いを為すことができる全人教育が必要とされています。

「人間として尊い行いを為す」ということは、国家や民族を超え、老若男女の区別なく、人類の一員として、尊い行いを実践するということです。学問に励み、徳を身につけ、体を鍛えて、社会のお役に立つ人間にならせていただくために、「学・徳・体」を育てることに取り組んでいるのです。

社会のお役に立つというとき、最も小さな社会は家族・家庭でありましょう。また最も大きな社会は世界・人類でありましょう。家族あるいは世界・人類のお役に立つ、そのために「学・徳・体」を身につけるのです。

そして、それを身につけるための日々の実践として、「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という合言葉があります。この合言葉は、生徒保護者、卒業生、みんなの合言葉です。

私たちは、人や物に囲まれて生活しています。人や物の中心に自分がいて、その中心にある自分は、周りの人々や、周りにある物を大切にするとともに、自分自身をも大切にすることが重要です。そうしていくことによって、おのずから、人間として尊い行いを実践できる人格が形成されていくのです。

これから先、学園生活を日々送っていかれる皆様には、建学の精神と合言葉をもち、みずから進んで、社会のお役に立つ生き方を求めているていただきたいと思えます。

また、保護者の皆様におかれましては、元の金光教教主・金光鑑太郎様がお詠み

になった、「私たちはも子どもとともに生まれたり育たねばならぬ子どもたちはも」というお歌にあるごとく、生徒の皆様とともにお育ちになる心で、お子様方を見守り慈しみお育てになって、親子ともども、学園生活を意義深いものにして行っていただければ、誠に有り難いことに存じます。

この場にご臨席の生徒の皆さん、保護者の皆様、そして教職員の皆様の、幾久しいご健勝とご活躍を祈念申し上げて、わたくしのお祝いの言葉とさせていただきます。

金光教 教務総長挨拶

岩崎 道興



新入生の皆さん、本日はご入学まこと

そして英語は、異文化への目を開いてくれます。

このようにして、皆さんはいろいろな学びを通して、いろいろな目を育んでいくこととなります。さらに、部活動などさまざまな活動は、先輩や後輩、同級生同士、そして先生との関係など、それぞれの人間関係を通して、他の人から自分を捉える目を育ててくれます。

こうしたいろいろな目を持つことで、平面図が立体図に、二次元が3D、三次元になるように、皆さんが見る景色は豊かに、そして面白くなってきます。そしてその目は、皆さんのこれからの人生を豊かに面白くしていつてくれるでしょう。

どうかこれからの学園生活とおして、沢山の目を養ってください。そして、私としては、金光学園を通しての金光教との縁が、皆さんの中に神様から捉える目を開いてくれることを願っています。その神様の目も、皆さんの心と生き方を豊かにしていくこととなりますから。

最後になりましたが、新入生の皆さんのこれまでののちの運びを大切に支えてこられたご家族の皆様に対して、今日の日を迎えられたことの祝意を謹んで表

におめでとうございます。今日の佳き日に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

皆さんには、この学び舎での、「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」という金光学園の合い言葉を土台にした、いろいろな取り組みとおして、これから六年の間に、心も身体もお育てをいただき、「生きる力」を身につけていただきたいと願っております。

さて、金光学園が誕生する元となった金光教の信心では、神様の方から物事を捉える、ということを大切にしています。たとえば、今私が皆さんの前でお話ししているのも、神様が私にこのような時間と役割を与えてくださったという受けとめて、私は今お話しをさせていただいています。こうした捉え方は、もうひとつの目、つまり神様の目で捉えていくということになります。

そして、このもうひとつの目で捉えていくあり方は、皆さんのこれからの学園生活においても大切なことだと思っております。

私は、学問とはまさにもうひとつの目を育んでいくことだと思えます。たとえば、国語は文学的な捉え方を通して、人

しますとともに、このように輝く成長の種を、そののちに秘めた新入生を迎えられた法人関係の皆様をはじめ、校長先生、教職員の方々に対しまして、お喜びを申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

本日はまことにおめでとうございました。

私たちの願い

新入生代表 柚木 柚七



穏やかな春の日差しのもと、希望に満ちた心で新たなスタートを切る私達、新入生30名は金光学園中学校の入学式を迎えることができました。

本日は私達のためにこのような素晴らしい式をあげていただき、心から感謝を申し上げます。



間の心に触れる目を育ててくれます。数学は、論理的な考え方をしていく目を養ってくれます。理科は科学の目を、社会は歴史や地理も含めて、世の中の成り立ちとその仕組みを教えてください、その中の自分であることを見せてくれます。

今年の1月1日に能登半島地震があり、当たり前と思っていた日常が当たり前ではないと気づかされ、今を精一杯生きる事が大事だと思えました。これから始まる中学校生活を、金光学園の合言葉である「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を胸に、かけがえのない仲間たちと、学びや部活動を一生懸命に取り組み、充実した日々を送れるよう頑張ります。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、多くの先生方、先輩のみならず、どうぞ温かいご指導をよろしく願っています。

中学・保護者代表挨拶

清水 裕介



先ほどご紹介に預かりました清水裕介と申します。

大変僣越ではございますが、新入生131名の保護者を代表しまして一言ご挨拶させていただきます。

シンボルのメタセコイアの新芽も色づきはじめてこの良き日に、先生方をはじめ、学園関係者の方々のお力添えをいただき、このような素晴らしい入学式を執り行っていましたことに深く御礼申し上げます。子どもたちの努力が身を結び、今日この日を迎えることができ、したことには保護者として安堵と喜びでいっぱいでございます。

また先ほどは、理事長、校長先生はじめ金光教務総長様のあたたかい励ましのお言葉を頂き、心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今日から憧れの学園生活になり、これから始まる六年間の学園生活に期待に胸を弾ませていることと思います。

私事ではありますが、私自身、また妻も金光学園の卒業生であり、親子二代にわたりお世話になることに感慨もひとおです。今日、こうして学園の門をくぐ

り、校長先生をはじめとした懐かしい面々にお会いでき、子どもたちが充実した学園生活を過ごせることを確信しております。

私は約24年前に金光学園に入学しました。慣れない電車通学や、高校からの入学だったため、一から友達をつくらなければならぬという不安な思いで入学したことを今でも覚えています。ただ、その不安は入学後1ヶ月で無くなりました。あたたかい校風や親切な先生方、友人たちに囲まれて毎日充実した学校生活をおくることができました。当時野球部で学んだ継続することの大事さは今でもあらゆることの礎となっています。金光学園の合言葉「人をたいせつに」は卒業してから、むしろ年齢を重ねるにつれ、折に触れて立ち返る大事な言葉として胸に残っています。

また、金光学園では以前よりグローバル教育にも注力されています。当時から交換留学の制度があり、積極的にチャレンジしている同級生がいたことを覚えています。私自身、当時は全く海外に考えが至りませんでした。社会に出てから

海外に住み仕事をする機会をいただき、当時から海外への関心を持っておけば、と思うこともあります。先般中学3年生全員がオーストラリア研修に参加されたという話を伺い、羨ましいと思うと同時にいまから親として楽しみな気持ちです。中学生になり本格的に英語を学習し始める人も多いことと思いますが、その先にあるいろいろな人とのコミュニケーションや知らないことにチャレンジする気持ちこそ是非大事にして欲しいと思っています。

保護者の皆様、子どもたちが同級生となったこのご縁を大切に、これからどうぞよろしくお願い致します。

私たち保護者も、自分の目指す道に向かって進む子どもたちを信じ、見守り、支えていきたいと思っております。先生方におかれましては、子どもたちが自己実現を目指して悩み、立ち止まってしまいうこともあろうかと思いますが、厳しくも暖かくご指導、お支えいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、金光学園の益々のご発展とお集まりの皆様方のご健勝を心よりお祈りし、保護者代表の挨拶とさ

せて頂きます。

本日はありがとうございます。

新入生願いのことば

新入生代表 岡野 寿美



春の暖かい日差しに包まれ、美しい花も咲き始めた今日の良き日、新入生180名と留学生1名の計181名は晴れて金光学園高等学校の入学式を迎えることができました。本日はこのような式を挙行してくださり、心から感謝いたします。

私達が中学校に入学した頃は、新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、様々な制限のもとで毎日を過ごしました。思い通りにいかないことも多くありました。しかし、苦しい中でも、頑張ってきた時間と経験は、私達の人生の糧に

なっていると私は確信しています。

私達、新入生は、高校生活を前に、希望と不安を感じています。高校生になると中学と比べて難しい学習が始まり、最初は授業についていくことだけで精一杯になってしまいかもしれません。理解することが難しく、自分だけでは解決できないこともあるはず。しかしそんなときでも仲間たちと協力し、努力しながら乗り越えていきたいです。私達は金光学園の素晴らしい環境の中で、今まで以上に成長できるような日々を精進します。高校生活では日々の勉強と部活動の両立が課題です。3年後にある大学入試、進路選択に向け、一つ一つの経験、時間を大切にしていきたいです。

自分の将来へ向けて、これからの高校生活を歩んでいく上で大切にしたい言葉があります。「進まざるものは必ず退き、退かざるものは必ず進む」という言葉です。この言葉は、現在の一万円札の肖像になっている福沢諭吉が執筆した本、「学問のすゝめ」に書かれています。「絶え間ない自主的な努力を継続的に進めること、前に進むことにつながる。」という言葉であると解釈されています。これ

から、私達は金光学園高等学校という場で勉学に励むことができるということに感謝し、常に上を向いて、前に進むために努力し続けていきたいです。

校長先生をはじめ、諸先生方、そして家族には、これからも厳しく、そして温かく私達をご指導くださいますようお願いを申し上げます、願いの言葉とさせていただきます。

高校・保護者代表挨拶

中桐 大作



先ほどご紹介にあずかりました、中桐と申します。本日出席されておりまして保護者の皆様を代表し、僣越ではあります。まず、ご挨拶させていただきます。

まず、校長先生をはじめとされます

教職員の皆様、子どもたちのためにこのような素晴らしい入学式を挙行していただき、心より感謝申し上げます。平日頃より、勉強だけでなく人間力を育むために、創意工夫をされていることに感銘をうけております。個性に富んだ子どもたちに対し、サポートをしっかりしていただけの学園だからこそ、これからの3年間を安心してお願いできると考えています。どうぞ、3年間よろしくお願いたします。

また、本日はご多忙にもかかわらずご臨席いただきました、来賓の皆様にも、心より感謝申し上げます。皆様がこの学園で学ぶ生徒たちに心寄せていただくことが、よりよい教育環境の提供につながっていることと思います。これからも生徒たちの未来を切りひらく応援団としてのご支援、ご協力を、よろしくお願いたします。

改めまして、新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さん、これまでの話の流れはいかがだったでしょうか。話の途中で今までの評価を聞くというのは一般的ではないと思います。今のところ話した内容は一

般的な挨拶だと思いませんので、特に違和感を感じているという方は少ないのではないのでしょうか。実は、今まで話していた内容は、生成AIの一つであるチャットGPTを使用して作った文書でありました。AIが作成した文書をもとに、私が修正を加えた内容を話していました。

このAIを使うことのメリット、デメリットですが、私なりに何となく持っているイメージは有りましたが、今回使うにあたり、AI自身はどのように考えているのだろうかと思ひまして、改めてAI自身にメリットとデメリットについて聞いてみました。そこでAIから帰ってきた返答としては、メリットは時間の短縮、アイデアの補填、カスタマイズのしやすさという回答でした。逆に、デメリットは何ですかと聞いてみると、推論が出来ない、感情的なニュアンスや、倫理的な判断が苦手と回答してきました。

これからの時代はさらに人間をサポートする様々なデバイスが誕生してきます。これらの楽をするデバイスを使つてはダメと言うのではなく、このようなメリット・デメリットをしっかり認識し、その上でどういった場合に使うのが良い

かを判断しながら、積極的に使いこなしていく、そんな人間になって欲しいと思います。

今回デメリットであがっていた人としての感情的な部分は人にか表現できない部分だと思ひます。これは、私たち自身が多くの人と接することで経験として得てきたものから生まれるからです。皆さんも本日から始まる高校生活で、より多くの人と接し自分という人間性を磨いてください。

話は変わりますが、本日から始まる高校生活をどのように思い描いていますか。ここに居られる一人ひとりが、それぞれにこんな高校生になりたいな、こんなことをしたいなと夢や目標を持っていると思ひます。そんな思い描く生活に、私から一つだけ追加してほしいことがあります。それは思ひっきり「尖^かって」ほしいと思ひています。

尖ると言つても、前の晩遅くまでゲームをしたり、SNSの更新をしていて次の日の授業で寝てしまうだとか、隠れてタバコを吸う、お酒を飲んでしまうだとか、やつてはダメなことをして尖れと言っているわけではありません。皆さんは高

校生なので、何がやつていいことか、やつてはダメなことかはわかるはずですが、

もしこれから実行しようと思つていることをやつて良い事なのか、やつてはダメな事なのか判断に迷つた際には、学園の合言葉である「自分を大切に」という言葉を思い出してください。その迷つている事をした後の自分の姿を想像した時に、自分の価値が下がっていると思えた場合は、それはやつてはダメなことです。自分を大切に出来ているかどうかという判断基準を持つて行動すると簡単だと思います。

では、私が言う「尖り」とはなんでしょう。それは、自分の中の可能性を磨いて欲しいということ。人というのは、トゲトゲが無数についたボールみたいな物だと思ひています。このトゲ一つひとつが、その人の可能性を表していると思ひます。この可能性のトゲをのばして欲しいのです。

じゃあどのトゲが何をしたら伸びるか。それは私自身も解つていません。おそらく皆さんも解らないと思ひます。では、どうやつて伸ばすか。それは様々な事に挑戦してみるしかないと思ひます。

勉強でもいいですし、スポーツでも趣味でもなんでもいいです。すでに好きで取り組んでいるものは、トゲが十分に伸びているものだと思います。逆に今まで避けていたこと、特に興味もなかつたことにこそ触れてみてください。

その手助けとして学校が多くのプログラムを用意してくれています。参加できそうなものには、好き嫌いを一度忘れて参加してみてください。そしてどうせ参加するのなら楽しんでやろうという気持ちで組んでみてください。この参加する側の意識の持ちようで、終わつたあとのトゲの伸び具合に必ず違いがでてくると思ひます。今後人生を振り返つた際に、高校生活がターニングポイントになつていたなと思ひえるような、3年間尖りまくつた生活をしてください。

最後に、私の好きな言葉の一つを皆さんに贈ります。歴史で勉強しているので知つていると思ひますが、日露戦争の時にロシア海軍と戦つた日本海海戦があります。その艦隊の参謀として活躍した秋山真之が、ロシアの艦隊を発見した時に本土へ伝える為に打つた電報の一文に「天気晴朗なれども波高し」という言葉

があります。これは、天気がいいので敵を見失つて逃がすことはない。さらにロシア艦隊を待つていた間にしっかりと練習していたので、今日みたい波が高ければロシアの大砲は当たらないが、自分たちは当てることが出来る。そして必ず勝ちますと云つた意気込みを込めていたと言われたいです。

この言葉が好きな理由は、「波高し」と入つている点です。どんなに晴れていても、波が高ければ船は揺れます。人生にも様々な場面において、困難や試験がやつてきます。しかし、その準備をしておけば、どんな大きな波がやつてきても立ち向かえることを教えてくれる言葉だと思ひます。皆さんも目指す未来に向かって、常に準備を怠らず、自分の力を信じて前進してください。

結びとなりますが、金光学園の今後益々のご発展ならびに、本日ご臨席の皆様とくに新入生のみなさんご健勝ご多幸を祈念いたしまして、保護者代表の挨拶とさせていただきます。

新入生の諸君、3年後の卒業式にはしっかりと尖りまくつた姿をみせてください。

創立百三十年の記念式・記念行事を終えて

今年度は創立百三十年を迎えて、これまで様々な記念行事や記念事業に取り組み、行事につきましましては暑さのため、11月20日に二か月延期して実施した中学体育会をもって、全ての記念行事を盛大に、麗しく、滞りなく終えることが出来、大変有り難いことでありました。

十年前の創立百二十年の時にも校長として周年を迎えさせていただきましたが、その時と今回の130年の記念行事では大きく違ったものとなりました。十年前は記念事業の大部分は、誰でも知っている有名な方々にご来校頂き、ビッグな講演会や音楽会を開催いたしました。例えばつなみ保護者会総会では北野大氏（ビートたけしさんのお兄さん）の講演、記念式当日の講演はパラリンピック選手の谷真海さん（旧姓佐藤真海さん、東京オリ

ンピック招致のプレゼンターでも活躍の講演会や、音楽会では和太鼓集団「鼓動」による演奏会を金光教の祭場をお借りし、学園生や保護者だけでなく、地域の方や小学生などを招待するなど盛大に開催しました。卒業生を中心とした記念展覧会や楽興の会による演奏会なども開催しましたが、この130周年は全ての行事を卒業生にお願いすることにしました。

創立記念式の式辞でも述べていますが、4月のNHK岡山の塩田慎二アナウンサー（高49回卒）の講演、11月の記念式当日は劇団四季の越智幸紀氏（高38回卒）の講演、5月にはGEMMEの河田総一郎氏と佐々木望氏（ともに高47回卒）による音楽会や11月には倉敷管弦楽団の菊池東氏（高19回卒）をはじめとする弦楽コンサートなど全て、卒業生にお願いし開催させていただきました。どの記念行事も母校

愛に溢れ大変素晴らしい、思い出に残る行事となりました。その上アー卜展は、今年82歳になられる大先輩達が100作品にも及ぶ絵画や書や彫刻などの作品を出品され、多くの同期の方々が度々打ち合わせなどで、お集まりになり準備から片づけまでお手伝い頂き、心のこもった手作りアート展になりました。三日間の期間中に目標の約600人もの来場者を迎え、来場者した方々はもちろんですが、主催した高13回卒の方々にも大変喜んで頂きましたことは嬉しい限りでした。



その作品の一つである昔の正門や校舎の模型を残して下さっており、玄関のフロアーに展示してありますのでご覧いただけたらと思います。

記念式当日にはコロナ以来実施出来ていませんでした全校生徒・教職員そろっての本部参拝や学園歌の歌詞に出てくる木綿崎山に登り、初代校長の頌徳碑や教

団墓地なども式典に先立ち参拝できたことも有り難いことでした。（昨年は雨天のため参拝できませんでした）

記念事業としては十年前には四階建ての「120記念館」を建設しましたが、この度は中学棟・特別教室棟のトイレを全て洋式化、ウォッシュレット化、ウォーム便座にするなどのリニューアルを行い、生徒達にも大変喜ばれています。さらにこの冬休みを利用して高校棟のトイレもウォッシュレット・ウォーム便座にするものになっていきます。そして今年度末までには、更に学校の教育環境を整備すべく様々なリニューアルに取り組みでまいりたいと思っておりますが、いずれの事業も、卒業生方々や保護者の皆様の温かいご支援の中で実施できていることであり、誠に有り難く心からの感謝を申し上げます。

創立記念式当日は多くのご来賓の方にもお越しいただき、盛大に、厳粛に、麗しく挙行することができました。その記念式で、私としては嬉しいことが沢山あったのですが、その中で二



つの事を申し上げたいと思います。その一つは来賓の方々の祝辞であります。この「やつなみ」の別ページにも掲載してありますので、読んで頂きたいと思いますが、卒業生としても母校に対する思いや、卒業してから年を重ねるごとに学園の卒業生で良かったこと、在校時代に学んだことが卒業しても生き生きと残っていることなどを多くの方が述べられていたからであります。例えば在校していた時には十分に実感できなかった学園の合言葉「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」のすばらしさや、学園の卒業生は、みんな母校に対しての強い愛情とプライドを持っておられ、真に学園を卒業して良かったと思われていることなどの話を聞かせていただきました。

そしてもう一つは、後日この度の記念式にご臨席を頂いた方々から、口々に「金光学園の卒業生には政財界・教育界・芸術関係などで活躍されている素晴らしい方が沢山おられ、すごいですねえ」「来賓の方々の祝辞が他校で見られ

るような通り一遍の挨拶や祝辞はなく、皆さんの祝辞がとてもよかったです」「すべての面で歴史と伝統を感じる素晴らしい記念式でした」「厳かな慰霊祭・感謝祭に感動しました」「代表生徒の所願表明も大変素晴らしいかったです」「案内してくれた生徒の態度や出席している様子が、とても自然で大変好感を持ってました」などリップサービスで言われているのではな

いと感じられる沢山の言葉を頂いており、12月を迎えているのにまだ続いているようなことでもあります。後から振り返って思い返してみると記念式では行き届かなかった点も多く、反省することがあるのですが、前述したように多くの方から「素晴らしいかった」「感動した」などの嬉しい声を聞かせていただき、私自身が元気を頂いているようなことでもあります。

しかし、大切なのはここからです。百三十年の素晴らしい歴史と伝統をどこまでも大切にしながら、生徒・教職員・同窓生の方々・保護者の皆さんが一体となって、新しい時代に即した学園教育を進め、将来にわたって素晴らしい学校であり続けたいと願っているところであります。

ここから通っています 学園生の故郷

広島県福山市松永町

福山市は、瀬戸内海の中四国地方のほぼ中央、広島県東部に位置する人口約46万人の拠点都市です。100万本のばらが咲き誇る「ばらのまち」としても知られ、潮待ちの港として栄え日本遺産に認定された景勝地「鞆の浦」や、JR福山駅の新幹線ホームから間近に見え、2022年(令和4年)に築城400年を迎えた「福山城」、二つの国宝をもつ寺院「明王院」などの名所があります。

そして、私たち家族の住む松永町は、福山駅から西に約10km離れたところにあります。町の北側には山陽本線が東西に走り、国道2号線、山陽自動車道等も近く、住宅地域、商業・工業地域が混在する町として発展しています。また、駅南側を中心に、公共施設、文化施設、子育て・教育施設、医療・福祉施設が充

実しています。松永湾に面した平野にあり、交通の利便性もよく、医療・福祉・商業などの生活サービスがコンパクトにまとまっている、住み心地のいい町です。私も夫も松永町出身ではないのですが、結婚して以来この地域に住んでいます。

この「松永」という地名は、福山藩の近世初期家臣・本莊重政によって名付けられました。松の木のように長く繁栄を続けるという意味の「松寿永年」にちなんでつけたと言われています。松永地域は、かつては塩田の町でした。1660(万治3)年から本莊重政によって干拓事業に着手され、1667年(寛文7)年に松永塩田が完成したといわれています。1960(昭和35)年の国策による一斉廃止までの約三百年間、松永の基幹産業として栄え、廃止前には産出量2万2000tに達していたといわれています。やがて塩田跡は工業団地や宅地に変わり、今はその名残を見せる風景もほとんど無くなりましたが、JR松永駅南口には、本莊重政の没後300年記念像があります。左手に絵図面、右手で松永湾を指す開拓を指揮する姿は、塩田発展の歴史を今に伝えています。



そして松永の特産品といえば、松永下駄です。下駄作りが始まったのは明治時代初期で、製塩業が栄えていた当時、塩を煮詰める薪を使って下駄を作ったのが始まりでした。これまでの「下駄は桐材」という概念を打破ったのが、発展の要因だといわれています。「松永下駄は安くて大衆向き」と、全国に広まり、その後全国に先駆けた機械化で、下駄作り日本一の地となりました。ピーク時の昭和30年代には年間5000万足以上製造していましたが、近年では生活様式の変化や中国産の台頭により需要が低下しました。それでも、全国生産量の

50%を占めています。今ではその技術がサンダルやスリッパなどの履物産業へと受け継がれ、自然の感触を楽しむことのできる松永の下駄は、時代が変わった今でも多くの人に愛されています。

松永駅近くにある、松永はきもの資料館(愛称・あしあとスクエア)は、1978年(昭和53)年に日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館として開設され、2015年(平成27)年に福山市が運営管理を引継ぎリニューアルオープンしました。福山市西部に位置する松永地域のランドマークとして市民をはじめ、周辺地域の方々に愛されている資料館です。博物館時代から引き継いだはきもの約13000点(内、



国指定重要有形民俗文化財2266点)、郷土玩具約18000点の貴重な資料をはじめ、松永地域の産業を支えた下駄・草・塩の生産関連の資料の多くを収蔵・展示しています。地域の歴史と文化を継承しながら、地域資源を活かしたまちづくりにも寄与する施設となるよう、「松永地区まちづくり推進委員会連絡協議会」と「福山市」が協働し運営しています。敷地内には「はきもの資料館」をはじめ、広島県で初めて国登録有形文化財となった「旧マルヤマ商店事務所」(大正11年建造)や下駄工場跡を利用した「伝統産業館」や、下駄職人が実際に生活をしてきた「長屋」をそのまま移築保存した展示もあります。さらには芸術的に価値の高い、岡本太郎作「足あと広場」は、足で踏むことができるユニークな作品で見逃せません。また、広島県といえば「広島カープ」、カープの名選手のプレーを足元で支えた数々のスパイクも展示されていますので、ご興味のある方は一度訪れてみていただければと思います。

以上、拙い紹介ではございますが、松永町を知っていただくきっかけにな

れば幸いです。

今年の4月より息子が金光学園にお世話になっております。入学前は、通学時間の長さを知り合ってもほとんどないという事で不安を口にする事もありましたが、今は、「金光学園に入学してよかった」と毎日楽しく学校に通っておりま

す。勉強に部活、新しい環境での生活と、そばで見ているだけでも忙しい毎日ですが、『大変な時は自分が大きく変わる時、変わる時』そう信じて頑張ってもらいたいです。この中学・高校の多感な時期を金光学園で様々なことを経験させていただきながら大きく成長してもらえたらと思います。中学・高校6年間、親子共々、よろしく願っています。

中一の母 浦瀬誠子

岡山県浅口市寄島町

二人の娘が金光学園にお世話になって、4年目と2年目になりました。この度、住んでいる寄島町を紹介する機会を頂き、大変感謝しております。

二人の娘たちは、金光学園のある浅



口市に住んでいます。2006年3月に、浅口郡金光町・鴨方町・寄島町の三町が合併して浅口市が誕生しました。寄島町は、地内の大半が山林で、南部は瀬戸内海に面した人口六千人ほどの小さな町です。

主な産業は漁業と農業で、特産品は、牡蠣、ガザミ（ワタリガニ）、穴ジャコといったところでしょいか。夏には、青佐鼻海岸で、シーカヤックやSUP（サップ）の体験もでき、自然を体感するアクティビティは人気ようです。また、秋には、大浦地区にある国の登録有形文化財に登録されている大浦神社で秋例大祭が行われます。神輿、神馬、御舟、奴千歳楽により古式豊かな一大絵巻のような宮入神事が披露され、その後の国内唯一の特殊神事の競馬十二懸神事では、神馬二頭が境内を十二往復疾走します。神輿や千歳楽が練り広げる練りはもちろん、二頭の馬が競い疾走する様子は迫力満点です。

そして、寄島町の最大の魅力、牡蠣。寄島町の牡蠣は、全て一年ものと呼ばれる若い牡蠣です。瀬戸内海と高梁川が交差する寄島沖一帯は、えさとなる

活躍する卒業生

自分サイズの挑戦をしよう

M&A総合研究所

鈴木重一郎（高72回卒）

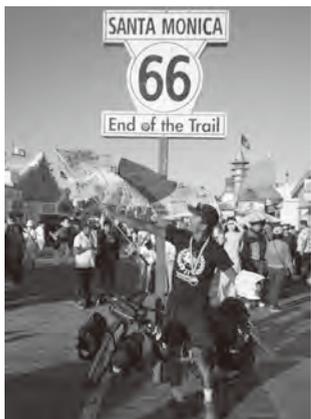
はじめまして、第72回卒業生の鈴木重一郎です。このように金光学園に貢献出来ること本当に嬉しく思っております。私は、高校卒業時に「世の中で活躍する人材となり金光学園に様々な方面から恩返しをする」ということを目標に設定し、大学生活を過ごしておりましたので、まずは一つ、その目標が達成出来たのではないかと感じております。本記事では、「自転車アメリカ横断（NY→LA）」について記させて頂きます。ご清覧された方にとって、少しでもキッカケを与えられる、そんな文章であれば幸いです。

【自転車アメリカ横断について】

2023年8月2日より、約3ヵ月かけてNYからLAを、自転車でアメリカ横断することに挑戦しました。元々、大学1年次から3年次の間でも、自転車で

植物プランクトンが豊富です。そのため、寄島の牡蠣は、成長しやすく、濃厚な味わいで優しい甘さの特徴となっています。漁港近くには、毎年11月から3月頃にかけて、直売所が並び、ぷりっぷりの新鮮な獲れたての牡蠣を味わうことができます。毎年2月の第一日曜日には、よりしほ海と魚の祭典が開催され、牡蠣や鮮魚等の海産物の販売はもちろん、農産物や地場産品品の販売も行われ、毎年大盛況のイベントとなっています。そんな小さな町で郷土愛を育みながら成長している娘たちが、先生方や仲間たちとの素晴らしい出会いに恵まれ、充実した学園生活を過ごしております。最後までご覧いただきまして、ありがとうございます。

高1の母 石井紀衣



日本中を旅しておりましたので不安よりもワクワクしていた挑戦でした。毎日、120kmほど自転車で進み、寝られそうな場所を探しテントを使って野宿する、毎日が刺激的で私が求めていた感覚に溢れていました。時には、スーパーマーケットで仲良くなった家族の家に泊まったり、砂漠地帯のゴーストタウンで寝たり、山の中で自転車が壊れて自転車を担いで歩いたり、野犬に襲われたりと、文字にするだけでもワクワクするようなことばかりでした。結果として、約6000kmを走り、LAに到着した時には達成感以上に不思議と喪失感があったことを覚えています。達成感とは異なる、一つの漫画を読み終わった時みたいな、そんな感

■プロフィール

鈴木重一郎 / スズキシゲイチロウ (2001年12月6日生まれ)
2020年3月に金光学園を卒業後、立教大学経営学部に入學。東京・浅草にて人力車の車夫として4年間活動しながら、自転車でアメリカ横断や日本一周に挑戦。大学4年次には、南極上陸。卒業後、M&A総合研究所に入社。後継者不在問題、事業継続問題の解決に向け、全国の経営者様をサポートしている。
連絡先 : shigeichiro.suzuki@masouken.com (080-5625-5455)
instagram : @suzuki_no_insta





覚でした。総じて、とにかく楽しく充実している時間を過ごせたと振り返るたびに感じております。

【自分サイズの挑戦をしよう】

「挑戦」って聞くと、どこか大きなことに向けて進んでいくことをイメージしてしまうと思います。私も、大学生になるまでは「挑戦」というものが怖くて、どうやって避けて生きるか考えていたくらいの人間でした。大きなことに挑戦した経験もないし、もちろん勇気もないし：って言い訳に逃げていたのを鮮明に覚えています。もちろん今これを読んでる方に、自転車でのアメリカ横断に挑戦してほしいとは思いませんが、自分サイズでいいので未経験の世界に挑戦してほしいです。例えば、普段は電車でゲームをするけど本を読んでみるとか、自転車で普段は通学しているけど徒歩で通学してみるとか、本場に些細なことでもいいのです。自分がまだ経験したことのない、今までやったことのないことへの挑戦を積み重ねてほしいです。自分サイズの挑戦は簡単であるが故に、成長を実感することは中々ありませんが、その挑戦の積み重ねが自信

となり、気づいた時には周りが驚くような挑戦も、自分にとっては小さな挑戦へと変化しています。私にとってアメリカ横断は、不安要素はなく楽しみで自分にとってご褒美のような挑戦でしたが、周囲からしたら恐怖でしかない意味不明な挑戦と思われていました。このように周囲の反応と自分の考えにギャップが生じた時、それこそが自分自身が変化している証拠です。周りとのギャップが生じ、「みんなと違う」と感じるなんて恐怖でしかないと思いますが、そんなことは小さな挑戦を重ねるうちに気づいたら、忘れてしまいます。忘れるというか、もはやそれが嬉しいとも思える時が来ます(笑)今から身近にあることに自分サイズでいいので挑戦してみましょう。もし、何をすればいいのかわからないという人は、この記事の感想を私に連絡することから始めましょう！

現在は、怖いものではなく想像出来ることは基本的に全て叶えられると考えているメンタル最強スーパーポジティブな私ですが、中高生時代は全くそんな学生ではありませんでした。挑戦することは怖いし、何をするのにも理由や誰かからの

指示が欲しいし・・・って今とは本当に真反対のマインドで生きていたと思います。今、この文章を読んでいる人の中にも、「この人は特別だからこんな風に考えている」と感じている方もいるかと思いますが、私もその一人でした。自分の将来像を明確に描くことは出来ず、ただ漠然と現状打破したいと強く思っている、そんな学生でしたが、今こうやって自信に溢れて色んなことに挑戦出来ています。どんな人でも、自身の行動次第で自分を変えることが出来ます。まずは、あなた自身のサイズの挑戦でいいので何か挑戦してみましよう。この文章を読んだ後、あなたが少しの勇気を持つて行動出来れば、きっと想像を超える未来が待っています。きつと、ここまで本記事を読んでいるならば、変りたい姿があるはずですよ。挑戦する理由を探している暇はないので、挑戦しましよう。

くことです。月から帰ってきた後に、本を出版したいと考えています。私は、月に行くという夢をこれまで多くの人に伝えてきました。夢を人に伝えることが、夢を叶えるために必要であるということとを私の人生を通して証明し、社会に伝えたいと考えております。現在は、M&Aアドバイザーとして経営者様のサポートをさせていただいております。今後は、多方面に挑戦し、M&Aアドバイザーとしては勿論「鈴木重一郎」という一人の人間として世間にインパクトを残し、金光学園に恩返しが出来よう精進してまいります。



【今後の目標】
将来の目標は、月に行

表紙の言葉

中2 平井 慶太

「海暮れて 鴨の声ほのかに 白し」
この句から私は、冬の海はもう日が暮れようとしていて、どこからか聞こえてくる鴨の声がほの白く感じられる様子を思い浮かべました。私もこのように自然のちよつとした美しさにも目を向けられる素敵な大人になりたいと思っています。

私は、この版画を彫るときに、自然のやわらかさが伝わるように全体的に丸く、やわらかくなるように彫りました。さらに、どこからか聞こえてくる鴨の声をどのように表現したらよいか考えた末、自分自身が鴨の白い声を想像しているかのように、鴨の周りを囲い、吹き出しのようにして表現しました。

「鴨」という季語を使った芭蕉の視点を感じられるように冬の美しい色を使ったり、自然の暖かみも感じられるような色を使ったり、さまざまな工夫をしました。作品のように、自然の営みを感じ、有意義な生活が送れるように一日一日を大切にしていきたいです。

やつなみ保護者会のページ

指導部

部長 植田 和明

令和6年度の指導部は、11名で活動してまいります。

主な活動内容は、

- ・研修会の参加
 - ・地区会の運営
 - ・列車補導
 - ・街頭補導
 - ・生徒に関わる問題点の協議、検討等
- 以上を予定しています。

地区会を開催することで、やつなみ保護者会の皆様が、新学年を迎えて悩みごと、心配なことや改善したいこと、また地区独自の問題などについて学年を超えて話し合っていたいただいています。各地区の評議員様が主体となつて、保護者同士で話し合い、情報を共有してよりよい学園教育を目指せばと地区会を開催しており、指導部では地区会の運営を支援してまいります。

また生徒が通学等で予期せぬトラブルに巻き込まれないように、トラブルの原

因を作り出さないように、事前に回避できるように先生方と協力しながら列車補導、街頭補導等の活動に取り組みます。

子ども達の健やかな成長と安心して過ごせる学園生活に向けて、保護者の皆様をはじめ先生方と連携しながら活動してまいりますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

教養部

部長 田頭 勉

令和6年度の教養部は、11名で活動します。主な活動は

・「やつなみ」（やつなみ保護者会の機関紙）の発行

・教養シリーズの発行

・研修旅行の企画・参加

・サークル活動の紹介・参加

・研修会の参加、以上を予定しております。

昨年度は、265・266・267号の3号を発行しました。「やつなみ」は、学園の近

況が詳しくまとめられたもので、保護者会の連絡・報告・子どもたちの行事・読書などの感想や式辞など学校の取り組みが記載されていますので、お子様から受け取られたらぜひお読み下さい。



また昨年度は5年ぶりに宮島方面へ役員によります研修旅行を開催することが出来ました、コロナが緩和され皆様が交流する場が増えたことをうれしく思います。特に高校生の保護者の方によります経験談は非常に役に立ちました。是非来年以降も継続していきたいと思えます。最後にサークル活動をご紹介させていただきます。現在「コーラス」「ステンドグラス」「パッチワーク」「茶道」「アクセサリー」「ハンドクラフト」「和賀心の会」の7つのサークルがあります、今年度も楽しく有意義に活動され学年を越えた友人の輪も広がっております。年度途中からも参加可能ですので、皆さん奮ってご参加下さい。

本年度も教養部は学年の輪を越えて保護者の皆様、先生方と一緒に有意義に活動してまいりますので、ご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。

庶務部

部長 長谷川 絢の

日頃から庶務部の活動にご協力、ご理解をいただきまして有難うございます。

庶務部では本年度より副会長が部長

を兼任する形をとり、28名で活動をしております。主な活動といたしまして、ほつま祭にて友愛セールの開催、また友愛セールに出品する商品の準備や製作を行うための手作り会を開催しております。

活動の中心とも言える手作り会では、庶務部員を中心に有志の方々のご協力を戴きながら金光ベアの製作を進めておりますが、近年益々裁縫離れが進んでおり、手作り会に気兼ねなくご参加いただける様に新たな取り組みを行っております。その取り組みのひとつとして制服等の古着を回収し、昨年度からはほつま祭でリユース品として販売しております。

また本年度、金光学園創立130周年という節目のほつま祭友愛セールに向け、創立130周年記念金光ベア、オリジナル金光学園スポーツタオル、その他創立130周年記念オリジナルグッズ等の販売準備も進めております。

学年を超えて保護者が集い、親睦の場としても有意義な時間を過ごしております。年間を通して楽しい活動を行っておりますので、ご興味をお持ちの方は是非お気軽にご参加いただけますと嬉しいです。



11月6日(水)

やつなみ 保護者会 研修旅行

教養部
田頭 勉

11月6日晴天の中、教養部主催やつなみ保護者会の旅行が昨年に続きまして開催されました。今年度も無事にはつま祭が終わりに友愛セール・予約販売・キッチンカーなど多大なるご協力を頂きました。役員の皆様の慰労を兼ねました研修旅行でした。

本年度は、校長先生も参加され鳴門にある大塚国際美術館を訪れるPTA保護者会の旅行がありました。絶好の秋晴れで、空は澄み渡り、まさに旅行日和でした。先生方のお見送りの中、学園を出発し校長先生のご挨拶に続き中川やつなみ保護者会長の挨拶の中、バスは進み鳴門海峡の景色を楽しみながら保護者同士、ほつま祭の話や、子供の進路の話、毎日の生活の話など盛り上がりつつあると到着。早

速、鳴門のアオアアにてビュッフェランチを楽しみました地元の新鮮な食材を使った料理が並び、特に鳴門鯛を使った一品は絶品で、みんな大満足。和やかな雰囲気の中で笑いが絶えず、旅行の楽しさが一層増しました。

続きまして大塚国際美術館に移動、国内外の名画や壁画をじっくり鑑賞し、陶板画を通じて作品の魅力を深く知ることができました。特に印象的だったのは、モネやゴッホなどの巨匠の作品。保護者たちは作品を囲み、感想を語り合い、共通の芸術体験が一層の親睦を生み出していました。

帰りは、与島のパーキングエリアにあります土産物屋で地域の特産品を手に取りながら、家族へのお土産選びに夢中。鳴門ならではのグッズや食品に、参加者たちは感心し、思わず色々買い求めました。

帰りのバスでは、参加者同士で今日の思い出を振り返り、心地よい疲れに包まれてうたた寝する人もいました。保護者同士の絆が深まり、楽しいひとときを共有できた素晴らしい一日となりました。旅行の終焉を噛みしめながら学園に着

くと、私たちを、副校長先生をはじめ先生方が出迎えて下さいました。今後とも一層、やつなみ保護者会として保護者同士の絆を深め、様々なことに取り組んで参りたいと思います。



金光学園やつなみ保護者会 会長就任挨拶



金光学園やつなみ保護者会

会長 中川 啓

令和6年度金光学園やつなみ保護者会総会の決議承認により会長を務めさせていただくことになりました、中川啓と申します。皆様どうぞよろしく願います。昨年度は副会長という立場で岡田祥平前会長の大船に同乗させていただきました、ほつま祭をはじめとする各種行事を保護者の皆様と楽しく活動させて頂きました。今年度は創立130周年という節目の年でもあり、この歴史ある金光学園やつなみ保護者会の会長という職責に緊張感もありますが、先生や地域の方々そして保護者の皆様と一緒に子供達の成長を見守ると共に、130年目の新たな1ページを子供も保護者も楽しく追加出来たらと思います。

私の金光学園の印象は、日々の学業のサポートも充実していますが、交換留学や海外研修さらに部活動も大変盛んで、まさに文武両道の中で夢を持ってそれぞれの生徒が生活しているように思います。そして何より生涯の仲間となる友と切磋琢磨し、何気ない会話をしている時間も、大きく心と体を育ててくれている環境のように感じます。

私を含め全ての保護者の願いは共通してただ一つではないかと思えます。それは、「幸せに感じる人生を子供達に歩んで欲しい」という思いではないかと考えています。

時代の変化は感じている以上に早く、すべてがいいばかりではありません。世界ではいまこの時も紛争地域があり、学校にす

ら行けない子供がいるのもまた事実です。保護者会長として、人に恵まれ、物に恵まれた時を与えられている事に感謝し、この一年微力ではありますが、子供達と教職員の先生方が一心一意に笑顔で夢に向かって、そんな学園生活のサポートを全力で出来たらと思えます。

その為には、金光教本部の職員の皆様方、金光道晴校長先生をはじめとした教職員の先生方、卒業後も後輩達を応援してくれているOBOGの皆様方、食堂をはじめ様々な場面で子供達を支えてくれている地域の皆様方、そして子供と保護者の皆様のご協力が不可欠となります。

この素晴らしい「チーム金光」が輝かしい日々を共に過ごし、全ての皆様のご多幸とご発展をお祈り申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。短い間ですが何卒宜しくお願い致します。



令和6年度 やつなみ保護者会 地区会

No.	地区	日時	会場	出席教員
1	岡山以东	6/29 (土) 14:00~16:00	岡山県生涯学習センター	成田 小畑 内村 ショーン
2	倉敷第1	7/ 6 (土) 18:30~20:30	ライフパーク倉敷	西山秋 天野浩 高田 松本
3	倉敷第2	7/ 6 (土) 18:30~20:30	くらしき健康福祉プラザ201	佐藤径 堤 吉永
4	倉敷第3	7/28 (日) 10:00~12:00	金光学園 大ホール	守分 西山龍 内村彩 塚原
5	玉島	7/ 7 (日) 10:00~12:00	玉島市民交流センター	宰相裕 石田亜 土井 妹尾
6	富田 長尾 船穂 真備	7/ 8 (月) 15:30~16:30	金光学園 記念講堂	小橋 佐藤洋 瀬戸
7	竹 八重 占見 占見新田 地頭下	7/13 (土) 14:00~16:00	金光学園 中ホール	奥野 中島 有馬
8	大谷 須恵 佐方	7/11 (木) 18:30~19:30	金光学園 中ホール	水岡 山本幸 石井
9	鴨 方	7/20 (土) 19:00~21:00	浅口市中央公民館	友田 久野
10	六条院	7/11 (木) 19:00~21:00	浅口市健康福祉センター	籠崎 北川
11	寄 島	7/11 (木) 19:00~21:00	サンパレア 交流サロン	吉森 小松原
12	里 庄	書面にて開催		大西 坂口
13	笠岡東	6/29 (土) 19:00~20:30	サンライフ笠岡	宰相タ 藤原 松田
14	笠岡西	7/20 (土) 18:00~19:30	笠岡市労働者福祉センター	内田 山路 平岡
15	笠岡北	7/ 6 (土) 19:00~21:00	北川公民館	山本澄 森下 亀山
16	井 原	7/20 (土) 19:00~21:00	アクティブライフ井原	田中 角南 ベン 福嶋
17	福山第一・三	7/13 (土) 18:30~20:30	福山市生涯学習プラザ	石田崇 土谷 平川
18	福山第二	7/ 6 (土) 19:00~21:00	福山市市民参画センター	山下 長谷川 園田
19	福山第四 A	7/20 (土) 18:00~20:00	緑丘交流館	岡田 鳥越 井上
20	福山第四 B	7/18 (木) 19:00~20:30	伊勢丘交流館	東山 水野 中村
21	福山第五	7/18 (木) 19:00~21:00	福山市北部市民センター	戸田 細川 長江
22	松永・尾道・ 三原以西	7/ 6 (土) 15:00~17:00	福山市西部市民センター	塚田 久繁
23	止 宿	手紙でのアンケート実施		日笠 平賀

友愛セールご協力の御礼

金光学園を応援して下さる全ての皆様方におかれましては、平素よりやつなみ保護者会へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度も昨年度に続き、従来どおりの学園を地域に開放した形で二日間共に大盛況の中、無事に開催する事ができました。

昨年度の役員の方々を試行錯誤して始まったキッチンカーの試みを今年度も引き継ぎ、オンラインでのバザー注文や、制服のリユース、企業や地域の方々のご厚意による品物も販売させていただきました。HCCサークルの皆様とスタンドグラスサークルの皆様には、とても素晴らしい手作り品の数々でほつま祭に華を添えていただき、多くの皆様の笑顔と触れ合う事ができました。

皆様のご厚意と御協力で得られた収益につきましては、子供たちが学園生活をより豊かにするために役立つ様に、校長先生と相談して大切に有効に活用させていただきます。

本年度も友愛セールにご協力いただきまして本当にありがとうございました。心より感謝、お礼申し上げます。

金光学園やつなみ保護者会会長 中川 啓



内村 彩乃



今年度より金光学園に勤めさせていただくことになりました。内村彩乃と申します。中学3年の学年団に所属しており、4組の副担任をさせていたただいております。授業は中学3年の英語D、高校2年生の英語Eを担当いたします。また、部活動は放送部とソフトテニス部を担当いたします。

私はここ金光学園で中学・高校という非常に大切な6年間を過ごしました。その長い時間を金光学園で過ごす中で、たくさんの人と出会い、色々な経験をすることができました。中学・高校生活を通して先生になりたいという気持ちが大きくなり、「金光学園の生徒の成長をサポートしたい」と思うようになりました。勉強だけでなく、心の面でもサポー

トできたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

福嶋 杏樹



今年度より、金光学園に勤務させていただきます。福嶋杏樹と申します。

学年は中学1年生の1組と3組の副担任、授業は中学校1年生から高校1年生までの家庭科、部活動は音楽部吹奏楽団と家庭科同好会を担当させていただきます。

私は今から4年前に金光学園を卒業しました。私自身、創立120年の年に金光学園中学校に入学し、130年の年にご縁をいただき、母校に勤務させていただけること、大変嬉しく思います。金光学園では勉強だけでなくクラスや行事、部活動を通して多くのことを学ばせていただき、学園で培われた力は、様々な場所で発揮することができました。

生徒の皆さんには家庭科の授業を通して、自分自身の生活に興味を持ち、「生きる力」を身につけてほしいと思ってお

ります。また、生徒の皆さんの夢や目標を達成するためのサポートができればと思っております。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

別府 晶子



平成5年5月より、金光学園に非常勤講師として勤務させていただきます。別府

晶子と申します。授業は、2年5・6組の論理・表現Ⅱ（英語EⅡ）と3年4組の論理・表現Ⅲ（英語EⅢ）を担当しております。

私は、令和3年3月に県立高等学校を定年退職し、その後はいくつかの学校で非常勤講師として勤務を続けておりました。縁あって、金光学園からお声掛けをいただき、昨年からは県立学校との兼務を続けております。スケジュールの制約が多い中、色々と便宜を図っていただき、心より感謝しております。ずっと県立学校勤務であったために、勝手がわからず、ご迷惑をおかけすることも多々ございますが、周りの皆様の親切に助

けられ、何とか日々を過ごしております。勤務歴が長いだけの私の経験が、どれだけ役に立つか心もとない気はしておりますが、「何事も一生懸命！」をモットーに、少しでも生徒のみなさんの英語力を伸ばすことに尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

野上 和義



初めまして。今年度より国語の非常勤講師として勤務しております。よろしくお願

いいたします。

私は、ちょうど五十年前に学園を卒業しました。この度、母校に勤めさせていただくことになり、何よりも喜ばしく思っております。

自分を育ててくれたのは金光学園だ！……年月が経つにつれ、その思いは私の中で強くなります。そのような懐かしさと感謝の念をもって、この学園に帰ってきました。

半世紀の歳月のうちには、先生方の顔ぶれも校舎も変わりました。しかし、

教育の核にあるものは、私の在学中と変わらない印象を受けます。そのような不易と流行を思いながら、学園が培ってくれたものと今までの教師生活で得たものをもとに、自分の理想とする、また生徒が自己の人生を生きるうえで役に立つ国語の授業を、日々追求しております。それにしても、学園の風に吹かれることは心楽しいことです。なにとぞよろしくお願



第38回国際平和ポスターコンテスト 受賞者多数!

金光ライオンズクラブ主催による第38回国際平和ポスターコンテストで、中1の西山心とさんが最優秀賞を、福本直大くん・寺岡美紅さんが優秀賞を、高宮周一くん・山田結さん・渡邊晴乃さんがライオンズ賞を受賞しました。11月1日に校長室で行われた表彰式で、ライオンズクラブ会長から賞状が手渡されました。



西山さんのコメントを紹介します。「自分の描いた絵が最優

プンスクールもあり、57名の方が来場されました。

金光学園創立百三十周年誠にめでとうございませす。

私共高13回卒業生は、学校の全面的なお力添えによ

り母校創立百三十周年をお祝いし、記念式典当日を初日に11月8日(金)から10日(日)の3日間「祝賀アート展」を開催させていただきました。



絶好の機会をいただき、改めて同期生の絆を深めたところです。栄えある記念行事の一隅に参画させていただいたことに、深く感謝申し上げます。母校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

高13回卒業生代表 中川 弘治

秀賞になってうれしいです。まだ戦争が続いている国があるので平和になってほしいという思いで描きました。」

浅口市スピーチコンテスト優勝

10月31日に行われた第16回浅口市長杯中学生英語スピーチコンテストで学園中学生在全部門で優勝しました。



創作の部では中3雀部燦くんが、暗唱の部では中3熊野杏南さんが優勝しました。さらに、創作の部では、中1坪井杏都さんが準優勝、中3原田可南さんが特別賞を受賞しました。代表して雀部くんにコメントをいただきました。

活躍おめでとう

《音楽部コーラス》

総文祭出場

8月に岐阜県で行われた第48回全国高等学校総合文化祭に、音楽部コーラスが出場しました。部長の高2原瑞希さんは出場の喜びを次のように語っています。「岡山県代表として参加した全国総合文化祭は私たちにとって、とても貴重な思い出となった。今までのステージとは比べものにならないほど大きなホール、たくさんの観客を前に、少し緊張した部分もあったが、本番では今までの練習の成果を十分に発揮することができた。

総文祭で私たちに何が足りていない



りも練習を重ね、担当の先生にスピーチを見てもらい、本番まで一生懸命努力しました。その結果優勝することができたのでとてもうれしかったです。このスピーチコンテストで学んだことを、2月のグローバル研修や英検取得、大学受験に向けて役立てていきたいです。」

祝賀アート展開催

金光学園創立百三十周年を記念して、高13回卒の方々と構成された「祝賀アート展実行委員会」によるアート展が、11月8日から10日までの期間、セミナー室で開催されました。高13回卒の方々の絵画・写真・工芸等々の作品がセミナー室を埋め尽くし、圧巻のアート展となりました。開催期間中は小学生を対象としたオー



のか、何をすべきなのかということを知ることができたため、今後の活動に向けて今まで以上に練習に励みたい。」今後の活躍に期待します。

《高男子バレーボール部》

インターハイ出場

神崎優くん、海外遠征へ
7月〜8月に大分県で行われた令和6年度全国高等学校総合体育大会に、高校男子バレーボール部が出場し、ベスト16と健闘しました。

また、令和6年度全日本高校選抜海外遠征のメンバーに高3神崎優くんが選ばれ、8月25日〜9月1日にジャカルタで試合を行いました。

「厳しい環境の中でコンディションを整えて試合に臨むのは大変だったが、全試合でスタメン出場することができて、とても大きな経験を積むことができた。

今回、自分が日の丸を背負えたのは、日頃から指導してくれる先生や総監督、

支えてくれるチームメイトがいたからだ。

今回の経験を活かして必ず春高バレーに出場して結果で恩返しできるようにしたい」と語る神崎くん。

高男子バレーボール部の今後、の更なる活躍に期待しています。



《高剣道部》

中国大会出場

6月に鳥取県で行われた第70回中国高等学校剣道選手権大会に、高2藤井大輔くんが出場しました。

「160人中、金光学園からは私一人の出場だったが、大会前から多くの方に激励の声をかけていただいた。

結果は三回戦まで進むことができた。二回戦目で勝った時はとても嬉しく、もう一つ上になりたい、という気持ちが湧き出ていたので、三回戦で負けた時はとても悔しかった。

剣道部は中高合わせても十人足らずだが、これからも切磋琢磨しながら頑張りたい」と試合を振り返り、今後の意気込みを語ってくれました。

今後の活躍に期待しています。



《水泳 田口大輝くん》

中国大会出場

7月に鳥根県で行われた第72回中国高等学校水泳競技大会に高1田口大輝君が出場しました。

「私は200メートルバタフライに出場し、2分11秒76で第11位でした。決勝にはあと0.5秒足りずにとっても悔しかったです。初めての中国大会でも緊張したので、思ったような泳ぎができませんでした。その反省を活かして、最近の練習ではド

リルのときにいろいろな泳ぎを試しています。

来年は200メートルバタフライで、中国大会3位に入りインターハイに行きたいです」と次に向けての意気込みを語ってくれた田口くんの、今後の活躍に期待します。



《中・高少林寺拳法部》

全国大会出場

8月に岡山県で行われた第18回全国中学生少林寺拳法大会で、女子単独演武に、中3白神凜さん、小林佳未さん、中2古谷陽葵さん、三村心都さん、上森陽季さんが、女子組演武に中3小野さくらさん・和田悠里さん、中2高野日菜乃さん・山本梨央さんが、男子単独演武に中2古川凜一くん、牧野大治くん、吉田喬くんが出場しました。白神さんは、

「私は全国大会に出場し、自己成長と仲間との絆を深める貴重な経験ができた。上手な人たちの演武は非常に勉強になり、

技の精度や美しさに、そして精神力の高さが強く印象に残った。

その演武を参考に、自分の演武に対する向き合い方を再確認し、さらに上達していきたい。

そして大会を通じて、共に練習してきた仲間たちとの信頼関係が一層深まった。この経験を生かして練習に励み、11月の静岡での大会では今より上達した姿で挑みたい」と抱負を語ってくれました。

また、7月に佐賀県で行われた令和6年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会で、男子単独演武に高2西山和志くんが出場しました。女子単独演武には高3岸本奈那美さんが出場し、ベスト32となりました。女子組演武に高3籠崎なずなさん・恒本紗都さん、尾高愛琉さん・高橋里桜奈さんが出場した。さらに女子団体演武では準決勝に進出しベスト18となっ



た。主将の尾高さんは、

「私たち高校生9名は、7月に佐賀県で行われたインターハイに出場しました。

結果は、男子単独演武、女子組演武は予選敗退となりましたが、



女子単独演武と女子団体演武は準決勝に進出することができました。高校3年生は金光学園での集大成として、これまでの練習で学んできた協調性と思いやりで演武をし、自分たちの力を出し切ることができました。その結果、悔いが残らない大会になったと思います。今後の人生においても学びとなる六年間の鍛錬でした。切磋琢磨しあった部員やご指導してくださった先生方、応援してくださいました皆様、本当にありがとうございます」と試合を振り返りました。

今後の少林寺拳法部の活躍を期待しています。

《中・高陸上競技部》

全国大会出場

8月に福井県で行われた第51回全日本中学陸上競技選手権大会に、中3小野礼翔くんが出場しました。

「昨年全国大会を見に行き、自分も同じ場所に立つことを目指していたので、大会に出られたことが嬉しかった。前日の予選では岡山県記録を塗り替えられたので嬉しかったが、決勝では初めて200mで負け、4位だけは取りたくなかったのが悔しかった。実力不足を感じた。ジュニアオリンピック(U16陸上競技大会・10月開催)では150mに出場して日本一になりたい。また、来年は200mでインターハイ出場を目指している」



と、試合を振り返り抱負を語る小野くんを含めた中学陸上競技部の今後の活躍に期待します。

また、7月に福岡県で行われた第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会の400mリレーに、



高1瀧本椰子さん、前田来奈さん、水流和々花さん、伊藤瑞さんが出場しました。

「高校生のハイレベルな競技を間近で見ることができたこと、そして、その中で競技ができたことは、今後につながるとても良い経験になった。この経験を糧に、来年はインターハイでベストを尽くし、良い結果を残すことができるように、日々の練習に励もうと思った」と語るのは前田さん。四人を含めた高校陸上競技部の今後の活躍に期待します。

《電気科学部》

全国大会出場
7月28日に岡山情報ビジネス学院で、

WRO 2024 JAPAN 中国地区大会が行われました。

ジュニア競技エキスパート部門で中1木曾航くん、高宮周一くん、片岡咲也くんのチームが1位を、ミドル部門で中1福地悠人くん、高氏章くん、山田暁大朗くんのチームが1位となり、全国大会への出場の権利を得ました。

エキスパート部門1位の3名は、8月24・25日に富山で行われた決勝大会である全国大会へ出場し、残念ながら予選で敗退となりました。

ミドル部門の3名は、12月8日にオンラインで行われる全国大会へ出場する予定です。



金光学園創立百三十年記念式

金光学園創立百三十年記念式が、11月8日、厳かに挙行された。天候にも恵まれ、朝9時、校長と代表生徒（高3山口諒成くん、中3小村湖七望さん）が本部広前に参拝し教主金光様にお礼のお届をした。



ほつまま体育館に、162名のご来賓、ご遺族をお迎えし、金光学園中学・高等学校の生徒852名、こども園から2名の代表園児、教職員が一堂に会し、11時に音楽部吹奏楽団による「神人の栄光」の演奏で祭事が始まった。

まず、感謝・慰霊祭が行われ、学校法人金光学園理事長の祭詞に始まり、各代表より玉串が奉奠された。

式典では、国歌斉唱ののち、理事長挨拶、校長式辞、金光教務総長祝辞、岡山県知事ご代理備中県民局長祝辞、浅口市長祝辞、岡山県私学協会会長祝辞、生徒代表の所願表明の後、学園歌斉唱で式典は締めくくられた。

昼食の後、13時30分から越智幸紀氏（劇団四季専務取締役 高38回卒）より「お客様に喜ばれる仕事」をテーマに記念講演をいただいた。演劇を通して生きることの素晴らしさを伝える、を念頭に活動が続けてきた劇団四季の足跡を熱く語ら

入賞おめでとう

▼令和6年人権啓発標語
中学生の部 優秀賞

- 中2 三村 心都
- 板野 大治
- 牧野 絹

▼令和6年度
中学生の税についての書写
玉島納税貯蓄組合連合会会長賞

- 中2 金光 安衣

▼第74回「社会を明るくする運動」
標語コンテスト

岡山県推進委員会委員長賞
優秀賞 中2 石井 結菜

▼第七回永瀬清子現代詩賞
奨励賞 中2 黒住 乙葉
中3 高橋 光慈

れ、今後の人生への大きな示唆をいただいた。



いた。

その後、ほつまま体育館で全教職員記念写真を撮影した。

また、西山秋子先生が25年勤続となる旨も報告された。





感謝祭並びに慰霊祭祭詞

学校法人金光学園理事長

田淵 美賀雄



畏れ多くも、生神金光大神様、天地金乃神様の御前に、学校法人金光学園理事長 田淵美賀雄謹んで申し上げます。

天地金乃神様は、その偉大なるお働きをくまなく行き渡らせ、天地の営みを整え、すべてのものを生かして下さっております。分けても、私たち人間を神様の愛し子として、慈しんで下さっております。すことは、誠に畏れ多いことであります。しかしながら、人間には神様の御心を知る手立てもなく、難儀に苦しむ生活を続け、神様はその有り様を哀れに思召しました。

そして教祖様に、九死一生の大患をとおして、人間が永年にわたり犯してきている無礼を悟らしめ、靈妙なるおかげと手厚きお導きによって、神様と氏子の間を取り次ぎ助ける役割をお頼みになりました。そのおかげで、神様も人も共に助かり立ち行く「神人の道」が、初めてこの世に開かれましたことは、勿体なく、有り難いことの極みであります。

かくして、多くの人々が救い助けられ、神様の御徳とお働きは年と共に一層広が



りゆくなか、私たちの金光学園におきましては、初代校長が教祖様から頂いた、『その方は神徳と学徳とを得てくれ』とのお言葉を奉戴し、明治27年11月29日、神道金光教会学園所が設立され、学校の基礎が築かれ、我が道の教えに基づく人間教育を進めよとの全教の願いを深く受け止め、真に世のお役に立つ人材の育成を目指し、その精神は、「人をたいせつに」と自分をたいせつに、物をたいせつに」との学園教育の合言葉に集約され、その合言葉の実践と「学・徳・体」一本の全人教育の実現を願って日々、教育活動を進め、多くの困難な事柄があっても、神様のお導きによって乗り越えさせて頂き、ここに創立百三十年の記念の年を迎えさせていて頂きましたことは、この上なく有り難く、感謝の言葉もございません。

この上は、親神様の広大無辺なるお働きへの感謝の気持ちと、私たち人間の至らない点の多いことへのお詫びを申し上げます、更には、ここから一層のおかけをお願い申し上げます。11月8日の今日、学校法人役員、教職員、生徒、園児、保護者、同窓生らが御前に参り集いて、さらに今回新たにお祀りする御霊神様方の

遺族をはじめ、お世話になった人々を招き、神前に心ばかりの供物を捧げ、感謝祭並びに慰霊祭を仕えさせて頂きますことを、楽人の奏でる豊かな調べと共に聞き受け下さいます。

現在、学園で学んでおります中学校・高等学校生徒と、こども園・乳児保育園園児たちを含めて1008名の若葉達は、天地の恵みの中に生かされて生きていることに御礼を言う心を持ち、勉学の成就はもとより部活動・諸行事・奉仕活動にも積極的に参加し、有意義な学校生活を過ごさせて頂き、とりわけ、学力と進学実績の向上及びグローバル教育の推進に全校挙げて取り組ませて頂き、殊に来春の進学等に取り組む高校3年生の生徒は、それぞれの願いが叶うおかけを蒙らせて頂き、学園教職員につきましては、百三十年の歴史と伝統を受け継ぎながら、建学の精神に心の向きを合わせて、育ちゆく者達のお役に立たせて頂くべく、万事に「都合御練り合わせ」を頂き、ここからの学園教育の道を確かに進ませて頂きませう、謹んでお願い申し上げます。

とりわけて申し上げます。故金光中学校校長・金光山神大道立別命、同じく故

校主・金光攝胤君、初代校長佐藤範雄君を始め、わが金光学園にゆかりの深い学校法人役員、教職員、卒業生並びに生徒等五一五二柱の霊神達、更には、このたび新たに祀りいたします、前金光教教主・金光平輝君、同窓会副会長・大西恒夫様、旧職員・中桐眞彦先生を始め、教職員、卒業生等合わせて六百柱の霊神達の御前に、謹んで申し上げます。

尊くも、御霊神様方におかれましては、ある方は、尊き神様の御旨を受け、道のために学園創設の道をお開きになり、ある方は、教職員として学園教育にその一生を捧げられ、ある方は、学園を卒業して後も、母校の精神を心に持ちながら、世の中のお役に立つ働きを進められ、ある方は、志半ばにして無念にも生涯を閉じられるなど、それぞれに命の限りわが金光学園の教育に関わり、力を尽くして下さいましたご功績は、この上なく尊く、畏れ多いことであります。

この度の創立百三十年記念式にあたり、改めて心からの慰霊を捧げるべく、心づくしの供物を捧げ、ご祭典をとり行わせて頂きます様を、吹く笛の穏やかな音色と共に聞き届け下さいます、さらに

であります。

さて、今年度の創立百三十年の記念行事につきましては、年度当初から各方面で活躍されている本校の卒業生の方々にお願いさせて頂いてまいりましたが、素晴らしい記念の年の行事となっておりまことは誠に有り難く喜ばしいことであります。

スタートの4月27日に開催されたやつなみ保護者会総会後には平成9年・高49回卒のNHKアナウンサー塩田慎二氏の記念講演を、続く5月31日の記念音楽会には、平成7年・高47回卒の河田総一郎氏と佐々木望氏のユニット・ソウライフの演奏会を開催し、母校の為に作詞作曲した本校のシンボルソングの「メタセコイアの花」も演奏し、歌って頂きました。さらに本日の記念式後の記念講演は、昭和61年、高38回卒の劇団四季の越智幸紀氏にお願いし、「お客様に喜ばれる仕事」という演題でお話しいただくことになっています。

また、今日から明後日の日曜日までの3日間は、昭和36年卒、高13回卒業の有志の方々と、今年82歳になられる大先輩であります、百作品以上を集めた記念

引き続き執り行います記念の式典をも、厳かに仕えさせて頂きますよう、深い敬意と謹みの心を以て申し上げます。

式 辞

金光学園中学・高等学校校長

金光 道晴



生徒・教職員の皆さんには本日はおめでとうございます。ご来賓、ご遺族の皆様には、昨日立冬を迎えると同時に、急に寒くなった中、またご多用の中をご臨席・ご参列頂き、誠にありがとうございます。

金光学園では、創立記念日は学校の誕生日にあたりますので、家庭で家族が誕生日をお祝いするように、生徒・教職員

アート展も校内セミナー室で開催されます。大変見ごたえのあるものになっています。皆さんも是非見て頂けたらと思っています。

生徒が取り組む生徒会の二大行事のひとつ「ほつま祭」は今年の記録的暑さの中ではありませんが、9月の7日・8日の2日間で生徒を含め約六千人の来場者をお迎えして、保護者の方々の協力も得て、盛大に開催することができ、続く11日の高校体育会も猛暑の中で、午前中開催とはなりませんが、記念の年にふさわしい素晴らしい体育会となりました。の中学は今年20日に延期して開催予定であります。

一方、記念事業としては、これまでの周年事業のように新しい建物などを建設するのではなく、これまでお世話になってきた施設や建物をリニューアルしてこれからも大切にして使用させて頂こうとの願いから、ほつま記念ホールの上の改修工事をはじめ、夏休みを利用して、中学棟と特別教室棟の和式トイレを全て洋式化・ウォッシュレット化し、高

校棟のトイレも今年度中には洋式化・ウォッシュレット化する予定であります。校舎の耐震化は既に十年前から数年間

と保護者や同窓会の代表の方々と毎年創立記念式を挙行し、お祝いさせて頂いています。今年が明治27年（1894年）に創立されて、百三十年の節目を迎え、本日は多くのご来賓の方々もお迎えし、盛大に麗しく創立記念式を挙行させて頂いております。誠に有り難く嬉しいこととあります。

初代校長佐藤範雄先生をはじめ、学校の創設にご尽力をいただいた方々、そしてこの百三十年間、それぞれの時代に金光学園を支え、輝かせてくださった教職員、卒業生、保護者の皆様をはじめ、これまで温かく、力強く応援して下さいました方々に心から感謝し御礼を申し上げます。

皆さんから向かって右に肖像画と写真を掲げていますが、肖像画は初代校長48歳の頃であり、写真は68歳の頃のもので、学校案内などにも載っています。2年前のコロナ禍の中、各教室で行ったオンラインでの創立記念式の時にも生徒の皆さんには見てもらったことがあるものであります。学校教育にかける熱い願いを持ち続けられおられた初代校長佐藤範雄先生のお姿を改めて皆さんにも見て頂きたいとの思いで掲げたようなこと

かけ、全て終えて安全を確保しています。が、残りの体育館の耐震化である吊り天井撤去や、照明のLED化や校舎内の様々なりリニューアルを計画しているところであり、これらの事業に対して、同窓生の皆様や保護者の方々をはじめ多くの皆様のご支援・ご協力をいただいております。これも改めて心から厚く御礼申し上げます。



教育内容につきましては、近年特に力を入れて取り組んでまいりました国際交流やグローバル教育は、新型コロナ感染症の流行で、数年間は思うように取り組むことが出来ませんでした。昨年度の中3は初めて全員が、沖縄修学旅行に変わるオーストラリア西海岸のパスでの10日間の研修を行い、大きな成果をあげることができました。

また韓国やオーストラリアの姉妹校との交流や、イギリス語学研修やニュージールランドでの研修などをはじめ、この一年間で200名を超える多くの生徒が海外でのホームステイなどの経験もでき、一方では毎年十か国以上の多くの国々から大勢の外国の方が学園を訪れていただき、校内でも素晴らしい交流が来ています。これは誠にありがたいことであります。

この年明けの2月には中3は昨年度に続き、全員パスでのグローバル研修に、春休みには18名がイギリス語学研修に、オーストラリア・キャンベラの姉妹校交流には14名が行くことになっています。

学習面でも日常の授業はもちろんですが、生徒達は探究学習や長期休みの補習や放課後の自習室の利用などで頑張っ

おり、特別進学クラス・総合進学クラスともに、進学実績にも着実に結び付いていることは嬉しいことであります。

一方、部活動でもバレーボール部、少林寺拳法部、陸上競技部などが毎年全国大会に出場し、その他の部も中国大会に出場したり、県大会などで活躍したりしておりますし、体育部だけではなく文化部の活躍も目覚ましく、文武両道で大きな成果をあげています。

そして、これらの教育活動の中で、私も金光学園として最も大切にしたいものは、建学の精神をはじめとするその心であります。学園の生徒・教職員が心一つにして、合言葉「人をたいせつに」を自分をたいせつに、物をたいせつに、いよいよ大切に実践し、真に世のお役に立つ人材を育てる学校として、発展し続けていけることを心から願っています。

学園の古き良き歴史や伝統をどこまでも大切にしながら、これからの新しい時代や変化の激しい社会の中で、新しい取り組みを柔軟に積極的に取り入れて、さらに発展させていきたいと決意を新たにしているところであります。

ここまでの皆様方のご支援やご協力に

来賓祝辞

金光教務総長 橋本美智雄



本日は創立百三十周年を迎えられましたこと、まことにおめでとございます。

本学園の草創期をふり返りますと、金光教の教祖様の教えに触れた金光秋雄、白神新一郎、近藤藤守、佐藤龍雄、山本豊、川井萬吉という先人達が相談して始まりました。明治27年の夏、最初の教室は一面の青々とした田んぼに囲まれた「大本社」と呼ばれる教祖様のお宅近くの事務所の一角でありました。11月になって民家を借りて「神道金光教会学問所」と看板を掲げ、学び舎の歴史は始まります。まさに、金光学園は産声を上げたばかりの金光教と共に歩みを進めて来たのであります。

金光学園の合言葉である「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」は、教祖様のみ教えを、生徒さんにわかりやすくお伝えくださっていると思えます。この合言葉が、日々生徒さんの学ぶ態度、生きる姿勢となっていることと思えます。

そのことで最近の十年間で私の記憶に残る出来事は、平成30年7月豪雨災害の時のことです。金光学園の通学路でも浸水し、生徒さんのご家庭でも被害に遭われたところが少なくなかったと聞きしています。そんな中で、夏休み中にもかかわらず、本学園の生徒さんと教職員百名ほどが、バスを使って被害の大きかった真備町にボランティアに出かけられた、とお聞きしました。その時あるグループは、公民館に避難したお年寄りのお手伝いと、話し相手に行かれたそうで、最後には全員で「上を向いて歩こう」を合唱して、感激の涙でお別れをしたとお聞きしました。その翌日には、被災者の方から「生徒さんの笑顔がお花畑のようだった」と感謝のお手紙が届けられたそうです。支援に行つてこちらが元気をもらったと校長先生は言っておられました。



心からの感謝を申し上げ、ここからのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。終わりにもう一度「人をたいせつに、自分をたいせつに、物をたいせつに」の合言葉を申し上げます。創立百三十年記念式の式辞といたします。

また、他の地域から来たボランティアの方々のために、金光学園の教室を宿泊施設として貸し出されたとお聞きしております。トイレと洗面所があり、クーラーの効いた部屋という条件にぴったり当てはまり、これも卒業生の紹介でそのような働きができたとお聞きしております。この一連の行動こそが合言葉の実践であり、教祖様の教えておられる生き方の実践に他ならないと思えました。

さらに、この年発行された「金光学園やつなみ」の冊子でも、当時の保護者会副会長がこのボランティア活動に触れて「今まで見たことのない光景を目の当たりにし、ショックも大きかったと思います。猛暑の中、被災したことも園や小学校での片付けや、支援物資の運搬、整理を一生懸命されていた」と、そして「遠方各地や地元ボランティアの方々から温かく声をかけていただいた嬉しかった。がんばれたと聞きました。『あひよかけよ』の教えを実体験されたようです」と書き記してくださいます。「あひよかけよ」とは金光教の独自の言葉ですが、関わりあるものがそれぞれ相手のことを思いやり、自分にできるだけの力を出し合っ

助かりの世界を実現していく様子を表現している言葉です。まさに「あいよかけよ」を金光学園全体が経験し、その精神は合言葉を通して、今も受け継がれていることと思わせていただきます。

最後になりましたが、法人関係の方々、校長先生、教職員の皆様には今日までの金光学園運営学校教育の上にひとかたならぬご尽力を頂いておりますこと、あらためて厚く御礼申し上げます。ここから、ますますのご発展をお祈りいたします。

祝 辞

岡山県知事 伊原木隆太
備中県民局長 遠藤 圭一 代読



本日ここに、金光学園創立百三十年記念式典が盛大に挙行されますことを、心からお喜び申し上げます。

金光学園は明治27年、金光教内の年少者の教育と金光教師の育成をめざす神道金光教会学園所として創設されました。

その後、教外からも多くの年少者を受け入れ、地域における中等教育を担う学校として着実に歩み続けてこられました。時代の移り変わりの中で、的確に時代の要請をとらえ、特色ある教育を提供されながら、長い歴史と輝かしい伝統を築くとともに、有為な人材を数多く輩出し、地域社会の発展と文化の向上に大きく貢献してこられました。

これは、ひとえに歴代の理事長、校長をはじめ関係者の方々の教育に対するひたむきな情熱、多くの卒業生の皆さまのご尽力のたまものであり、心から敬意を表する次第であります。

国際的に活躍できる人材やAIなどの最新技術を活用できるデジタル人材の育成など、これからの岡山を担っていく「人づくり」はあらゆる施策の基本です。県では、すべての県民が明るい笑顔で暮ら



す「生き生き岡山」の実現を目指し、「教育県岡山の復活」を重点戦略の一つとして、新しい時代の要請に応えられる人材の育成に取り組んでいるところであります。

金光学園におかれましては、海外の姉妹校との交換留学、海外語学研修、英語によるプレゼンテーションの実践といった国際理解教育の推進や地元企業と連携した探究学習など、社会のニーズに応じた教育活動に取り組みされており、教育県岡山の復活を目指す本県にとって誠に心

強い限りです。

今後とも、「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を合言葉として、独自の建学の精神と特色ある校風のもと、地域社会や国際社会で活躍できる知性と人間性豊かな人材の育成に努められ、岡山はもとより日本、そして世界を担っていく唯一無二の人材を育成されまことを期待しております。

— 終わりに、貴学のさらなるご発展と、関係各位のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

祝 辞

浅口市長 栗山 康彦



皆さんこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました、金光学園が建っております浅口市の市長の栗山でございます。

私は市長であると同時に、高25回の卒業生でもあります。本日は様々にご活躍されている大勢の方がいらっしやる中で、恐縮でございますけれども、人生の先輩として、そして卒業生として一言、在校生の皆さまにもお話をさせて頂きたいと思っております。

先ほど以来、この金光学園の合言葉「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」を耳にします。私も六年間、この言葉と共に過ごしました。しかし、在校時代、本当にそれほど気にしたことはありませんでした。大変申し訳ございません。

しかし、高校、大学を卒業し、社会に出てから私は、気をつけたことが色々ありますが、本日はその中の三つだけ皆さんにもお聞き頂けたらと思います。一つは、「恩」です。そして「挑戦」、「感謝」この三つの言葉であります。

「恩」に関しては、「人から受けた恩は、心の石にしっかりと刻め、そして、人に与えた恩はすぐ水に流せ」このことは、

決して驕ってはいけない、こういうことであろうかと思っております。人格を作る上で「恩」を意識を向けていけば、自然に人は自分を見直してくれる、こういうことであらうと思っております。

そして次の「挑戦」とは、「目的を持ってほしい」、「目的に向かって挑戦してほしい」ということです。目的がなければ、結果がありません。結果がなければ、反省がないのです。反省がなければ、進歩はありません。どうぞ、皆さま方は、これからまだまだ新しい未来がいっぱいあるわけでございますので、失敗を恐れず、挑戦をして、大いに反省をして頂ければと思います。

そして三つめの「感謝」。実はこの言葉が、今日一番お伝えしたかったことでございます。私は、金光学園を卒業したことにいつも感謝しております。そして様々な方がこの金光学園を卒業し、日本中のあらゆる場所で活躍されています。皆さんも卒業されたら色々な所に行くと思います。そして、顔を知らなくとも「卒業生」というだけで、まるで見えない線が繋がっているような気がするのではないのでしょうか。今の皆さまはそういうこと

は感じないかもしれませんが、やがて社会に出たら感じるようになる、私は思っています。

実はこの「学園魂」というものを、私はつい四〜五日前に感じるころがありました。私が大変尊敬している先輩と、お酒を飲みながら話をした時のことです。そのときに先輩が、私に言われた言葉があります。「学園に入ったときは一つの点である。そして、卒業するまでに上下関係も含めて、色んな線が重なって行くんだ。そして、卒業してからその線が、面となり、立体となっていく、これが金光学園なんだ」

私はその言葉を聞いて、なるほど、これが合言葉なんだなというふうに、改めて思いました。

どうぞ、ここにいらつしやる皆さま方も、この「学園卒」ということを誇りに思っ、大いにこれからも羽ばたいて頂きたいと思えます。

終わりにりましたが、本日ご列席の皆さま方のお幸せ、そして、金光学園の更なる発展を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせて頂きます。本日は誠にありがとうございます。

祝辞

岡山県私学協会 会長 原田 一成



金光学園関係者の皆様、創立百三十周年、まことにありがとうございます。本日はこのような晴れの席にお招きをいただきまして、本当にありがとうございます。同じ私学の仲間として、ひとことお祝いを申し上げたく思います。

私は同じ浅口市内で私立高校を経営しております。いわばお隣さんの立場であります。本日は私学仲間として見た金光学園さんについて、お話をさせていただきました。私のお付き合いから、私が私学仲間としてお祝いしたいと思えます。

金光学園では、建学以来「真に世のお役に立つ人材を育成すること」を願いとし、多くの素晴らしい先輩方を輩出してきました。私自身、高校3年生となり、6年間金光学園に通う中で、人として真に成長するための気づきをいただいたのは、部活動での最後の試合に臨む取り組みの中ででした。

私は小学1年生からソフトボールを始め、中学では野球部に入り、練習をしていく中で、もっと野球がうまくなりたいという強い気持ちが芽生え始め、絶対にしないだろうと思っていた「高校野球」に足を踏み入れました。今、振り返ってみれば、「高校野球」は私を人として大きく成長させてくれたと実感しています。野球がうまくなりたい一心で、2年半取り組んできた中で、私は自分が成長する

て金光学園さんの一番素晴らしい、そして、うらやましいと感じていること、それは、卒業生の皆様方が母校に対して強いプライドを持たれていることです。これは信頼感、と言いつても良いと思います。その一番の証拠が、親子何代にもわたって、中には三代、四代にわたって、金光学園さんの卒業生であるという方が非常に多いということでもあります。

私学にとって一番大切なのは、言うまでもなく教育の質、クオリティです。それが正確に評価できるのは、実是在学中よりも卒業後です。卒業して、次の段階に進み、そして、在学中のことを振り返った時、その時に初めて、母校に対する本当の評価をすることができるようになります。

私が存じ上げている金光学園さんの卒業生の皆さんは、皆さん、母校に対して強い愛情、プライドと、この学園を卒業してよかったという気持ちを持っておられます。そして、わが子に、わが孫に教育を受けさせるのであれば、わが母校、という気持ちを持っておられます。

これは全ての私学が、設置する校種や学科は異なっても、最終的な目標、理想うえで最も大切なことに気付きました。それは「物事の本質を考え見失わないこと」です。

「物事の本質を考える」とは、日々の野球の練習で言えば、「野球は失敗のスポーツである」ということです。初めはどうしても勝ち負けの結果やうまくいかず悔しいという思いにとらわれてしまいがちです。しかし、失敗の原因を探り、解決するための練習方法を模索し、実践していくことで「失敗」は「失敗」でなくなり、「成長」の契機となります。

「見失わない」とは、常に心に置いて継続することです。人はいろいろと模索しているうちに、本来の目的や初心を忘れて惰性に流されてしまいがちです。継続することはたやすいことではありませんが、継続こそが力となり、成長を生み出すのだと、野球を通して学びました。

このことが最も自分の中で深まったのが、高校野球最後の夏の大会でした。「自分にとって夏の大会は何のためにあるのか」という本質に迫った時、それは「甲子園への切符をつかむため」という答えが浮かびました。そして、「なぜ甲子園へ行きたいのか」という本質に迫った時「お

所願表明

生徒代表 高3 金光 圭士



とするところであります。こういう意味において金光学園さんは、理想的な学校経営をされていると私は思っています。

どうぞ、これから150年、200年とその歴史を歩み、我々私学仲間私学の理想像を示し続けていただきたい、と切に願っております。

最後になりましたが、ここにお集まりの学園関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、はなはだ簡単措辞ではございますが、私学仲間からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は本当におめでとございます。

世話になったすべての人や物に感謝の気持ちを伝えるため」という答えに辿り着きました。私の場合、その相手は、一緒に練習してきた仲間、失敗の解決策を示してくれた指導者・先輩方、野球をさせてくれた両親、応援してくれる吹奏楽部やダンス部の皆さん・先生方・卒業生や地域の方々、そしてグローブやボールなどの道具に至るまで、すべてに「ありが



とう」を伝えるという強い気持ちを大会中見失わず、全力プレーで戦い続けることができました。チームでも「ありがとう BASEBALL」というスローガンを掲げ、大会中ずっとベンチ内は「ありがとうー」で溢れかえり、今まで経験したことのないくらい良い雰囲気の中で試合を続けることができました。大会中に亡くなった五代金光様の、目には見えない後押しも確かに感じることができました。結果はベスト4で甲子園には一歩及びませんでした。しかし、最後の大会の意義を問い直し、確信を持って最後の戦いに臨むことができたことが何よりもうれしく、ありがたいことだと感じました。

現在、私は大学入試に向けて、同級生たちとともに真摯に取り組んでいる最中です。「なぜ大学に行くのか」「自分は何のために働くのか」「いま社会で問題になっていることはなぜ起きたのか」など、人生の様々な局面で「物事の本質を考えること」、そしてそれを「見失うことなく」問い続けながら、模索しながら生きていくその先に「真に世のお役に立つ」という金光学園がめざす姿があるのではないかと思います。

金光学園の百三十年という長い歴史の中には、多くの困難があったと思います。その中で、学園の教を胸に大きな使命感を持って先輩方は努力を重ねてこられました。創立百三十年という節目に、私も皆さんも「世話になる全てに礼を言う心」を持って、自身の今、自身の本質を振り返り、未来に繋いでいくことが、金光学園の歴史を紡いでいくことなのではないかと思えます。そして、それは自分自身の未来を切り拓いていくことに通じていると私は確信しています。

最後になりましたが、金光学園のさらなる発展を願い、所願表明とさせていただきます。

会報

金光教大祭接待奉仕 3月31日、4月4日・7日の3日間に行われた金光教春の天地金乃神大祭に評議員さんが奉仕した。全国からの代表の参拝の方々の接待奉仕で、大変感謝された。

総会 4月27日(土) 令和6年度総会が開催された。1限に授業参観、2限に学級会、10時45分からほつま体育館で総会を行った。総会では、①各部からの会務報告、②令和5年度会計報告及び監査報告、③役員改選が議事に挙げられ、③についてはこの総会で決定された。この結果、令和6年度の新三役が次の通り選任された。(敬称略)

新三役		
会長	副会長	監事
中川 啓	植田 和明 藤井 秀和	江草 範子
小寺 佳枝 高戸 賢一 長谷川 絢の	田頭 勉 渡邊 将弘	村田 晶子

第1回全役員会・評議員会 5月8日(水) 全役員会では、全役員と評議員の任務内容の確認、年間予定等についての説明があった。続く評議員会では、各専門部役員の決定後、各部長・副部長が選任された。(敬称略) その後、令和6年度の活動方針、予算案、地区会等について検討し承認された。今年のほつま祭での友愛セールの具体的な取組や地区会開催の確認、金光教接待奉仕の分担決定などの協議も行った。

各部	部長・副部长	部長	副部长
指導部	植田 和明	巻尾 裕子	久美
教養部	田頭 勉	片岡 佳子	佐野いづみ
庶務部	長谷川 絢の	橋本 理美	横尾 慶子

第2回評議員会 6月5日(水) 各専門部役員名簿の確認後、年間活動内容について各部別協議を行い、全体で共有した。その後、今年度の友愛セールの、予約販売物品・手作り品を実施することになった。

やつなみ保護者会地区会 今年度は、6月7月に22地区で地区会を開催できた。

全地区それぞれの話題で情報交換ができた。

オープンスクール 今年度は7月27日(土) オープンスクールで、三役さんが分担してフリートークコーナーで相談に応じた。

第3回評議員会・第2回全役員会 8月27日(火) 評議員会・全役員会が開催された。主な議題は、7月に実施した地区会の総括と9月のほつま祭友愛セールの取組などだった。三役さんや部長さんの緻密な計画で打合せが進んだ。

ほつま祭友愛セール 9月7・8日のほつま祭では、友愛セールで物品と金光学園タオルの予約販売を実施し、全家庭に対してメール配信などで物品などの販売を案内し、大きな成果を残した。(収支決算中間報告については別表参照。) また、サークル活動として、ハインドクラフト・スタンドグラスの2サークルも教室を開き、来場者に喜ばれた。

金光教大祭奉仕 9月29日・10月6・10日の3日間に行われた金光教秋の生神金光大神大祭に評議員さんが奉仕した。また、12月8日に行われた布教功労者報徳祭にも評議員さんが奉仕した。

いずれも全国の参拝者の方々の奉仕をして大変感謝された。

研修旅行 11月6日(水) 役員同士の親睦と研修を目的に、教養部主催の研修旅行が行われた。総勢26名が秋の鳴門周辺を散策した。

第4回評議員会 11月18日(月)の評議員会は、研修・出張報告の後、各専門部の活動内容の総括と報告、ほつま祭友愛セールの総括、金光教大祭奉仕等について協議した。

諸会合

- 5月21日 浅口市青少年育成活動協議会金光支部理事会、雀部評議員出席。
- 6月3日 岡山県青少年育成県民会議総会。田頭副会長出席。
- 6月4日 岡山県私立中学高等学校保護者会連合会総会・歓送迎会。中川会長・金光校長出席。
- 6月15日 浅口・里庄PTA連合会総会。小寺副会長出席。
- 6月20日 岡山県高等学校PTA連合会総会・研修会。植田副会長・金光校長出席。
- 6月21日 玉島警察署管内子どもを

守る母の会総会。松永評議員出席。

○6月21日 広域補導協議会総会。中川会長出席。

○7月2日 県小中等学校PTA指導者研修会。オンライン。藤井副会長出席。

○7月12日 中四国高等学校PTA連合会高知大会。植田副会長・小寺副会長・田頭副会長・高戸副会長・長谷川副会長・渡邊副会長出席。

○7月13日 社会を明るくする運動浅口推進大会。高戸副会長・渡邊副会長出席。

○8月3日 岡山県高等学校PTA連合会会長研修会。渡邊副会長出席。

○8月8日 岡山教育事務所PTA等人権教育研修会。オンライン。渡邊副会長出席。

○8月25日 全国高等学校PTA連合会茨城大会。植田副会長・田頭副会長・長谷川副会長

出席。

○9月13日 中国地区私立中高保護者会会長等懇談会。中川会長出席。

○10月30日 玉島警察署管内子どもを守る母の会研修会。松永評議員出席。

○11月12日 県高等学校PTA連合会指導者研修会。植田副会長・高戸副会長出席。

○11月28日 備西地区高等学校PTA連合会秋季総会。中川会長・金光校長出席。

○11月29日 県外視察。田頭副会長出席。

【R6年度 友愛セール 会計中間報告】

収入	予約販売(物品)	813,300
	当日販売(手作り作品等)	621,370
	当日販売(購入販売)	180,200
	当日販売(有限会社ほつま)	199,400
	キッチンカー移動販売協力金	236,804
	販売売上追加、寄付等	※1 600,000
	合 計	2,651,074
支出	手作り作品材料他諸経費	118,028
	予約販売物品購入費	1,200,939
	合 計	1,318,967
収支	(収入-支出)	1,332,107
使途	赤十字事業資金へ	※2 20,000
	友愛セールエプロンクリーニング	18,480
	合 計	38,480
残高		1,293,627

※1 地区・学年・有志等の寄付を含む
 玉島地区 44,000
 ステンドグラスサークル販売売上 100,000
 ハンドクラフトサークル販売売上 80,000
 マスキングテープ追加売上 3,600
 セーター追加売上 600
 タオル追加売上 196,500
 残タオル分 175,300
 合 計 600,000

※2 例年寄付をさせていただいている団体

令和6年度 大学入試合格者数一覧

国立大学……………合計24

- 北教大札幌校(1) 福島大(1)
- 東京医歯大(1) 横浜国立大(1)
- 滋賀大(1) 大阪大(1)
- 鳥取大(2) 鳥根大(2)
- 岡山大(4) 広島大(3)
- 香川大(3) 愛媛大(2)
- 九州大(2)

公立大学……………合計12

- 大阪公立大(1) 兵庫県立大(1)
- 釜ヶ崎協賛大(1) 岡山県立大(2)
- 福山市立大(1) 広島市立大(1)
- 山口東部科大(1) 下関市立大(1)
- 北九州市立大(1) 九州歯科大(1)
- 長崎県立大(1)

私立大学……………合計35

- 奥羽大(1) 東京福祉大(1)
- 駿河台大(1) 目白大(1)
- 千葉工大(2) 北里大(1)
- 慶応大(2) 国学院大(2)
- 駒澤大(1) 成蹊大(1)
- 玉川大(1) 中央大(1)
- 東京理大(3) 日本体育大(1)
- 星薬大(1)
- 明治学大(1)
- 早稲田大(2)
- 神奈川歯大(1)
- 金沢工大(1)
- 愛知学大(2)
- 南山大(1) 中部大(6)
- 名城大(1)
- 京都産業大(10)
- 京都薬大(1)
- 同志社大(8)
- 立命館大(13)
- 龍谷大(4)
- 京都文教大(1)
- 追分学大(6)
- 大阪医薬大(1)
- 大阪学大(1)
- 大阪経大(1)
- 大阪工大(1)
- 関西外大(5)
- 近畿大(23)
- 四天王寺大(1)
- 大阪国際科大(1)
- 関西学大(8)
- 甲南大(4)

専門学校等……………合計8

- 履正社国際医療(1)
- 玉野総合医療専(1)
- 倉敷看護専(1)
- 岡山理科大学専(1)
- 東京アナウンス学院(1)
- 国際製菓専(1)
- なんばペット美容学院(1)
- 放送芸術学院専(1)

海外の学校……………合計1

- メンターランゲージインスティテュートウエストウッド校(1)
- 海上保安学校(1)

省庁大学校……………合計4

- 海上保安学校(1)
- 国立波方海上技術短期大学校(1)
- 大学校合計(2)

国際交流活動報告

春川訪問

7月9日～13日にかけて、
中高生15名が春川女子高等学校を訪問した。

『私の韓国研修』

高2 香西 和佳

荷造りをしながら不安で仕方がなかった。言語は通じるのだろうか、礼儀正しくいられるだろうか、そもそも韓国の皆さんは私を快く受け入れてくださるのか。こんな気持ちで五日間本当にやっつけていけるのかと不安になった。そんな不安も優しく包み込んでくれたのが、私のホストファミリーだった。

まず、あつた途端に「歓迎する！」と言ってハグをしてくれた。それから私が前から行きかたがっていたサムギョブサルのお店へ連れて行ってってくれた。その日から食文化の違いがはつきりわかってきた。韓国の食べ物には必ずキムチがセットであるということだ。また、年上を大切にするという文化がはつきりとあつた。目上の人が食べるのを見てから自分も食べ始

める事だ。また、親にタメ口もあまりしてはいけない。しかし本当に私のホストファミリーは人の心に寄り添ってくれた。二日目は学校体験、三日目は景福宮という韓国の代表的な観光名所へ行き、四日目は学校体験だった。学校でできた友達も、韓国で流行っているゲームを教えたり、放課後に一緒に遊んでくれたりした。それが本当に嬉しくて、日本にもう帰りたくないと思った。

しかし、それでも日本に帰らなければならなかった。四日目の放課後、いよいよ帰るのが明日だという日に、私のホストファミリーと、私の日本の友達と、そのホストファミリーの方たちで晩ご飯を食べに行った。その時に車の中で聞いた「TWICE」の「feeling special」に少し涙してしまった。韓国語があまり通じなくて辛い日もあつたが、ホストファミリーの



を活かし、これからのグローバルな時代に生きていける人間になりたい。

『春川で学んだこと』

中3 橋高 純

私は四泊五日の春川女子高校交流プログラムでたくさんのお話を学んだり感じたりしました。その中でも特に印象に残っていることは大きくわけて三つです。

一つ目は、言語の壁についてです。私の韓国語は挨拶程度、英語は少ししか話せない状態で韓国に行きました。今まで外国の方とあまり関わったことも無かつ

たしお互い言いたいことが伝わらず終わってしまつたらどうしようと思ひながら向かっていました。しかし、実際ホストファミリーや学校のみなどと会って話してみると案内話すことができました。韓国語や英語の単語を組み合わせたりジェスチャーをしたりしてお互いに思っていることを伝えました。言語を習得して完璧に話せるようになることはもちろん大切だけど、伝えたいと思ひながら一生懸命なコミュニケーションを取ろうとするということもとても大切なのではないかなと思ひました。また、春川の生徒の皆さんの中には日本語を話せる人が沢山いたおかげで楽しく会話することができたのだと思ひます。スムーズに話せるように英語や韓国語をもっと勉強しようと思ひきっかけにもなりました。

二つ目は学校の校則についてです。春川高校ではスマホやアクセサリー、ピアス、茶色なら髪染めも許可されてました。韓国の学校はスマホを使ってもいいと聞いてはいたけれど、授業中にスマホを使っていると驚きました。授業でもiPadを使っていてインターネットを使った授業の技術が高いなと思ひました。韓国のように

上手にインターネットを活用した勉強が日本でももっと普及していったらいいなと思ひました。

三つ目は、生活スタイルや文化についてです。韓国の方は毎日お風呂に入らないということを知りました。家で出している量が出てみんな普通に残していて驚きました。日本にはない文化を体験することができて良かったです。

韓国に行ったことで新しいことを知って沢山のことを経験することができました。国は違つてもお互いが心がければコミュニケーションをとることはできると分り合えないと思はず、沢山の国の人と話してみたいなと思ひました。暖かく迎え入れてくださったホストファミリーや学校の皆さんに感謝したいです。



第9回イギリス短期語学研修

3月20日～4月3日にかけて、
中高生16名がイギリスを訪問した。



コミュニケーションの大切さ

高2 藤井 大輔

僕はイギリス語学研修に参加し、かけがえない経験をすることができた。僕は幼少期から英語教室に通っており、日本語とは違う語学に触れ、英語で通じ合えることが楽しかった。でもいつからか、授業や試験の中で英語に触れるワクワク感を忘れていき、英語は好きな教科から、単に得意教科の一つになっていた。なので、英語はただの教科ではなく、多くの人たちとコミュニケーションが取れる素敵なツールであることを再認識してみたくなり、高校入学後は、何度か留学生のホストファミリーを受けた。日本にいないがらの国際交流も貴重な体験だと満足していたが、今回イギリス研修に思い切っただけで参加してみた。しかし、応募はして見たものの、僕のドキドキは、期待や嬉しさよりも初めての海外への不安のほうが大きかった。僕の英語は通じるのか、相



手の英語は聞き取れるのか、そんな心配ばかりしていた。イギリスでの研修が始まると、僕が心配して不安に思っていたことは、この研修の目的とは違うことに気がついた。コミュニケーションで大切なことは、相手と同じ言語が話せるかどうかではなく、自分が相手に伝えたいと思っているかという、自分の気持ちが大それたことだ。英会話を習っていた知識だけではなく、心を通わせたいと伝える勇気を持ち努力をする交流は、実際に海外に行って生活をしなければわからないことだった。そして、僕は一つ反省したこともある。

留学前にホストファミリーを受けてきたが、僕は本気で留学生たちの心に向き合い、心を通わせ合っていたらどうか。国が違う異文化でも、楽しい、嬉しい、おもしろい、辛い、悲しい、寂しいなどの感じる気持ちは同じだ。一生懸命心から伝えようとする相手に対して、僕も一生懸命心から受け入れていたのだろうか。僕が研修で感じたことは、単に英語という言葉が通じたという安心感ではなく、失敗をしながら必死になっても心が通い合える交流ができたときの嬉しさと楽しさからの達成感だ。15日間の研修では、ここに全て書き出せない多くのことを見て体験し楽しんだ。異文化に触れた日々はとても楽しかった。研修に参加できた感謝の気持ちをお忘れず、この素晴らしい経験を活かし、これからのいろんなことに挑戦しながら、もともと自分を成長させていきたい。

イギリス研修を終えて

高2 藤井 千夏

あっとい間15日間であったが、一生記憶に残る濃い15日間になった。最初

は初めての海外留学だったので、楽しさよりも不安や緊張という気持ちが大きかった。でも、最後には充実感を味わえた。初めてホストファミリーと会った日の夜ご飯の時間は、無言だった。子どもたちは、歳が10歳ぐらい離れていて何を話せばよいかわからず、また、言語の壁もあって悩んでいた。だけど、夜ご飯を食べ終わったときに、ホストマザーが「おいしかった? アイス食べなよ」といってくれたおかげで、気を張っていたのが、少し軽くなった気がした。また、その後日本からのお土産を渡すとても喜んでくれたことで、自然と緊張もなくなっていた。そこから、どんどん距離も縮まり、自然と会話も増えていき、一緒に過ごしていく時間がすごく楽しくなっていた。いつも学校から帰ると、笑顔で出迎えてくれ、夕食も準備してくれてとても恵まれた環境に身を置くことができた。私が特に一番印象に残っていることは、帰る前日の夜に子どもたちと一緒に鬼ごっこをしたことだ。笑って追いかけてくれている子どもたちの姿を見たときに、この家に来て最高の出会いができ

て良かったなと心から感じた。お別れのときにたくさんおみやげを頂き、最後にハグをして別れたときは、とても悲しかったが、決して忘れられない素敵な思い出を作ることができた。緊張や不安が始まったこの二週間が、一生忘れられない最高の二週間になったのは、間違いなく家族やホームファミリー、先生方などたくさんの方の支えのおかげだと思った。これからは、このホームステイでの体験を活かし、さらに英語の能力だけでなく、いろいろなことにも向上心を持って臨みたい。また、イギリス研修で出会ったたくさんの方ともう一度会える日を心待ちにしながら、レベルアップした姿を見せたいと思う。



第2回 ニューゼーランド現地校交流

3月20日〜30日に高校生8名がニューゼーランドの
ジョン・ポール・カレッジを訪れ、現地の学生と交流した。

「My Change in New Zealand」

高3 宮原 咲百合

ニューゼーランドの人々を尊敬するところが二つあります。それは、自分の意見を伝えることができることと素直であることです。ニューゼーランドの人は嬉しかったこと、嫌だったこと、気になることなどなんでも相手に伝えます。そして相手はそれをすんなりと受け入れるのです。私は自分で分かっているところを注意されるとつい素直に聞けなくなってしまう。また、恥ずかしがったり相手の顔を伺ったりして自分の気持ちをはっきり言えないことがあります。でもニューゼーランドの人は違いました。こうした方がいいよと言われたら「そうだねありがとう」と素直に受け入れます。それに、私はこうしたいと自分の気持ち

を伝えることができます。アドバイスを貰える事はあたりまえじゃないし、自分の気持ちは自分にしか分らないのだから言わないと人には伝わらない。これを強く実感しました。だから私はニューゼーランドの人のこういうところを見習おうと思いました。

そして、行動する大切さも学ぶことができました。もともと、私がこのプログラムに参加した理由は英語力を伸ばし将来の夢である幼稚園や保育園の先生になった時どんな人が入園してもコミュニケーションで困らないようにしたかったからです。近い将来国際交流が進み日本にいろいろな国の人々が移り住むようになると思います。その時に日本語が話せない子でも通える園があればいいなと思っています。



ニューゼーランドに行つて現地の教育方法を知り、将来の夢も少し変わりました。今までの私の将来の夢は日本の幼稚園や保育園の先生でした。でも、ニューゼーランドで幼稚園や保育園の先生もしてみたいと思えました。コミュニケーションですごく困ったことが無かったこと、自分の学びたいことを学べる自由な感じがとても私のタイプにあっているなと感じたからです。だから、将来海外で先生をすることとも視野に入れていきたいと思います。このように行動したことによって自分の世界が広がったことがとても嬉しいです。



「英語を使った経験」

高3 松岡 智也

ニューゼーランドへの初めての海外旅行は、とても楽しいものになりました。

初めてホストファミリーに会ったときは、会話についていけず、翻訳アプリを入れてもらい、何とか会話できました。こんな状態で、9日間も大丈夫だろうか、不安や緊張でいっぱいでした。しかし、ホストファミリーと色々な経験ができ、充実したホームステイになりました。ステイの最初の日、私はホストファミリーとマウンテンバイクのショーを見に行きました。初めて見ましたが、すごい技やレースで、とても楽しめ、家族との距離が縮まった様に感じました。土日には、ホストファミリーと、レッドウッド森林公園に行きました。トレッキングコースを歩き、広さや他の多くの人と出会う日本と違う環境に驚きました。その他にも、ロッククライミングを見に行きました。自分の体重を指先で支えながら、高い壁をよく登れるなと思いました。夕方には、ホットプールに行きました。日本の温泉に似ていて、同級生とも出会い、



一日の疲れを取ることができました。学校の授業では、演劇やスペイン語など、日本にない授業もあり、楽しかったです。特に演劇は、リア王の劇の練習を見て、とても面白かったです。昼食の間には、バレーボールを皆で楽しみ、日本とは違う文化に触られました。研修では、フカ滝やタウポ湖へ出かけ、雄大な自然やマオリの文化を見ることができました。

ステイ最終日には、ホストファミリーにお礼の手紙を書き、喜んでもらえました。一緒に授業に参加したバディとのピザパーティーでは、ゲームを楽しみました。今回の交流を通して、英語でのコミュニケーションの難しさを実感し、もっと英語で話せるようになっていきたいと思います。

中3オーストラリアグローバル研修

2月4日から14日まで、中学3年生が初のオーストラリアグローバル研修に参加しました。



1日目

藤原 楓

オーストラリアグローバル研修初日は移動が主なスケジュールでした。まず15時50分に学校に集合し、16時20分に関西空港に向けて出発しました。途中に三木サービスイリアでトイレ休憩がありました。三木のサービスイリアから空港まで一時間程でした。バスの車窓から綺麗な観覧車が見えました。20時20分に関西空港に到着しました。空港に着いたら、出国に関する手続きをしました。ややこしいことが多く大変でした。23時20分にシンガポールに向けて関西空港を出発しました。私にとっては数年ぶりの飛行機だったので、少し怖かったです。あの離陸する瞬間はとても苦手です。そして、離陸した1時間後に機内食が出ました。思っていたより、美味しかったです。

私にとっては、初めての海外なのでとても楽しみでした。

2日目

片山 菜月

オーストラリアグローバル研修2日目は機内食を出されたところから始まりました。母から機内食には期待しないほうがいいといわれていたが、量が多く、美味しくとても驚いた。その頃には飛行機の気圧にも慣れてきていた。だが、慣れない機内泊では眠りは浅く、倦怠感が抜けなかった。一回目のフライトが終わり、しばらく滞在することとなったチャンギ国際空港は迷子になりそうな広さでたくさんの売店があった。どの店に行くかわくわくとした気持ちで歩いているうちにいつの間にか時間が過ぎていた。チャンギ国際空港からパース空港までのフライトは慣れてきて、一回目に比べ快適に過ぎりとも通過できて、身構えていたこともあり、なにか物足りないような安心したような複雑な気持ちになった。

3日目

長谷川 暁乙

3日目、僕たちは全ハブバスに乗りパースのフリーマントル港に行きました。フリーマントル港では、まず松の木がたくさん植えられているエスプラネードパークという公園に集まって、そこでハブごとに班に分かれ、班に一人ユースリーダーが付きました。最初に班で自己紹介をして、市街を回りました。アメージング・レースは市内の主要なところを回りながらお題をこなしていくというもので僕たちDinoräng 5班は、まず最初にフリーマントルオーバルというスタジアムに行き、そこでは、オーストラリアンフットボールをしていました。スタジアムに行くまで市街を歩いていると、日本と全く違う店や海外らしい町並みが見えました。次に、フリーマントル刑務所に行ったあと、ラウンドハウスに行つてフィッシュ&チップスの店の近くの港で写真を撮りました。公園の観覧車まで歩き、最後に最初の公園で班員と写真を撮って昼ごはんを食べました。そして、全員で集合写真を撮ってからバスで各ハブへ帰ってこ

の日は終わりました。

4日目

岡田 桃香

私は現地校で多彩なアクティビティを体験しました。そこにはたくさんの中学生1年生のオーストラリアの子たちがいて一緒に行いました。初めにSSGをしました。英語の説明で何も分からなかったけれど、何とか乗ることが出来ました。現地校の子たちはとても上手でみんな慣れていました。私はとても戸惑いましたが楽しくすることができました。その後ゲームやみんなでインスタグラムを教えあったり、名前を教えあったりして仲を深めました。ご飯の時には色んな子が話しかけてくれて、みんなでスナックを分けたり交換したりして楽しみました。カヤックをした時は先生と一緒に乗り、とても疲れました。でも、現地校の子たちの笑顔はとても素敵で元気になりました。現地校の子たちはみんな明るくて日本に興味がある子もいて、とても話が充実しました。知っている日本語を使って話している子もいて、とても可愛かったです。



5日目

水流 和々花

現地大学を訪問した。私は、西オーストラリア州で最も古い西オーストラリア大学に行った。大学生はまだ休みの期間だったため、大学内にはあまり人はいなかった。

午前中は、グループに分かれて、ユースリーダーとキャンパスツアーをした。1グループ6人ぐらいで、はじめに英語でしりとりをして交流した。キャンパスツアーは、ユースリーダーの方が一つ一つ説明してくれた。大学内は、西オーストラリア州で最古とは思えないぐらいとてもきれいで広かった。

その後、ランチタイムに入った。ホストマザーが作ってくれたランチボックスはとても美味しかった。

午後、一緒にキャンパスツアーをしたグループで、アクティビティを行った。それは、紙コップや輪ゴムを使って、最も多くビー玉が乗るボートを作るゲームだ。紙コップや輪ゴムなどの材料には一つ一つに値段が設定されており、50ドル以内で作らなければならず、とても難

しかった。私のグループは、一個15ドルの紙コップを3つ使い、一個1ドルの輪ゴム3つでつなぎ合わせた。そして実際にビー玉を乗せてみると、たくさん乗った。一番多いところでは200個以上も乗っているグループがいた。みんなで協力して、積極的に行うことは大切だと改めて感じた。

6日目

中村 友香

私は、楽しみにしていたロットネスト島に行けるということで、朝からわくわくしていました。バスで港に向かっているとき、きれいな海が見えたので、とても胸が高鳴りました。フェリーに乗って、ロットネスト島に行きました。

まず、私のグループはバスで島内を巡りました。どこの部分を切り取ってもとてもきれいでした。途中で、海に足だけ浸かることもできました。風力発電の装置もあり、SDGsへの取り組みも見ることができました。そして、バスツアーの



あと、店で買物をしました。クオッカのお土産がたくさん売ってありました。そして、店の外に出ると、クオッカが何匹かいました。始めてみたときはとても可愛くて感動しました。ロットネスト島に行って、とても楽しい経験ができて良かったです。

そして、帰ってきてホストマザーから、今日のロットネスト島は27年間で一番暑い日だったことを教えてもらい、とても驚きました。そして、帰りがけには野生のカンガルーを見に行きました。飛んでいる姿は可愛かったです。家についてから、夕食をとりました。

この日はケンタッキーをみんなで食べました。オーストラリアのケンタッキーもとても美味しかったです。夜には、家族でウノで遊びました。ウノのやり方はみんな知っていて、世界共通であることに驚きました。

6日目も、とても貴重な体験ができ、無事に過ごせて良かったと思います。

7日目

藤田 和加菜

土曜日の朝は学校がなかったので、いつもより遅く起きた。朝食はパンにアボカドと目玉焼きがのっけていて、飲み物はココアだった。朝食の後はホストマザーと一緒に電車に乗ってパース市内に行った。ホストマザーがおすすすめのお土産屋さん連れて行ってってくれて、とてもかわいい物をたくさん買うことができた。パース市は私のステイ先よりも都会だったので少し暑く感じた。昼食はソーセージロールでまた食べたいと思うほどとても美味しかった。午前中も面白い物に行ってくれたのに、午後からもWoodworthに面白い物に行ってくれた。他のステイ先の友達



にも会った。たくさん面白い物ができて嬉しかった。日本で調べて買ったお菓子やとてもいい香りの石鹸も買って嬉しかった。夕食は、ホストマザーの孫と一緒に大きなチキンとフライドポテトを食べた。日本ではあまり見ない大きさをびっくりした。久しぶりに大人数で食べ

るご飯はとても美味しかった。夕食の後にはコネクトフォールとトランプで2時間ほど遊んだ。12歳の男の子が遅くまで一緒に遊んでくれてとても楽しかった。夕食後には果物とケーキも出してくれてとても美味しかった。あつという間にホームステイが終わりそうで、まだ帰りたくないと思うぐらい毎日が楽しかった。

8日目

小郷 敦広

2月11日、今日がホストファミリーと過ごす最後の日だった。朝8時に起床して家族全員で朝食を食べた。午前中は犬の散歩をし、途中で寄った公園でホストブラザーの友達と遊んで過ごした。

昼食を食べるに一度家に帰り、ホストマザーの作ったサンドイッチを食べながら家族全員で映画を見た。ホストマザーの作る料理はとても美味しく、たくさん食べることができた。しかし、この料理が食べられるのもあと少しなのかと思うと少し悲しくなった。

昼食を食べたあとは、みんなで海に行っ



9日目

吉井 伶社

9日目は、日本に帰る日ですが、その前にキングスパークやカバシヤムワイルドライブパークに行きました。

まず、キングスパークで感じたことは、とにかく広いことです。僕たちはキングスパークの一部しか行っていないんですが、見渡す限り先が見えないくらい広かったです。それにキングスパークには店もあり、景色もよく、とても充実していました。他にもキングスパークには、「戦没者慰霊碑」や「絶対に消えないと言われる火」などがあり、ガイドさんが詳しく説明をしてくれました。それに、たまたま飲食店に食べに行ったら、その店の店員の方が日本人で少し嬉しかったです。パース市街がよく見えて素晴らしい景色でした。次にカバシヤムワイルドライブパークに行きました。コアラを触ったり、カンガルーに餌をあげたりして楽しめました。オーストラリアはとても暑いので、コアラはぐったりしていて、カンガルーも日陰で休んでいました。他にもペンギンや爬虫類もたくさんいました。お店ではいろいろ

た。この海は犬が入れるところと犬が入れないところに分かれており、僕たちは犬が入れるところに行き、犬と一緒に泳いだり砂浜でキャッチボールをしたりして楽しく過ごした。この海には他にも犬を連れて人がたくさん来ていて、犬たちの楽しそうな様子が可愛かった。夕方からはショッピングセンターに行き、オーストラリアでの買い物を楽しんだ。ショッピングセンターには和食の店や日本のものをたくさん売っている店などもあり、日本のものは海外でも人気なのだということが再確認できた。帰り道に寄った店でハンバーガーとフィッシュアンドチップスを食べ帰宅した。ハンバーガーは日本のものと違い、とても大きかったので驚いた。

帰宅後に家族全員で記念写真を撮り、自分の部屋に戻り帰国の準備をした。この一週間であったことを振り返ると、素晴らしい思い出ができたという気持ちと同時に、ホストファミリーと別れるのがさみしくなった。とても充実した日々が過ごせたと思った。

ろなものが売っていて、カンガルーのコップを買いました。僕はキングスパークやカバシヤムワイルドライブパークに行つて良かったと思っています。特にキングスパークには一度行った方が良くと思います。

10日目

北山 航平

10日目はシンガポールのチャンギ空港内で迎えた。集合時間まで自由散策をした。僕は空港内にあるマクドナルドに行つて日本では見たことないハンバーガーを買った。注文の仕方が日本とは違い、ま



た全部英語で話されるからとても難しかった。食べ終わって、集合場所に向かった。そこから出国審査を受けて飛行機に乗った。飛行機に乗ったのが1時30分だったこともあってみんなすぐに寝ていた。目が覚めると朝ごはんを用意していた。朝ごはんはかなり量の量があった。食べて少しして日本に着いた。飛行機から降りたらオーストラリアは夏だったから少し肌寒く感じた。空港に着いたら日本語がたくさん書いてあって感動した。そのあとと入国審査があつてバスに乗った。バス内はあつたかくてみんなであつたことを話したり疲れて寝ていたりする人が多かった。途中、三木サーブスエリアで昼食をとった。久しぶりの日本のご飯で嬉しかった。日本食の美味しさを改めて感じた。再びバスに乗って学園に向かった。学園に着いて親と会い、とても感動した。やっぱり自分の家族が一番良くて、家族という時が一番幸せなんだと実感した。今回の修学旅行で思ったことはこんなに英語が苦手な自分でもちゃんと生きて帰ってこられるということだ。初日からホームシックになつてほんとうに8日間

過ごせるかなと不安だったけど、どんどん楽しくなつてきてあつという間に終わつた。頑張つて自分から喋りかけることで相手も頑張つて聞いてくれるんだと感じた。この研修でたくさん初めての経験をした。今後の自分の人生に活かしていきたいと思う。



留学生紹介

タイから来校したモンチャイ・クルットンくんは、4月9日から高校1年4組で過ごしています。1月いっぱいまで在籍する予定です。

Nice to meet you all. My name is Krutthong Monchai. Everyone calls me "Peace." It is a nickname named by my mother. I'm from Thailand studying in class U1-4. I've dreamed of coming study here in Japan since I was 8. I'm really glad to be here and meet you all. You can come to say 'hi' or you can teach me some Japanese and don't worry about your English skill, just remember "everyone can speak English but only the one that brave enough to talk can be great." Good luck.

初めまして。僕の名前はモンチャイ・クルットンで、みんなは「ピース」と僕のことを呼びます。「ピース」は僕の母がつけてくれたニックネームです。僕はタイ出身で、高校1年4組で学習しています。僕は8歳から日本へ留学することをずっと夢見てきました。だからここにいて皆さんに出会えるのを本当に嬉しく思っています。僕に「やあ」と話しに来たり、日本語を教えたりしてもらいたいです。英語の力は気にしなくて大丈夫です。「誰もが英語を喋れるけれど、話す勇気がある人のみが偉大になれる」ということを覚えておいてください。幸運を祈ります。



留学生紹介

インドから来校したシュレヤンシュ・シンくんは、10月16日～11月9日まで、高校1年1組で過ごしました。

I have been in Japan for a month now. I am glad that Konko Gakuen junior and senior school accepted me. I was in the grade 1 and class 1 and all the students were really friendly and welcoming. It's an amazing school which doesn't only offer great studies but also club activities. I chose basketball as my club activity and the coach to the students were all very helpful and supporting. All the teachers and staff were really nice and helped throughout my journey. I am really happy I could be a part even though I was only here for a short period. They made me feel home. I would like to thank the principal and the administration of the school for this amazing opportunity. I also had special classes like calligraphy and PE which were really interesting and I learned something new.

Thanks for letting me be a part of this great school.

With love
Shreyansh

日本に来て1か月になります。この1か月、金光学園が僕を受け入れてくれて嬉しく思っています。僕は1年1組に所属し、クラスのみならず本当に友好的で温かく僕を迎えてくれました。金光学園は勉強だけでなく部活もできる素晴らしい学校です。僕はバスケットボール部を選びました。顧問の先生たちも助けてくれて支援してくれました。学校の職員や先生方は本当に素晴らしく僕の留学中助けてくださいました。ほんの短期間しかいないけれど一員になれたことを嬉しく思っています。おかげで僕はくつろいで過ごせました。校長先生をはじめ皆さんにこの素晴らしい機会をくださったことに感謝しています。僕は書道や体育といった授業も受けました。これらの授業は本当に興味深く新たなことが学べました。

この素晴らしい学校の一員にさせてくれたことに感謝しています。

インドからの留学生
10/16～11/9まで
Shreyansh Singh



中学生になつて



中学生で頑張る4つのこと

1組 木曾 航

ほかが中学生になつてがんばりたいことは四つあります。

一つ目は勉強です。ほかは小学校はあまり勉強が好きではありませんでした。でも金光学園に入りたいと思って、勉強をするようになりました。そうすると、勉強のおもしろさが少しわかったような気がしました。中学生になって、環境がかわつたので、心機一転勉強を頑張りたいと思つています。

二つ目はいろんなことにチャレンジすることです。たとえば、英語はあまり好きではなかったですが、中学校では、オーストラリア研修などがあるので、英語を話すことにチャレンジして、留学生の人などと交流ができるようになりました。また、ほかはこれまでスポーツは水泳ぐらいしかやってなかったけど、中学校では、部活動で、まだやったことのないスポーツにチャレンジしてみたいです。

三つ目は、ほかはこれまで向島という島の中で育ってきました。幼稚園のころから、ほとんど同じメンバーで過ごしてきました。しかし、金光学園にはいろん

なところから入学してきました。ほかは、

いろんな人と、積極的にコミュニケーションをとつて、自分の知らないことを、知っている人となかよしになりたいです。

四つ目は、はじめての電車通学になったので、電車が遅れないように、時間を守るようにがんばりたいです。電車の中のマナーも守つて金光学園の評判を下げないように通学したいです。

これがほかが中学生になつて頑張りたいことです。

中学生になつて

2組 濱 湊都

僕はみんなとは別の中学校、金光学園に行くことになりました。最初はちよつと不安だったけど、もう小学校ではないので、しっかりと自信をもつてやっていきたいです。先日の能登半島地震のようなこともあり、いつも平和なままで暮らせるのは当たり前なことではないことをしっかりと意識して生活していきたいです。

そんな中迎えた入学式、天候も雨が降らず、桜も満開で入学式をすることができました。そして金光学園において大切な「合言葉」。「人をたいせつに」「自分を



たいせつに」「物をたいせつに」の三つのこと、どの人に対してもどんな物に対しても感謝の気持ちを忘れないこと金光教の教えから学ぶことはいろいろある中、自分がこの学校でどれだけ成長できるかが、自分がこの学校に対してとても重要なことだと思います。勉強も部活も楽しむだけでなく、まじめにやらなくてはいけません。日々の行動に努力できるように努めていきたいです。それだけではなく様々な皆さんの学校行事もあります。友達と協力して良い思い出、良い学校生活を送りたいです。そんな感じで始まった学校生活、いつもとは違うまた新たな日常そんな中、自分は頑張っていけるようにしていきたいです。

自分は小学生時代、先生方からこんなことを教

わりました。「目的意識」と「自己決定」です。しっかりとメリハリをつけ数分前には行動できるようにするためにチームワークを合わせているなことに挑戦していききました。自分はこの学校でそんな風に取り組んでいけるようにしていきたいです。ちよつと説明が長くなりましたが、普段から、身の回りの人や物の感謝を忘れず、日々の努力を重ね、どんなことにしても挑戦していき、チームワークを合わせ、「最高」の学園生活を送れるようにしていきたいです。そしてこれから先も、自分の大切も忘れず、平和で穏やかな日々を送れるように頑張ります。そんな自分ですが、よろしく願います。

楽しみな学園生活

3組 萩野 杏珠

私は中学生になるにつれて友達との接し方について深く考えることが多くなりました。前までは、いつも仲良くしていた友達とは話していませんでした。だけど、知り合いの少ない学校に行くとすると、自分から話しかけないとみんなと仲良くできないと思います。

だから中学生になったら、自ら動い



て誰とでも仲良くできる人になりたいと思います。

入学式を終えて、みんなと話したい、仲良くなりたくいと強く思いました。また、私は学校まで電車で行くことになりました。今まで、一人で電車に乗ったり、遠くに行ったりすることがなく、不安いっぱいでした。ですが、他の人も同じように電車に乗って行っていると思うと、私も頑張ろうと強く思いました。そして、だんだんと電車などの交通マナーを知ることができました。

部活動については、今何の部活に入ろうかすごく迷っています。その迷っている部活は、陸上部とダンス部です。

陸上部に入ろうと思う理由は、走ることに好きで、マラソンが得意だからです。

ダンス部は、習っていないけれど、金光学園に通っている仲の良い先輩に「ダンス部どう？」と誘われたので、今どちらの部活に入ろうか迷い中です。一日入部もあるので、そこで考えたいと思います。

感謝を忘れずに

4組 金光 育乃

私がこの中学校生活でがんばりたいことは三つあります。

一つ目は、友達づくりです。金光学園は中高一貫で6年間あります。限られた人生の中で6年間は、とても大きなものです。また、中高生の時にできた友達は、一生の友達になると思います。だから、昔から仲の良い友達と過ごすのもよいですが、初めて会う友達にも自分から積極的に話しかけ、金光学園の合言葉である、「人を大切に」を意識しながら、笑顔で楽しく過ごしたいと思います。

二つ目は勉強です。たくさん先生の方と楽しく勉強したいです。また、今までは一人の先生がいくつかの教科を教えてくださいださっていたけど、中学では教科ごとに先生が分かれているので、いろいろな先

生と仲良くなつて、たくさんのことを教えていただきたいです。

三つ目は部活です。部活は、中学校で初めてするのでとてもワクワクドキドキしています。今やんでいる部は、コーラス、吹奏楽、陸上、テニスです。一日入部などを通して、自分に合った部に入り、先輩方とも仲良くしたいです。

中学校では、今までお世話になったたくさんの方への感謝を忘れず、精一杯がんばります。これから6年間、よろしくお願いします。



屋で宿泊する非日常にワクワクした。

一方で、この合宿の目的は何だろう、と自分なりに考えた。単に楽しさだけではないと思う。全員でとか、チームで取り組むのが多かったはず。

1組は、どの競技に関しても、良い結果を残すことができなかった。何が足りなかったのか。どうしたら足りないものを補えるのか。その中で私自身が頑張れることは何か考えた。合唱コンクールでもっとできたと思うことは、練習量だ。私も含め、みんなで歌詞をきっちり覚えるまで練習していれば、自信をもって歌えたと思う。自信さえあれば、元気な声が出せた。また、大縄跳びでは、回す人と跳ぶ人の呼吸を合わせるのが難しかった。私は運動が苦手で、もちろん大縄も例外ではない。そんな私だからこそ、「私苦手だけど頑張るし、でkindでもいいからリズムは合わせて頑張ろう。」なんて言えていたら、回す人も跳ぶ人もリラックasして、合わせることに集中できたかもしれないと思った。

大切なのは、全て一人の努力だけでは成し遂げられないということだ。一人だとしてできる自信がない。大縄は私一人だつ

入校時合宿



合宿を終えて

1組 鉄本 璃子

合宿を終えて、真っ先に思い浮かんだことは、「楽しかった」ということだ。あまり話したことなかった友達ともたくさん交流できたし、山登りも大変だったけれど、楽しめた。そして友達と同じ部

たら終わっている。みんなで団結して全員で一步踏み出すことができたらし、もしかして合唱も大縄跳びも勝てたかもしれない、と思う。今後、学園の行事でもクラスやチームで力を合わせないといけない場面では、私の役割は何かを考え、率先して行動していきたい。せつかく仲良



くなったクラスのメンバーだから協力して一丸となつて取り組めたらいいと思う。

みんなのことを大事に思えた

2組 谷本 悠真

金光学園に入つて一週間が過ぎると、学園生活に慣れてくるけど、まだ友達関係ができていないから、合宿はいい機会だと思いました。まずは、登山ではものすごくきつかったけど、友達が「だじょぶぶ。」と心配して言ってくれて、少し踏ん張れました。

今度は焚火で、なかなかうまくいかないと、自分で、自信を無くしていると、班のみんなが一生懸命動いていて、「自分も何とかしなくてはならないな。」と思つて、うちわで一生懸命火を起こしていました。たぶん一番火がついていたと思ひました。でも、火を足さなかったのがいけないのか、ごはんは堅かったです。でも、おいしかったからよかったです。

これで、人と団結すると、おいしく炊けたし、いつも食べるご飯よりも、もつと味わえて食べられたので、ご飯にこんなに手間をかけて食べることに、感謝したいです。

夜の集いでは、友達と交流し合い、さらに友達との友情関係が築けたように思いましたし、心の光はまだ、これからの学園生活の命だと思つて、いきたい思ひました。

2日目は、きれいに街を掃除するといふ行いでした。みんな目を光らせて、金光町のことを知つたりしたので良かったです。

この2日間、団結して、みんなのことを大事に思うことが大切だと思ひました。

入校時合宿で学んだこと

3組 仁科 嘉人

ぼくは入校時合宿で三つのことを学びました。

一つ目は、協力と役割分担です。遙照山に登り藤波キャンプ場について、飯盒炊さんをするとき役割分担をし、効率的に準備をし、火をつけて二人が松ぼっくりなどよく燃えるものを探し、もう二人はうちわで火を大きくするなどして、おいしいごはんができて、みんな食べて少し仲良くなれました。入学したばかりでまだあまり話したことがなかったけれど、協力したりすることで仲が深まるこ



とを実感しました。

二つ目は、時間を守る大切さです。ぼくは普段から、あまり時間を気にせず過ごしています。そして宿を出発するとき

もあまり気にせず過ごしてしまい、結局おくれてしまい、大ぜいの人が外で待っていたのを見て、時間を守らないといけないなと思ひました。

三つ目は、「目配り、気配り、心配り」の大切さです。町内オリエンテーリング



で、ごみ拾いをして回つてるときはたくさんのおすいがあり、よく見ると植物が植えてある土のところが水はけのところにもたくさんのおすいがあり、ビニール袋の破片がありそのごみを拾いながら歩いてると、一度ごみ拾いだ道に戻つてきて、もう一度歩くと、ごみがほとんど見当たらず、だれかにほめられなくともうれしくなつたので「目配り、気配り、心配り」は他人だけじゃなく、自分も幸せに思ひました。

これらの学んだことを活かしてよりよい学園生活を送りたいです。

三つの学んだこと

4組 福田 杏奈

私はこの合宿を通し、たくさんのお話を聞きました。その中でも特に大切にしたいことを三つ紹介します。

一つ目は、友達についてです。入学したところは、仲の良い友達ができるか不安に思つていました。ですが、勇気を出していろいろな人に話しかけてみると、今までのことや好きなことなど、知らないことをたくさん知れました。さらにこの合宿で、一致団結し登山したことで友

達と協力する大切さを学びました。

二つ目は、切りかえをすることです。鳥越先生もおっしゃっていたように、盛り上がる時、楽しむ時は思ひっきり、そして話を聞くときは静かにするという切りかえができていたと思ひました。さらに私は、その他にも班行動などで協力したり、助け合つたりしたことも切りかえができていたと思つた理由の一つだと思ひます。

三つ目は、クラスの団結力についてです。クラス対抗の勝負や、夜の集いなどでクラスで協力し、達成することの大切さを学びました。夜の集いで誓つたように1年間このクラスで団結し、行事や生活に生かしていきたいと思ひました。

私は、この合宿でしか手に入れることのできない知識、そして友達と協力した場にあった切りかえをする大切さを学びました。これから学んだことを生かし、楽しく学園生活を送りたいです。

中学2年生 広島平和宿泊研修



7月12日(金)～13日(土)にかけて中2広島平和宿泊研修が行われました。12日の午前は「ピースパークツアー」として、ピースバディの案内で説明を聞きながら平和公園を散策し、午後は平和集会、ピースワークショップのまとめを行いました。

夜には「夜の集い」(キャンドルの集い)を行い、鎮魂と平和への思いを深めました。13日は千羽鶴の献納、平和資料館の見学を行うなど、平和を維持していくことの大切さを深く学びました。

「当たり前は当たり前じゃない」

1組 上森 陽季

天気心配から始まった広島研修。私の二日間は天気がそのまま映しだされていきました。1日目の朝はくもりで、一泊することへの不安や、原子爆弾の怖さを知る恐ろしさによって、少し気分が下がっていました。午前中、広島についてからは晴れ、少し気温も上がっ

ていたように感じられました。それは、PCVの方々が優しく平和記念公園を案内してくださったからだと思います。午後からは、少し曇りと晴れ。平和宣言や代表者のスライド発表など、平和について自分で考える時間が多く、八月六日の出来事を重く受け止め、同じことを二度と繰り返すことのないように、自分の言葉で次の世代に平和をつなげていくことが大切だと改めて思うことができました。全体合唱の「翼をください」は、百人以上の大人数が一つにまとまれた気がして、今までで一番きれいに聞こえました。夕方は、夕焼けがきれいに光っていました。みんな夜ごはんを食べましたが、いつもの学校で食べるご飯とは違い、楽しさが一段と増していたと思います。夜の集いは、それぞれのクラスの個性が出ていたスタンツがとてもおもしろかったです。キャンドルサーピスでは、一人一人の火に平和の願いが込められていたと思います。

2日目は、快晴でした。原爆の子の像に鶴を献納させていただき、資料館を見学しました。小学生の時に行ったことがあり、大丈夫だろうと思っていたのですが、何度見ても苦しいものはかりで、決して忘れてはいけなさと、頭に刻みました。グループ研修では、おりづるタワーへ行き、平和への思いを込めて鶴を折り、おりづるの壁へ飛ばしました。くるくると舞い降りていく鶴を見ると、今の当たり前の幸せを感じることができました。

今回の平和研修で、平和を伝えていくのは自分たちだと知り、世界に日本の平和を広げていかなければいけないと確信しました。また、友達との絆も深められたと思います。私たちの当たり前前が、世界でも当たり前になりますように。

「もし明日原爆が落ちたら」

2組 關藤 絢子

「みなさんは、昨日の朝8時15分何をしていましたか。」



PCVの人に聞かれ、私はこの質問が一番心に残っている。なぜならもしも明日原爆が投下されたら、自分はどうするだろうと考えたからだ。私は、朝8時15分は朝練から帰ってきて教室に移動している時間だ。広島の人々も、朝食を食べたり、学校に行ったり、いつものように生活していただろう。しかし、何が起ったかも分から



「なぜ自分は生き残ったのだろう。」と自分を責め続けた。家族を失い、子供たちは明るい未来まで失った。私はこの研修をするまでは、「平和」という

ものとはとても遠い存在で、原爆がこんなにも人々を苦しめたことを知らなかった。だが、平和記念公園内を歩いて回ったり、原爆資料館を見学したりして、平和について改めて深く考えたと、平和というものをとても身近に感じられ、自分も何か平和に対してできることをやっていきたいと思うようになった。

平和記念公園内に、「平和の灯」という火があり、どのような目的で火がつけられているのかをPCVの人に聞くと、「世界中の核兵器がなくなるまで、この火は燃え続けるんだよ。」とおっしゃっていた。世界にはまだ核兵器が一万発以上ある。私は、世界中に平和の大切さを訴えかけて、少しでも平和への意識が広まっていけばいいなと思った。

「広島市の平和と世界の平和」

3組 仁科 志帆

私は広島へ行く前あまり、楽しめるという気持ちにはなれませんでした。なぜなら、その時に戦っていたわけでもなく、生まれてもいなくて、核兵器の苦しささえ知りませんでした。だから、理解することや分かち合えるかどうか

いろいろあります。私は平和とは、日本人だけでなく、世界中の人が生きていてよかったですと思えるのが平和だと思いました。自分だけ満足する生活を送っているのは平和とは言えませ。私も簡単に言ってしまうですが、難しいことだと知っています。それでも苦しかったり生きているだけでも辛い思いをしたりした人は何人もいると思います。だから、初めは少人数でもいいから、平和について、考える時間があると少し変わってくるのではないかと私は思います。



とても不安で、本当に平和のことをあまり知らない私たちが行っても良いのかという考え方が頭によぎりました。

平和資料館の方は、私は初めて行きました。その資料館には日本人だけでなく、外国人の方が6割から7割程度を占めていて、うなずきながら案内人の話を一言一句、聞き取っていて、平和について知りたい人が世界中にいることを知って、勝手に嬉しくなりました。今の日本と外国との間はとても有効関係にあります。それでもやはり昔の事は忘れていくのではないかと思っていました。スマー

トフォンの翻訳機能や、資料館の方から配られた翻訳機を使って聞いていて、私たちが平和についてあまり考えていなかった時が恥ずかしくなりました。しかし、もう私たちは平和という言葉でなく、一人ひとりの平和の意味を心で通じ合えたと思います。まだ、それは未熟な考えですが、その小さな平和という言葉の一つでも頭の中の隅にでも置けるような二日間でした。

「平和」この文字は人によって捉え方が違うと思います。例えば、争わない世界、友達と喧嘩をしない、満足できる生活、

学年短歌コンクール

第一席

あのビルは 原爆ドームなどという
名ではなかったあの時までには
樋口 景悟

第二席

原爆で消された思い古町の
記憶の土を今踏みしめる
田中幸太郎

食べられぬ母が作ったあの弁当
被爆し炭に命とともに
三村 心都

第三席

戦争の怖さを知らない僕たちに
この慰霊碑は何かを語る
岡 侑樹

被爆跡歴史と文化残しつつ
歩み続ける広島街
沖田 隼都

青空に平和の鐘の音響き
みんなの笑顔未来へ続け
豊田倅太郎

真夏日に平和の鐘が鳴りひびく
平和の願い鶴に託して
上森 陽季

高1 一日旅行

「新しい友達との出会い」

1組 岡田 日菜子

私が一日旅行で特に心に残ったことが二つあります。一つ目は、うどんを作る時に音楽をかけながらすることです。私は小学校低学年ぐらいの時に何度か作ることがありましたが、音楽を聴きながらするのは初めてでした。そして、流れていた全ての曲を知っていたのでさらにテンションが上がりました。二つ目は、レオマのアトラクションです。その中で私が一番好きだったのは、船みたいな乗り物に乗り、左右に揺れるアトラクション



ンです。私は絶叫系のアトラクションは苦手ですが乗ってみたいくて、友達と一緒に乗りました。イスに座って前に行く時はすごく浮遊感があり、楽しかったです。最後にこの一日旅行はとてもいい思い出になりました。だからこそ、今日からは勉強に集中し、切り替えていきたいと思っています。また、新しい友達とも仲良くしたいです。

「声を掛け合う大切さ」

1組 小林 あかり

私ははじめ一日旅行でいろんな人と仲良くなれるのか不安に思っていました。けれど、バスでは席の近い子や隣の子がたくさん話しかけてくれたおかげで、とても楽しい時間となりました。うどん作りでは、周りの子がほとんど話したことがない子ばかりで心配でしたが、自分から勇氣を出して声を掛けたら面白く返してくれたので、うどん作りも楽しかったです。最後にレオマでは仲が良い子とまわっている時に、他のクラスの子が声を掛けてくれました。自分が思っている以上にいろんな人と仲良くなれたので良かったです。



「先生方の支えに感謝」

2組 伊藤 瑞

私は一日旅行を通して、クラスの友達と話したり、協力してうどんを作れたりして楽しかったです。行きのバスでは、みんなでしりとりやクイズなどをして楽しみました。他にも色んな話をして盛り上がりました。うどん作りはグループの人と協力し、相談しながら生地を作ることができました。レオマワールドでは、先生とお付け屋敷に行ったり、楽しめて良かったです。こんなに楽しい一日旅行を行うことができたのも、先生方の支えがあつてこそなので、感謝の気持ちでいっぱい입니다。

「楽しいうどん作り」

3組 細川 行雲

一日旅行に行って、たくさん経験ができました。まず、中野うどん学校では、うどんを作って食べるという初めての経験ができました。うどんを作るのは難しくて大変だと思っていたけど、やってみると案外楽しく、やりがいのあるものだなと思った。自分で作って食べるうどんは麺の太さは違ったが、とても美味しく感じた。レオマワールドでは、友達と色々なアトラクションに行ったり、食べ物を食べたりして楽しむことができた。このように、たった一日だったがたくさん思い出ができました。これから大変なことがあるだろうが、この楽しい経験を思い出して頑張ろうと思う。

「仲間の存在感の大きさ」

3組 平井 希優

私は一日旅行で色々なことを学びながら楽しく過ごせて良かったと思います。一つ目に学んだことは、協力することの大切さです。うどん学校でうどん作りをする時、班の人と話しながら協力し合っ

て活動できて、とても良い思い出になりました。二つ目は、仲間といることの楽しさです。学園中学からの友達ともたくさん話すことができたし、高入生の人で初めて話すことができた人もいて、とても楽しかったです。これから三年間、もっと色んな話をしてみたいと思いました。レオマやバスでの移動中なども友達と話しているとおもしろい感じが過ぎていて、とても有意義な楽しい時間になりました。これからもこの一日旅行での学びを忘れずに、楽しく過ごしてクラスにも慣れたいと思いました。

「もっと仲を深めたい!」

4組 杉 綾心

私は高校から新たな人間関係を築かなければならず、仲が良い人ができるか、一緒にレオマワールドをまわる人ができるかと不安でした。しかし、同じクラスの友達が快く混ぜてくれて楽しく過ごせました。うどん学校では、初めてうどんを作りました。また、グループのみんなと盛り上がりながら、楽しくうどんを作ることができ、よい経験ができました。そして、レオマワールドでは同じクラスや他のクラスの人たちとまわり、交流を



することができました。また、友達と相談をしたり、感想を言い合いながら、様々なアトラクションを楽しむことができました。この旅行を機に、もっと仲を深めていきたいと思っています。

「親睦が深められた」

5組 關藤 晴人

僕は一日旅行に行つてクラスの人のと親睦は深められたと思います。まず中野うどん学校では、みんなで協力してうどんを作りました。細かったり太かったり、短かったり長かったりと、色々なうどんができました。また、粉の状態か



ら作る方は、結構大変でしたが中野うどん学校の人たちが楽しく丁寧に教えてくれたので、楽しかったです。レオマワールドでは、ジェットコースターやお化け屋敷など色々なアトラクションで遊びました。程よくはしゃいでとても楽しかったです。この一日で高入生の人も仲間くなれて良かったです。

「充実した一日に」

5組 平井 愛佳

私は一日旅行で、とても充実した時間を過ごすことができました。うどん作りでは、私はうどんを作ることが初めてだったのでとても楽しかったですし、みんなとも交流できたので良かったです。また、普通に通いうどんを作るのかと思っていたら、楽しい音楽をかけて、音楽に乗りながら作つたのでとても驚いたし、スタッフの方もノリノリでとても面白いうどん学校だなと思いました。お昼ご飯に食べたうどんも、家を持って帰ったうどんもどちらもとても美味しく感動しました。レオマワールドでは、友達と一緒にたくさんアトラクションに乗ったり、食べ物を食べたりして楽しむことができました。



私はジェットコースターに乗るのは今回が人生で三回目なので少し緊張したけれど、友達と乗るととても面白かったです。お化け屋敷にも入ったけれど、とても怖かったです。一日だったけれど、思う存分楽しめた良い時間を過ごすことができました。

高2修学旅行 北海道コース

1日目

「いざ北の大地へ」

5組 高倉あかり

6月10日、私達北海道コース88名は、6時40分に学校集合、出発式を終えまず広島空港へ向かった。飛行機に初めて乗る人が多く、羽田行きの飛行機では多くの生徒が離着陸時や雲海を見た時に感嘆の声をあげずにはいられなかった。次に乗り継いだ函館行きの飛行機では、そんな声も少なくなり、今度は自分たちの慣れのはやさに驚嘆することとなった。

無事に空の旅を終えて、バスで最初の目的地の五稜郭公園へ移動。「星」を周回しながら、土方歳三の終焉の地と言われる場所を訪れたり、彼の死因である箱館戦争で使用された大砲を見たりした。戦争の悲惨さを再確認し、当たり前のように修学旅行を楽しんでいる現状に感謝の思いを新たにしたり。五稜郭タワーでは、先ほど周回した「星」を上から眺めた。あの有名な星型を肉眼で見て、やっと北海道にいるんだと実感した。五稜郭タワー

の売店が最初のお土産スポットだったため、皆慎重に買い物をしていった。

気がつけばもう17時。ホテルにてチェックイン後、バイキング形式の夕食をとつた。夕食後はホテルを出て早くも函館山に向かった。百万ドルの夜景を見るためだ。普段夕食後に外出することが少ないためワクワクしながら山道を登っていく。函館の夜景が日本三大夜景の一つというのは過去の話、2018年の更新でその座を奪われたそうで、バスガイドさんが残念がっていた。学園の修学旅行で函館山の夜景が綺麗に見ることができたことはほほ無いと聞いていたし、その日の午前中は曇り空。見られても正直単なる夜景なのではと、そこまでの期待はしていなかった。しかし段々と天候が優れてきて、実際私達は美しい夜景を見ることができた。街灯りは勿論、空も綺麗だった、まだ青みがかかった空から暗い空までが楽しめるベストな時間帯だった。大勢の観光客に押されながらも、素敵な写真を撮ることができた。



一日のうちに上空・五稜郭・函館の夜景と、三つもの絶景を堪能した、贅沢な初日だった。

2日目

「楽しんだもの勝ち」

4組 守屋 恵里

朝、ホテルのロビーに行くとき心なしか皆の顔は笑顔だった。私達は2日目の朝



に函館の朝市に行き、「すずや食堂」というお店で定食を食べた。昔ながらのお店で落ち着いた雰囲気の中、とても美味しかった。魚は脂がのつており、白米もお米が一粒一粒たつていてアツアツだった。満腹で食堂を出たあと、近くにある函館朝市に行った。たくさん人がいた。

お店の間を通るたびに店主に声をかけられるが、優柔不断な私は断りづらく誘惑に負けてお店の中に入った。そのお店は主に蟹や海老などの海鮮を扱っている。店主がとてもノリがよく緊張していた私に気軽に話しかけてくれた。試食をしていると店主の人に大きな蟹を投げられびっくりしてしまったが、環境がとても新鮮で面白かった。

ほかにも八百屋に行った。ここでも声をかけられた。このお店では北海道で今が旬の夕張メロンを勧められた。このメロンは珍しく中身がオレンジ色で食べてみると噛む前に溶けるように柔らかかった。私はメロンの美味しさに感動したあまり、自宅に送ってしまった。

予想以上に集合時間まで時間があつたので函館駅にも行った。そこではお土産を買った。限定品のものも多くあつたため、



思わずたくさん買ってしまつたが悔いは残っていない。
最初で最後の修学旅行。楽しんだもの勝ち。

【二セコ体験学習】

3組 栗山 桃花

2日目に私たちは、二セコへ体験学習に行きました。体験学習では、ラフティング、キャラメル作り、アドベンチャーパーク、マウンテンバイクに分かれて楽しみました。この中で私は、マウンテンバイクを行いました。マウンテンバイクとは、山道や、川辺など、自然豊かな北海道の街を自転車に乗って散策するというものでした。

最初に、練習として整備された坂道などを走りました。慣れていない自転車で走り回るのはとても難しく、転んでしまわないかとても不安でした。練習が終わったあと、いよいよ山の中の砂利道や、けもの道を通ることになりました。石でハンドルがグラグラしたり、砂利道を通ることで起きる振動で手が痛くなつたり、坂道ばかりだったので、少し自転車を漕いただけですぐに疲れてしまつたりしま



した。疲労がたまり、もうこれ以上はしんどいと思っていたとき、羊蹄山や川などの自然が美しく、まだ頑張ろうという気持ちになりました。また、下り坂を走るときの風がとても気持ちよく、走るのが苦ではなくりました。スタートから一時間半ほど走り続け、やっとゴールしました。ゴールしたときにはみんなへと

へとで、疲れ切っていました。ゴール地点にあつた川が綺麗で、少し元気になつていました。

しんどい中でしたが、誰一人リタイアせず走り抜けていて、とても清々しい気持ちになりました。普段とは違う環境で、普段できないようなことができ、自然を肌で感じられ、自然と一体化することができたと思えました。

3日目

【期待と感動】

2組 坂本 万莉

私は五日間ある修学旅行の中でも3日目のこの日をずっと待ちわびていました。なぜなら小学生の頃から知っていた植松努さんに会える、そして小さい頃から大好きな動物たちに会える日だったからです。朝ホテルを出発し、バスで植松電気さんの会社まで行きました。その間私は小学生の頃を思い出していました。あまり内容ははつきりと覚えていないものの、幼ながら植松さんのお話を動画越しに聞いて感動した記憶があります。

日本一をたくさん抱えた会社に数年の時を経て行くことができる、植松さんの



お話を聞くことができる、実際に宇宙でも使うことができるロケットを作らせていただける。私は自分の喜びと期待を抑えずにはいられませんでした。

講演を聞くために案内された場所はいかにも工場というような場所です、すぐ側には小さなロケットもありました。初めて見るものに私は胸を弾ませていました。「思うは招く」この言葉から始まつた講演は、不幸の先には幸せがあること、人はそれぞれ足りないから助け合うということを教えてくださいました。私がお話を聞いて一番驚いたことは、植松さんが人

と違うことは素敵な事だと仰っており、私も同じことを考えていたことです。周りと違うことを言ったり何かしたりすると影で笑われたり言われたりします。私はこういう人を面白いと思うタイプなので小さい頃から特になんとも思っていないかもしれませんが、大きくなるにつれて私の考え方がズレているのかなと思うようになりました。

でも今回植松さんのお話を聞いて「ちがう」は「すてき」だと考えるのが私だけではないと知ることができました。その他にもたくさんのお話を教えて頂きました。

大きな感動を抱えながら次に向かったのは旭川動物園です。動物園は約十年ぶりだったのでライオンとか見れるかな、とドキドキしながらバスを降りました。結果は大満足でした。ペンギンから始まりアザラシやオオカミ、お目当てのライオンも見ることができました。

植松電気さんでは一発勝負の人生を生きていく上での模範解答を頂いた気分です。これから私は一生をかけて私なりの正解をつくっていきたいと思います。旭川動物園ではたくさん動物たちと触れ

合うことができ、動物が好きな私にとっても幸せな時間でした。今回の修学旅行で学んだことを上手く活かしていきたいと思っています。

4日目

『小樽・札幌自主研修』

4組 吉田 夢来

4日目の小樽・札幌自主研修では札幌と小樽で班別で計画を立て、自由に過ごした。

私の班は、ホテルを出たあと、札幌駅へ行った。そして徒歩で北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）へ行った。しかし、工事中で、見ることができなかった。その後、さっぽろテレビ塔へ行った。そこでアイスクリームを食べた。次にすすきの駅で降りて、白い恋人パークへ行った。その後もう一度札幌駅へ行った。そこで、班員の子が体調を崩し、ホテルへ帰った。その中で印象に残ったことが二つある。

一つ目は、白い恋人パークへ行ったことだ。すすきの駅から白い恋人パークへは徒歩で行った。白い恋人パークは「白い恋人」などの製造ラインが見学できる他、チョコレート歴史を学べるコンテンツ

や、オリジナルスイーツが味わえるカフェなどがあるお菓子のテーマパークだ。英国風の庭園は、とても美しかった。

二つ目は、夜ご飯をみんなとホテルで食べたことだ。班員の子と三人で夜ご飯を買に行った。すすきのには、日本三大歓楽街のひとつに数えられる全国的に知名度の高い場所だ。開拓が行われていた明治時代に遊郭ができたのが始まりで、その周りに飲食店が並ぶようになり、歓楽街へと発展したらしい。今でも、すす



きのは、とても賑わっていた。

みんな、次の日はとても疲れていたけれど、それぞれ楽しんでいることが感じられた。

5日目

『学びと感謝を忘れない』

1組 高木 柚奈

最初は長いと思っていた修学旅行も遂に最終日を迎えた。

ホテルを出発し、最初に向かったのは、一番思い出に残っている、えこりん村。入ってすぐたくさん羊たちが見え、その多さと可愛さに驚いた。

今回の講演で一番に印象に残ったのは、えこりん村の名前の由来だ。「えこりん村」の名前の由来は「環境負荷を軽減し、持続可能な社会の形成に貢献したい」という「エコ（ecology）」を実現するために、動植物をはじめとする自然環境とのつながり「輪」を大切にしながら展開する小さなコミュニティという意味で、環境への配慮や生態系の保護にも力を入れていくことを知り、とても驚かされた。

また、同じ会社が経営するびっくりドンキーでも、提供する食材にこだわったり、

生ゴミを循環させたりする、環境に対する多くの取り組みがなされていた。同じ場所に併設されたトマトの森では、世界一大きいトマトの苗があり、見たことのない大きさに圧倒された。そして、牧羊犬ショーでは、牧羊犬が人間の指示を見たり聞いたりして多くの羊をまとめる姿に、多くの羊と牧羊犬、また、人間との信頼で結ばれた絆を見ることができた。

そして、北海道での最終目的地、北海道の玄関口とも言われる、新千歳空港へ。たくさんのお土産を買ったり、軽食を食べたりしてとても楽しく買い物もできた。でも、それと同時に、北海道を離れる寂しさを感じた。

そして、飛行機を乗り継ぎ、岡山へ。金光が近づくにつれ、家族と会える喜びにドキドキしていた。待ち望んだ金光に到着した時には、笑顔が溢れ、「おかえり！楽しかった？」と言う母の声に安心し、自信を持って、「楽しかったよ！」と答えることができた。

この旅を通して、広い大地で多くのことを学び、体験することができ、また一歩成長することができた。

最後に、今回の修学旅行のために、早



くから準備してくれた先生方やJTBの方々、心配だったかもしれないけど、笑顔で見送ってくれた保護者の方々、早朝や夜遅くに、見送ってくれ、迎えてくださった先生方には、感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。



1日目

『緊張と期待の1日目』

6組 山崎 心愛

6月10日の午前4時半、まだ日も昇らず暗い中、私達の修学旅行は始まりました。長時間に及ぶバスでの移動を経て空港に到着しました。私にとっては初めての海外旅行だったので緊張しながら飛行機を待っていました。その待ち時間も友人と空港内を見て回ったりして楽しめたのでいい思い出となりました。飛行機に乗り込んで改めて海外旅行への緊張や不安がこみ上げてきました。と同時に旅行への期待も高まり、飛行機内も楽しむことができました。およそ六時間半の飛行機での移動を終えてシンガポールに到着しました。入国をして空港を出たとき最初に感じた日本との違いはやはり気温でした。日本も6月になり暑い日が続いていると思っていたのですがシンガポールは日本よりもさらに暑く、湿気がすごかったのが印象的です。また、街の景色にも違いが見られました。シンガポールについて



から私達は夕食を食べるにバスで移動をしていたのですが、窓から景色を見ているとシンガポールは日本と比べて植物が多く生えていて、ビルが立ち並び発展している街と植物がうまく組み合わさっているなと思いました。夜に食べに行つた中華料理のお店は日本ではあまり見ないような雰囲気ではありましたがそこも新鮮な気持ちで楽しめました。出てきた料理にとっても辛いものがあつたり、テーブル

を回して料理を取つたりなどと、日本ではなかなかできない貴重な経験をすることもできました。

2日目

『驚きの連続』

3組 石田 大晟

午前中はシンガポールで初めに思いつくであろうマライオンを観に行きました。シンガポールで一番の観光場所なだけあって、観光客の方達がたくさんマライオンを撮っていました。僕たち15名も集合時間が来るまで、マライオンをバックに集合写真を撮りました。各々満足が行くまで写真を撮りました。マライオンの次に向かったのはマリーナベイサンズというホテルです。ホテルの屋上からはシンガポールの景色が360度見渡せるようになっており、植物園や有名な建物があるなど、とても記憶に残る景色になりました。

午後からはプライ村に向かうため、国境を超えマレーシアに入りました。プライ村に到着すると、村の方達が出迎えてくださり模擬結婚式を見せてくださいました。模擬結婚式では村の楽器を使うな

ど、日本とは全然違う結婚式でした。その後、ホームステイ先の方達に日本から持っていったお土産を渡したり、交流をしたりなどして過ごしました。プライ村の晩ご飯では箸やスプーンは使わず右手を使って食べるので、僕たちも右手を使いご飯を食べるといいう貴重な体験をさせていただきました。

修学旅行2日目は初めての事や様々な体験をしたりなど、まさに驚きの連続でした。

3日目

『多くの経験』

3組 大塚 光稀

3日目の朝、私たちはマレーシアのプライ村で朝食を食べた。メニューが日本と全く違ったが、とても美味しかった。その後マレーシアを離れ、シンガポールに戻つたあと荷物を整理してB&S（プラーザ&シスターズ）研修が始まった。

現地の方に自分達の行きたい所や食べたい料理などを伝えてシンガポールを案内してもらった。私たちのグループではフレッドさんという方と一緒に昼食を食べた後、最初にアラブストリートへ行った。



アラブストリートは、シンガポール最大のイスラム寺院サルタンモスクを中心としたエリアで、マレー人やアラブ系民族の方が多くいた。その後地下鉄を使い、チャイナタウンへ行った。チャイナタウンでは、まさに中国を彷彿とさせるような建物が並んでいた。チャイナタウンには土産物店や屋台が多くあり、伝統料理のいい匂いがしていた。その後、歩いて100AMショッピングモール、バスに乗ってマライオン公園に行った。マライオン公園では、2日目に行くことができなかった場所に行った。

このB&S研修では、とにかく自分の思いや意見が伝わるように精一杯英語を使った。

伝わらないこともあったが、伝わった時はとても嬉しかった。

4日目

『修学旅行第4日目を終えて』

3組 梁原 伊織

私は朝食で朝食を取っているときに少し悲しみを感じてしまった。なぜなら高校1年生のときから計画してきた修学旅行がもう終わりに近づいていると思っ



たからだ。だからこそ4日目の研修は今までと同じくらいに記憶に残るような時間を過ごしたいと思った。

2日間泊まったホテルを名残惜しく感じつつもバスに乗ってセントーサ島に向かった。USSではそれぞれがグループに分かれて行動した。各グループで乗りたいアトラクションについて話し合っ

5日目

『疲れと眠気と安心感』

6組 藤村 美友

修学旅行の行程がすべて終わり、5日目に残っていたのは移動のみ。自覚していた以上に眠気と疲れがひどかったよう



く覚えている。行きのフライトでは六時間半があんなに長く感じたのに、帰りのフライトでは6時間半が一瞬で、とても不思議な感覚だった。

私が5日目で一番印象に残ったのは、やはり日本に帰国したときの安心感である。シンガポール・マレーシアで過ごした5日間はとても新鮮で刺激的であったが、帰国した瞬間、住むなら日本が一番だと改めて感じた。

5日間を振り返ってみると、マレーシアでのホームステイや、シンガポールでのB&Sプログラム、USS、ナイトサファリなど、とても充実した日々を過ごせることができた。個人的に位置番心配していたマレーシアでのホームステイも、現地の人と楽しく交流することができ、問題なく終えることができた。帰国するときには、こんな充実した楽しい日々がもう終わってしまうのかという寂しい気持ちも少しあったが、5日間楽しかったという満足感、達成感でいっぱいであった。来週からは普段通りの学校生活が始まる。この修学旅行で作った思い出を胸に、日常を大切にしたいと思う。

その後空港に行って出国手続きを終えると空港内で買いた物ができた。小銭は日本円に換金できないと聞いて、7、8人の小銭をかき集めて部活の顧問のお土産を買うことができた。

4日目の修学旅行を終えて私達は今までよりも親睦を深める事ができた。そして何より「シンガポールに来てよかった」と皆思っていると確信している。

高2修学旅行

オーストラリアコース

1日目 『不安から安心』

2組 鈴木 雄斗

私は修学旅行でオーストラリアへ行きました。1日目はまず金光学園のほつま体育館に集まり出発式をしました。校長先生や引率の先生、旅行会社の方々の話を聞き、バスに乗って出発しました。バスの中ではファームステイの班ごとに座っていたので班の仲間と一緒に人狼やワードウルフなどのゲームをして仲を深めました。

そして関西国際空港に到着しました。空港内では、まずスーツケースの中身と重さを検査しました。初めてのことであったのでなにか不備があるのではないかと不安になりましたが、難なく通過できたので安心しました。次に機内に持ち込む手荷物の検査をしました。手荷物のルールは少し厳しく、刃物や100ml以上の液体類は持ち込めませんでした。ルール通りに入れていたので手荷物の検査も通過できました。検査が全て終わり、飛行機の

搭乗券とバスポートを持って飛行機に乗り込みました。飛行機の中では疲れて寝ていて1日目が終わりました。

2日目 『自然の素晴らしさ』

3組 横尾佑一郎

2日目は現地時間の朝5時頃にケアンズ空港に到着。その後入国審査など諸々の手続きを経てオーストラリアの地に足を踏み入れた。周りの言語が英語だらけであったことを考えると、ケアンズにいたなど改めて実感した。

その後朝のケアンズ市内の観光を三十分程した。降りたバスのところからすぐのところにはビーチがあった。ちょうど朝日が登っていた時間だったこともあり、きれいな景色であった。

その後、スカイレールに乗ってキュランダ村を見学した。山を登っていくにつれて、スカイレールから眺めた緑あふれる木々、ケアンズ市内、そして途中にあった滝など日本ではなかなかお目にかかれ



ない景色がたくさん。キュランダ村ではアボリジニの文化を体験し、ブーメランを投げる体験をした。案外簡単なのかなと思っていたが、これが結構難しくあまり飛ばなかった。昼ご飯はその村でオージービーフを食べたが、肉は本当に美味い。だが、お腹の限界よりも顎の限界が真つ先に来たのは初めてだった。

キュランダの村を出たあとはいよいよホストファミリーの方と面会。私達のグループは自分の父よりも少し上の世代の男性2人だった。面会后ホストファミリーの家へ。家の敷地も日本のように国土は小さいけど憧れという抽象的なものだけで狭く息苦しさを感じられる都会と違い、敷地がとにかく大きい。ホストファミリーの家の敷地内にある森も広く、自然というのには本当に素晴らしいものだと思えて再認識できた。

3日目 『フューチャー』

1組 原 瑞希

3日目は、ホストマザーと動物園に行きました。その動物園は、自由に動物を触ることができるため、私たちは小さい



蛇や、トカゲを触りました。他にも、色々な種類の動物が飼育されていて、羊や馬、豚、アヒル、オウムなどたくさん動物がいきました。中でも私が一番心に残っているのは、ワラビーというカンガルーのような見た目の動物に餌やりをしたことです。日本では珍しいワラビーを実際に自分の目で見る事ができてとても嬉しかったです。その後、お土産として有名

であるコーヒーを買いにコーヒーショップに行きました。そこには沢山のコーヒー豆が置かれていて、オーストラリアのコーヒー文化を知ることが出来ました。家に帰ると、オーストラリアの人たちが大好きなバーベキューをしました。ご飯を食べながら色々な話を話して、みんなで盛り上がる事ができました。その事もあり、この日のご飯が5日間を通し



て一番美味しかったし、思い出に残っています。

4日目

『ファミリーとの思い出』

2組 岡部 未侑

ホームステイ4日目は朝8時に起きて朝ご飯を食べて、チョコのケーキ作りをしました。卵は日本とあまり変わりませんでした。

ケーキ作りを終えて、ケアンズの有名な滝に行きました。とても迫力のある滝でびっくりしました。滝を見た後は湖に行きました。とても綺麗な水で泳いでいる人が何人かいました。その湖は亀がとても多いらしく、たくさん亀を見るのができました。小さい魚もたくさん見ることができました。

湖に行った後は大きな木を見に行きました。大きい木を見た瞬間迫力がありすぎてとてもびっくりしました。海外のスーパーに行ってみよう！と言ったら何度か連れて行ってくれました。スーパーで美味しそうなお土産をいっぱい買いました。オレオのアイスがとても美味しかったです。近くにおばあちゃん家があって、

食べ物を食べたりしました。日本では味わえない食べ物を食べてとてもいい経験になりました。ほかにオーストラリアの本屋で本を買ったり、アイスを食べたり、オーストラリアならではの日本食屋を見ました。本屋では全文英語の本を初めて見て、理解はできませんでしたがいい勉強になりました。アイスは日本とあまり変わりませんでした。日本食屋では寿司、餃子、ラーメンなど日本を感じられて食べてみたかったです。食べられず、またの機会があればぜひ食べてみたいです。自主研修で分かったのですが、ケアンズの町はきれいな分、3時間でまわりきるのはとても難しいです。

6日目

『一生の思い出』

4組 石田 莉子

今日は、日本へ帰国する日です。

ホテルからケアンズ空港に移動し、出国手続きを行った後、搭乗前の少しの間お土産を買うなど、思い残す事のないように最後の時間を過ごしました。

昼すぎに予定より1時間程度遅れてオーストラリアを飛び立ちました。座席に座



昨日の夜、子羊が生まれたと言われたので行ってみました。とても小さかったです。抱かせてもらいました。とても貴重な経験ができました。夜はホストファミリーとご飯を食べた後、お父さんが星のことについて教えてくれました。外に出てみたら日本ではなかなか見られない星の数が広がっていました。とても綺麗でした。

ると名残惜しく、オーストラリアでの出来事が思い出されました。日本を発つ時は楽しみと期待の感情とファームステイ先の方と上手く会話ができたか、日本との違いなど不安や緊張もありましたが、ということ間にこの日を迎えてしまいました。約7時間弱のフライトは長いもので、ビデオを見たり寝たりして過ごしました。20時頃やっと関西国際空港に着きました。家までの道のりはまだまだ遠いです。ここからバスに乗り込み下りバスまで約4時間。夜中1時前によく到着しました。たくさん先生の先生方と保護者の方々の姿を見てほっとしたのと、久々の再会での笑顔で溢れかえっていました。

短い期間でしたが世界遺産であるキュランダ鉄道観光、グリーン島で海を満喫したりファームステイでの生活など数々のことを体験したりと、肌で感じたことは私達にとって一生に残る思い出となりました。何よりみんなが元気で無事に帰ってこれたことが一番です。



5日目

『3時間では足りないケアンズ』

3組 垣本 侖花

5日目の自主研修でケアンズの町を班に分かれ観光しました。私たちJグループはケアンズの大きいショッピングモールとナイトマーケットに行きました。ケアンズのショッピングモールでは、スーパーでおみやげを買ったり、日本にない



Soulife コンサート&トークセッション

5月31日(金)、百三十年記念行事として、「Soulife コンサート&トークセッション」がほつま体育館で行われた。

本校の卒業生である河田総一郎さんと、佐々木望さん(ともに高47回卒)による演奏や、放送部とのトークで会場には和やかな空気が流れ、軽音楽部とのセッションで演奏された「シンデレラガール」で盛り上がりは最高潮に達した。

コンサートの最後には学園のために作詞・作曲して頂いた「メタセコイアの花」が演奏され、百三十年の節目にふさわしいコンサートとなった。

Soulifeの河田さん、佐々木さん、そして舞台音響を担当してくださったスタッフの皆さま、素敵な時間をありがとうございました。

「芸術鑑賞会で学んだこと」

中1 1組 西山 心和

芸術鑑賞会を終えて、私の心に最も強く残ったことは、自分の好きなことをやり続けることは大変だけれどもやりがいがあり楽しそうだという事です。そして、夢を叶えるために必要なことは、あきらめない気持ちと友達の大切さだと

いうことを知りました。

曲の中で心に残ったのは、軽音楽部とのジョイントコンサートです。なぜかというところでも歌声がきれいだったからです。また、「メタセコイアの花」という曲を作ってくださっていたことにも驚きました。今日の鑑賞会ではよく歌詞が聞き取れなかったのですが、一度歌詞をじっくり読んでみたいと思いました。

学生時代から、大好きだった音楽を仕事にしていることにも驚きました。私は、将来なりたい職業が一つ決まっています。しかし、これからの学校生活で視野を広げて自分に合った仕事を探してみたいと思います。

「感動から学んだこと」

中2 1組 村田 敦美

私はこの芸術鑑賞会を通して学んだことがたくさんあります。まず、Soulifeのコンサートを聞いて、とても感動しました。それに吹奏楽や軽音楽とは違う、新しい音楽を聞くことができてとても嬉しかったです。知らない曲が多かったのですが、私達みんなが楽しめたと思います。Soulifeと軽音楽との合同ライブの「シン

デレラガール」は特に感動しました。私には、ステージがとても輝いて見えました。音楽は、人を笑顔にさせることも楽しませることもできるすごい力をもったものだと思って実感しました。

次に、Soulifeのトークセッションは私にとってとても参考になりました。特に「集中力の保ち方」が参考になりました。私は勉強などに集中力がすぐ切れてしまうので、トークセッションは私にとって、とてもためになりました。Soulifeの方々には学園の卒業生ということで、立派なママとして母校に残されました。私も先輩方の背中を見習って、これからの学園生活をより良いものにしていきたいです。そして、私は私たちのために作ってくださいました「メタセコイアの花」にとっても感動しました。学園に入って朝、登校するときには必ず目に入る大切な木です。メタセコイアは私たち学園生にとってかけがえのないものです。これからもメタセコイアを大切にしていきたいです。

この芸術鑑賞会を通して、私は学園の卒業生にこんなにすごい人がいることが知ることができてよかったです。それに軽音楽にも興味を持つことができて、私

にとつて芸術鑑賞会はとても良い経験となりました。

「人の心を動かす力」

中3 4組 金田 怜奈

今回の芸術鑑賞会を見て、まず思ったことはカッコいいなということ。自分達が伝えたいことを歌にしてそれをたくさんの方の前で歌えることは、とてもすごいことだなと思いました。とてもまっすぐに活動していかっこといいなと思いました。伝えたいことを伝えるということだけでも難しいのに、曲にのせて恥ずかしながら堂々と歌っていてかっこよかったです。今回をきっかけにソウライフさんの曲にとっても興味を持ってました。いいきっかけになりました。

私は人前で歌いたい、というわけではないけど将来、子供達にかっこいいなと思われような、人の心を動かすことができるような仕事をしたなと思いました。将来有名になって私も金光学園に戻ってきて学生の人たちと話して、学生の心を動かしたいです。ですから今から勉強を頑張ります。金光学園の自慢の卒業生になれるように。勉強をたくさん頑張ります。





「とても良い思い出」
 高3 3組 三宅 翔大
 5月31日の芸術鑑賞会で、Soulieさんと共に演奏できたことは、僕の高校生活でのとても良い思い出になった。
 一緒に演奏することが決定したのが中間テスト前だったので、少しずつ練習するのはとても大変だったが、やり切ることができて安堵している。
 三月の軽音部の演奏会で僕たち高校3年生は、一旦軽音部の活動は終了する予



定だったが、Soulieさんのご厚意と、軽音部の優しさのおかげで僕はギターとして壇上に立たせてもらうことができた。
 人前に立つて演奏すると手元が狂ってしまい、うまく弾けなかったり、エフェクターを踏み間違えたりすることがあったが、今回の演奏は終始落ち着いて演奏することができ、目立ったミスもせず弾ききることができた。稚拙な演奏ではあったが、Soulieの河田さんと佐々木さんの支えがあったため、なんとか形通りの演奏ができたと思う。
 色々な人の支えのおかげで、音楽鑑賞会を良い思い出にすることができて、本当に良かった。また人前で演奏することはいつになるかわからないが、音楽鑑賞会は僕が音楽をするにあたって、とても貴重な経験をさせてもらえたと思う。



「先輩たちから勇気もらった」
 高1 5組 小寺 功祐
 今年で金光学園は百三十周年ですが、Soulieさん達は百周年の時に高校3年生だったという事で、僕達より三十歳上の先輩でしたが、先輩達は若々しいなと思いました。先輩達は学生時代の頃から使っていない空き部屋を掃除して軽音学部の部室にしたり、大人になってからはずつと路上でギターを弾いて歌っていたりしたと聞きました。「音楽で食っていけるようになりたい」と一心に願った夢を掴み取ったのは聞いていて勇気をもらえました。
 今回のコンサートの中で良かった曲は『メタセコイアの花』で、メタセコイアのように年々大きくたくましくなっていくように思いました。最後にSoulieさん達が、「夢を持っている事は幸せな事、今、夢がある人はそれに向かって突き進んで」と言ってもらえて嬉しかったです。僕も学園を卒業して立派になってから、また学園に戻って学生時代の時とメタセコイアの木の様子がどう変わっているか見に行ってみたいです。

「プロとのセッション」
 高2 5組 金光 奏一
 今回の芸術鑑賞で僕は忘れられないとても貴重な経験をさせてもらった。一ヶ月半程前、顧問の先生から聞かされた言葉は、にわかには信じられなかった。誰もが知っているあのシンデレラガールを作詞作曲した本人様から、一緒にやりたい、とオファーを頂いたのだ。聞いた瞬間、心が躍る感じがした。「もちろんします！」と僕は先生に二つ返事した。
 本人様や全校の前で演奏するのだから、高い完成度で臨みたい。そんな思いで練習をした。しかしすべて思うようにいくことはなく、何回も壁にぶつかっていた。僕は自身は思い通りに声が出なかったり、全体では集まれる日が少なかったりした。しかしそれでも諦めないのが軽音楽部で、カラオケでの七連続シンデレラガールや一回の全体練習での質を上げること、本人様との打ち合わせで着実に完成度を高めた。
 そして迎えた本番。自分たちの登場が近づく。自分はこんな立派な舞台で相応しく歌えるだろうかと思った。何回深呼吸吸したか覚えていない。でもずっと一緒に

ほつま祭

「この経験を次に活かしたい」

中1 2組 二階堂はづき

「体験コーナーやっていきませんか」と、いつも以上に声をはり、来てくれた人たちに声をかけた。

初めてのほつま祭、友達と協力して重い物や大きい物を準備して一生懸命作った。ほつま祭の準備では、同じクラスのあまり話したことのない人と協力し合い、仲を深めたり、他のクラスの子と交流したり、コミュニケーションをとったりした。ほつま祭当日はあつという間に来て、当日は時間の十分前ほどに早めに来て待つておこうと早めに家を出たが、もう何人かは来ていて、自分のクラスの準備確認をすずにしていった。

少しトラブルがあつて、三十分時間は過ぎたが、みんなシフトの時間を調整したり、生徒同士でしっかりと話し合ったりして、冷静に対処していてすごいなと感じた。みんな接客が上手く、自分も

大きな声で呼びかけを行った。そして、他のクラスの出し物や展示も見て、もっと自分も頑張りたいと思えた。初めてだったので、分からないこともあったけれど、来年はもっといろいろな人と協力して進めていきたいと思った。分からないことが多くて、戸惑うこともたくさんあったけれど、いろんなことを経験して次に活かしていきたい。



「思う存分楽しんだほつま祭」
中2 3組 黒住 乙葉
「楽しかった」学校の一大イベントが終わり、少し寂しい気持ちがありながらも頭にあったのはその一言でした。私たちのクラスは演技を希望していましたが、くじ引きで展示をすることになりました。中2では3組だけが展示だったので余計に不安になりました。しかし、準備を進めていくにつれて、クラスの人と協力して作り上げていくことが楽しく、準備の最後のほうでは、自分からいろいろなことに取り組むことができました。

そして、ほつま祭当日。私はシフトで体験コーナーを任せられました。最初は自分から呼びかけをしたり、メンコの作り方をうまく教えたりすることができませんでした。でも、勇気を出して、「メンコを作ってみたい？」と声をかけました。小さい子供が多く、教えてあげると嬉しそうにするので、自分自身もやりがいを感じ、積極的に関わっていくことができました。

そして、中学展示部門一位になることができました。今まで頑張ってきたよかったです。楽しかったな、いろいろな気持ち

「ほつま祭で思ったこと」

中3 3組 青木 悠真

私は今年のほつま祭に参加した経験を通して多くの感動と楽しい思い出を作ることができました。ほつま祭は学校の大イベントであり、私たちは1学期から準備を始めました。

ほつま祭当日の最初の印象は、展示会場に入った瞬間の賑やかさと活気でした。生徒たちが一生懸命に作りあげた模造紙や展示物をお客さんに見てもらいたいという気持ちが伝わってきました。演劇は、それぞれのクラスの努力や情熱が詰まっています、見ていて感動しました。

私が特に印象に残ったのは、自分のクラスの劇をクラス一丸となって作り上げたことです。主人公が鬼退治に行く仲間を選ぶストーリーでした。クライマックスのシーンは、主役やその仲間の演技が素晴らしく、クラスのチームワークも深まり、みんなの心が一つになったことを実感した瞬間でした。私は照明係だったのでみんなをサポートする立場でしたが、この演劇を通して「仲間」の存在を強く意識するようになりました。本番での観客からの拍手に感動したこと、ほつま



祭に向けて一生懸命クラスみんなで一緒に練習した日々が今でも心に残っています。

クラスの仲間たちと一緒に練習し、作り上げたことで、クラスの結束や団結力を感じることができました。また、演劇を終えた時は、自分たちの努力が実を結んだ瞬間だったので、達成感と喜びが一気に湧き上がりました。

ほつま祭は、ただ単に見るだけではなく、自分たちの努力や成果を共有し、学校全体での一体感を感じることができ



あふれました。こんな思いになるのは、みんなが協力して、一人ひとりが自分のやることを全うしたからだと思います。クラスの皆さんありがとうございました。2日目はライブとたくさんさんの劇を見て思う存分楽しめました。ほんとうに楽しくて、あつという間に終わってしまいました。この2日間でもたくさんさんの大事なことを学びました。この経験を活かして、今後の日常生活、行事を送っていきたいです。

行事だと思えます。これからも、ほつま祭での経験を活かし、さまざまな活動に取り組んでいきたいと思いました。

「楽しみにしていたほつま祭」

高1 1組 鳴本 陽斗

ほつま祭は、僕が学校生活の中で楽しみにしていた行事の一つだったので、とても楽しかったです。今回1組は、夏祭りをテーマにしました。展示でクラス全体が一丸となって、体験型の店や走馬灯を作って、一生懸命準備に取り組んだので良い成果を披露でき、とても良かったです。そして、みんなと放課後に協力して準備をした時間そのものも楽しい思い出となりました。

当日は多くのお客さんが訪れ、僕たちの展示を楽しんでもらえ、とてもやりがいを感じ嬉しかったです。僕はあまり他のクラスの展示や演技は見に行かず、多くの時間を体験型の店での接客に費やしました。せっかくのほつま祭で、もったいないとも思いましたが、僕は体験型のお店に遊びに来てくれる子供たちの接客をするのがとても楽しくて、満足をしている子供たちを見ると、癒しにもなった



ので後悔はしていません。

コンテストの発表では優勝することはできませんでしたが、それでも子供たちに充分楽しんでもらえてうれしかったです。文化祭を通じて仲間の絆が深まり、協力の大切さを学ぶことができました。一人ではできないことも仲間と力を合わせることで達成できると強く感じました。この経験を通じて得た学びを今後の学校生活や将来に活かしていきたいと思えます。そして来年のほつま祭もさらに良いものを作り上げていきたいと思えます。

「本気の練習は「本番」そのもの」

高2 5組 高倉あかり

2年5組の演劇「嘘吐き村」を作っていく中で、全員が一つの団体として協力することの大切さを学んだ。最初はみんな、自分の担当する仕事だけで精一杯だったが、練習を重ねるごとに「もっとこうした方がいいかも」と、他の担当の改善策まで考えられるようになったことが良かったと思う。みんなの声が取り入れられていたこともあり、直前でも焦りやピリピリがなかったことも良かった。

取り組みの中で最も印象に残っているのは、キャストそれぞれのキャラクターが、演じる「容疑者」にぴったりだったことだ。配役はオーディションを行い、みんなの投票で決めたので、だいたい合っていたが、そこから時間をかけて役作りをするのだからと思っていたのに、その必要もあまりないくらいでびっくりした。刑事役が他のキャストがセリフにつまんだ時、「自分がこんな感じでつなぐから、その間にセリフを思い出したらいいよ」と言っていたのは、すごいなと思った。上演中、照明係として舞台を横から見ている私は、本番である気がしない瞬間

があった。それは、前々日くらいから、特にキャストの人たちがより本気で練習していたので、本番も本気の練習かのように思えたのだと思う。まだ初期の稽古の時は、周りの人が全く別のことをしていたり、キャストも少しふざけたりしていたが（それはそれで楽しい思い出にはなっているが…）、最終的には、みんなが2年5組に誇りを持っていたのだと思う。



高3人権講演
「私の歩んだ道——見えないから見えたもの——」
NPO法人 ヒカリカナタ基金 理事長 竹内 昌彦先生

生きてさえいればいい

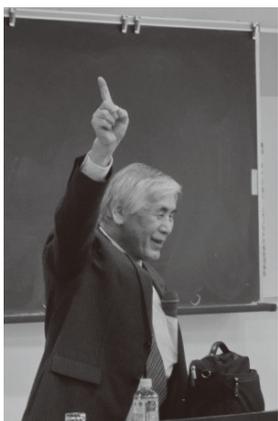
1組 久保 さくら

このお話を聞いて泣いてしまいました。私は何も欠けてないのに文句が多かったり弱音を吐いてしまったり。とても思まれているのに私は弱い人間なんだと思えました。辛いことがあっても悲しい選択を取らない、弱い人の立場に立つて寄り添う。生きてさえいればいいという言葉がとても心に響きました。困っている人にあつたら助けの手を差し伸べる事が大切だなと思いました。めぐりめぐって私にかえってくるのかなと思いました。日々健康で笑顔で過ごせていられることに感謝し私もこの感謝を返せていきたいなと思います。生きてさえいれば生きていてよかったですと思える日がくるといわれて心に残りました。

何事も諦めない

2組 小野 晃一郎

私は今日の竹内先生の人権講演を聞いて、ゆっくりイライラせずゆとりを持って障害者や高齢者と接していくこと、仲間を大切にすること、何事も諦めないことを学ぶことができた。私も祖母が認知症を患い、自分のことを理解することが難しくなってきたのでどう接していいのかわからなかったが、イライラせずに心のゆとりを持って、という竹内先生の言葉を思い出して勇気を持って接して行きたい。仲間を大切に、と言われていたが私は今良い仲間に出会えてそれが当たり前のもののように感じていた部分が少なからずあったのかなと思います。これからしっかりとしていこうと思った。最後に何事も諦めずにやる、ということに対して私も身体的な障害があつた訳では無いが小学校



のときに似たような経験をしたことがある。しかしそのときの私は竹内先生のように行動ができなかった。これからは状況に諦めずにもっとやれることを考えて頑張っていきたい。今日の講演は私の人生においてプラスになることだらけだったのでこれから大変なときはこの講演を思い出して頑張っていこうと思う。

なぜ勉強するのか

3組 宮原 咲百合

私は竹内先生のなぜ勉強するのかという問題に対する答えがとても心に響きました。今まで関わってきた大人は大概「自分のため・将来困らないように」などと教えてくれましたが竹内先生は違いました。先生は勉強するのは「立派な大人

になるため」またその立派とは「自分のことを犠牲にしても周囲の人を幸せにするため」だと教えて下さいました。私の将来の夢は先生です。竹内先生は周囲の人に優しい言葉をかけることができる人はやさしい環境で育つた人だと教えてくれました。先生とはその環境を作ることができるとは思います。だから、そのような環境づくりのできる先生になりたいです。その第一歩としてお年寄りや障害のある方をゆっくり見守ることのできる心のゆとりを持つようと思います。

先生の姿に憧れた

4組 寺本 晴登

今回私がこの講演を聞いて人としてとても多くの大切なことを学ばせていただきました。この講演の中で一番心に残ったことは竹内先生の生い立ちです。様々な困難がありながらも前を向いてまっすぐ突き進んでいく先生の姿に憧れました。先生は自分の将来に不安を持ちながら過ごしていましたが、そこから逃げ出さず多くの人の支えやひよんなことからの近所のおばさんとの出会いから希望を見つけて出していくところは自分の年齢と重なっ

てとても共感できました。これからは自分の目が見えるということを生かしてさきの将来をしつかり見つけていきたいです。

理解の輪を広げたい

5組 竹内 煌瑛

私は今回の講演がきっかけで小学校の頃のことを思い出しました。私が小学生の時、クラスには障害を持っている子がいました。その子は吃音を持っていて、なかなか授業や休み時間でも自分の意見を言うことができませんでした。私は当時、吃音を知らなかったので彼に対して正しく接することができていなかったように思います。障害に対する理解が不十分でした。竹内さんの尊敬する先生のお話を聞いて、クラスのみんなで彼がどうすれば楽しく、そして不自由をなるべく少なく学校生活を過ごすことができるのかを考えるとよかったですと後悔しています。ただ、過去にしてしまったことをどうにかすることができません。私はこの講演から他人への理解を深めるために考えることを決してやめないようにしたいと思いました。また、今日の講演を家族に伝えることも障害がある方々への理解につながる

優しい社会の在り方

6組 鼓 登生

今日の講演では、盲目の人に優しい社会の仕組みや盲目の人の苦勞を知ることが出来ました。また、竹内さんはそれだけでなく人としてのあり方も僕たちに教えてくれたと思います。これらを知って僕は誰にでも優しく接し、困っている人を見かけたら声をかけたり手助けをしたりすることができるようになりたいと思います。さらに今、自分が生きていることのありがたさを忘れず、周りの人に感謝するように心がけようとも思いました。誰かに手を差し伸べてあげることとはとても勇気のいることだと思えます。しかし、助けられた相手にとってはとてもありがたいことだし、自分も困っていたら助けてもらえるよう行動してみようというのを教えてもらいました。自分は盲目ではないけど盲目の人の苦勞や、竹内さんの盲目の人に対しての優しい取り組みをすべてとてもいい経験になりました。

学校法人金光学園 令和5年度決算の概要

令和5年度の決算が、5月28日に開かれた法人評議員会ならびに理事会で承認されました。
 学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財産状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4号に定められた規則に基づき作成したものが、以下の「財務三表」です。

資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

収入の部		支出の部	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
学生生徒等納付金収入	513,199,000	人件費支出	884,959,829
手数料収入	6,146,100	教育研究経費支出	132,478,759
寄付金収入	28,945,844	管理経費支出	63,629,657
補助金収入	495,451,174	借入金等利息支出	1,629,541
付随事業・収益事業収入	728,152	借入金等返済支出	40,400,000
受取利息・配当金収入	742,780	施設関係支出	834,900
雑収入	92,496,965	設備関係支出	13,140,040
前受金収入	63,920,000	資産運用支出	19,301,422
その他の収入	57,433,595	その他の支出	36,768,914
資金収入調整勘定	△ 73,471,084	資金支出調整勘定	△ 8,117,146
前年度繰越支払資金	61,587,944	翌年度繰越支払資金	62,154,554
収入の部合計	1,247,180,470	支出の部合計	1,247,180,470

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		決 算 額	科 目		決 算 額		
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	513,199,000	事業活動支出の部	人件費	868,631,994		
	手数料	6,146,100		教育研究経費	222,341,710		
	寄付金	28,945,844		管理経費	66,832,999		
	經常費等補助金	495,451,174		教育活動支出計	1,157,806,703		
	付随事業収入	728,152					
	雑収入	92,544,464					
	教育活動収入計	1,137,014,734		教育活動支出計			
	教育活動収支差額				△ 20,791,969		
	教育活動外収入の部	受取利息・配当金		742,780	事業活動外支出の部	借入金等利息	1,629,541
教育活動外収入計		742,780	教育活動外支出計	1,629,541			
教育活動外収支差額				△ 886,761			
經常収支差額				△ 21,678,730			
特別収入の部	その他の特別収入	39,229	事業活動外支出の部	資産処分差額	10,924,472		
	特別収入計	39,229		特別支出計	10,924,472		
特別収支差額				△ 10,885,243			
〔予 備 費〕							
基本金組入前当年度収支差額					△ 32,563,973		
基本金組入額合計					△ 35,766,877		
当年度収支差額					△ 68,330,850		
前年度繰越収支差額					△ 2,030,073,670		
翌年度繰越収支差額					△ 2,098,404,520		
(参考)							
事業活動収入計					1,137,796,743		
事業活動支出計					1,170,360,716		

貸借対照表

令和6年 3月31日

資産の部		負債の部	
科 目	本年度末	科 目	本年度末
固定資産	2,192,288,276	固定負債	411,235,567
有形固定資産	1,992,005,173	流動負債	119,716,802
特定資産	200,000,000	負債の部合計	530,952,369
その他の固定資産	283,103	純資産の部	
流動資産	100,323,025	科 目	本年度末
資産の部合計	2,292,611,301	基本金	3,860,063,452
		繰越収支差額	△ 2,098,404,520
		純資産の部合計	1,761,658,932
		負債及び純資産の部合計	2,292,611,301

金光学園やつなみ保護者会 令和5年度 収支決算

I. 一般会計

収入の部		(単位：円)	
科 目	予算額	決算額	差 異
1 会 費	3,683,520	3,717,360	△ 33,840
2 繰越金	2,810,155	2,810,155	0
3 寄付金	20,000	20,000	0
4 雑収入	30,000	38,712	△ 8,712
合 計	6,543,675	6,586,227	△ 42,552

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 指導部費	505,000	450,400	54,600	
A 地区会費	300,000	247,400	52,600	23地区
B 生活指導費	5,000	3,000	2,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	0	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,435,000	3,022,815	412,185	
A 機関誌費	2,700,000	2,385,900	314,100	やつなみ265号～267号
B 教養費	735,000	636,915	98,085	
(1) 研修費	300,000	424,915	△ 124,915	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	400,000	192,000	208,000	教養シリーズ
(3) 講習会費	35,000	20,000	15,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	1,800,000	1,426,750	373,250	
A 負担金	400,000	275,565	124,435	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	0	0	0	学園名簿(RI年度から発行しない)
C 慶弔費	500,000	492,000	8,000	卒業式、弔慰、饗別
D 会議費	100,000	56,747	43,253	総会、評議員会、役員会
E 旅費	100,000	44,680	55,320	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	200,000	82,510	117,490	諸消耗品代等
G 特別委員会費	400,000	446,616	△ 46,616	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	100,000	28,632	71,368	標語パネル協賛金、振込手数料、他
4 予備費	803,675	116,000	687,675	ミン
合 計	6,543,675	5,015,965	1,527,710	

1. 一般会計収支

収入総額	6,586,227
支出総額	5,015,965
差引剰余金	1,570,262

◎剰余金処分 一般会計剰余金 1,570,262円は、次年度一般会計に繰り越す。

支出の部

科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	摘 要
1 指導部費	475,000	505,000	450,400	
A 地区会費	270,000	300,000	247,400	24地区
B 生活指導費	5,000	5,000	3,000	広域補導
C 通信連絡費	200,000	200,000	200,000	家庭連絡電話料
2 教養部費	3,185,000	3,435,000	3,022,815	
A 機関誌費	2,500,000	2,700,000	2,385,900	やつなみ268号～270号
B 教養費	685,000	735,000	636,915	
(1) 研修費	400,000	400,000	424,915	総会講演、研修旅行、他
(2) 教養費	250,000	300,000	192,000	教養シリーズ
(3) 講習会費	35,000	35,000	20,000	やつなみサークル補助
3 庶務部費	1,690,000	1,800,000	1,426,750	
A 負担金	350,000	400,000	275,565	私中高父母の会負担金、他
B 名簿刊行費	0	0	0	学園名簿(R1年度から発刊しない)
C 慶弔費	500,000	500,000	492,000	卒業式、弔慰、餞別
D 会議費	80,000	100,000	56,747	総会、評議員会、役員会
E 旅費	80,000	100,000	44,680	私中高P連総会、大祭湯茶接待、他
F 事務費	150,000	200,000	82,510	諸消耗品代等
G 特別委員会費	450,000	400,000	446,616	全国・中国地区私中高父母の会等
H 雑費	80,000	100,000	28,632	標語パネル協賛金、振込手数料
4 予備費	20,982	803,675	116,000	
合 計	5,370,982	6,543,675	5,015,965	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	摘 要
1 特別会費	7,001,280	6,960,480	6,907,440	月額 @680
2 繰越金	611,868	5,769,228	5,769,228	
3 雑収入	10,000	10,000	13,939	マスクingtテープ売り上げ、生徒用コピー機利用料戻入
合 計	7,623,148	12,739,708	12,690,607	

支出の部

科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	摘 要
1 教育後援費	7,623,148	12,739,708	12,079,419	スポーツ振興センター共済掛金、生徒用コピー機、生徒会派遣費補助、事業積立金会計への積立等

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	1,100,000円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	400,000円
③私学ボランティア基金会費	20,000円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コピー機再リース料	20,000円
⑥メールシステム利用料(R7年度分)	100,000円
⑦生徒会派遣費補助	4,500,000円
⑧事業積立金会計へ	1,000,000円
⑨予備費	473,148円
	7,623,148円

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	摘 要
1 積立金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	特別会計より
2 繰越金	5,049,700	6,000,000	6,000,000	
合 計	6,049,700	7,000,000	7,000,000	

Ⅱ. 特別会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 特別会費	6,960,480	6,907,440	53,040	月額 @680
2 繰越金	5,769,228	5,769,228	0	
3 雑収入	10,000	13,939	△ 3,939	マスクingtテープ売り上げ、生徒用コピー機利用料戻入
合 計	12,739,708	12,690,607	49,101	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 教育後援費	12,740,388	12,079,419	660,969	下記教育後援費の内訳参照

《教育後援費の内訳》

①日本スポーツ振興センター共済掛金	990,640円
②高P連賠償責任補償制度加入掛金	340,400円
③私学ボランティア基金会費	9,520円
④私学ボランティア基金特別会費	10,000円
⑤高校図書室コピー機リース料	17,820円
⑥メールシステム利用料(R6年度分)	99,000円
⑦生徒会派遣費補助	9,612,039円
⑧特別会計から事業積立金会計へ	1,000,000円
	12,079,419円

2. 特別会計収支

収入総額	12,690,607円
支出総額	12,079,419円
差引剰余金	611,188円

◎剰余金処分 特別会計剰余金 611,188円は、次年度特別会計に繰り越す。

Ⅲ. 事業積立会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 積立金	1,000,000	1,000,000	0	教育後援費より
2 繰越金	6,000,000	6,000,000	0	
合 計	7,000,000	7,000,000	0	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 事業費	0	1,950,300	△ 1,950,300	創立130年記念テント

3. 事業積立会計収支

収入総額	7,000,000円
支出総額	1,950,300円
差引剰余金	5,049,700円

◎剰余金処分 事業積立金剰余金 5,049,700円は、次年度事業積立金会計に繰り越す。

令和6年度 予算

金光学園やつなみ保護者会

I. 一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	R6予算額	R5予算額	R5決算額	摘 要
1 会 費	3,750,720	3,683,520	3,717,360	月額 P@320、 T@400
2 繰越金	1,570,262	2,810,155	2,810,155	
3 寄付金	20,000	20,000	20,000	大祭直会
4 雑収入	30,000	30,000	38,712	預金利息、やつなみ増刷補助、笠岡補導センター補助、他
合 計	5,370,982	6,543,675	6,586,227	

金光学園わかばプロジェクトの活動について

わかばプロジェクト代表 佐藤正俊

「金光学園わかばプロジェクト」は、令和4年に「地域教育に貢献すると同時に、金光学園の良さを広く知っていただく」ことを目的に設立され、今年3年目を迎えました。初年度には、春に「土曜講座」、夏に「サマースクール」、冬に「ワンデイ・ウィンター・スクール」を実施しました。3年目を迎えた今年度は今までの行事に加え、春の「土曜講座」と並行して「土曜スクール」を年間を通して実施。「土曜講座」は、春と秋の実施を決め、現在2学期を実施中です。

「サマースクール」と、冬の「ワンデイ・ウィンター・スクール」に加え「スクール・講座三学期」を1月から3月にかけて実施予定で、活動の枠を徐々に広げています。

■スタッフ
役員組織は、代表1名、幹事8名、事務局2名、オプザーバー1名、アドバイザー

1名の13名で、元教師、卒業生、元・現保護者などで運営しています。各イベントの企画、運営、時に自らの勉強のために、講座の講師などの役割を果たしています。また、高校生ボランティアが、児童の活動をサポートしてくれていますし、イベントによっては、外部スタッフや講師を招いて活動しています。

■主なイベント（詳細は、後掲載のスケジュール、プログラム参照）

《土曜スクール》

基本は学童として一日児童をお預かりする内容ですが、朝の読書からスタートし、見守りアドバイザーがついての自学自習、チャレンジタイム、アクティブタイムでは様々な分野の専門の講師の指導のもと、物作りや体験ができるプログラムを組んでいます。土曜スクールと土曜講座は時

間的にリンクしており、スクールの児童の多くの者が、スクールから講座を受講し、より専門的な講座で学んでいます。今年度はスクール、講座共に36日実施。

《土曜講座》

今年度は、「英会話講座」「書写講座」「リトミック講座」「英検講座」「ロボコン講座」「スポーツ講座」「料理お菓子作り講座」「算数ひらめき講座」「アトリエ講座」「パソコン講座」の10講座を開講。英会話講座のみ毎週実施し、他の講座は隔週実施しています。講師は、それぞれ専門分野の講師陣で金光学園教師と外部講師に当たっていただいています。

《サマースクール》

7月下旬から8月下旬にかけて今年度は、23日間実施。夏休み宿題指導の他、バス研修、コンサート、夏祭りなど、盛

りだくさんのプログラムで過ごします。6年生には「入試過去問講座」、5年生には「実力アップ講座」、3・4年生には「楽しい英会話」など学習面もおろそかにしないプログラムを組んでいます。定員100名で募集しますが、ほぼ一日で定員一杯になるほどの好評をいただいていることが有難いです。

《ワンデイ・ウィンター・スクール》

文字通り、一日だけのプログラムです。土曜スクールや土曜講座、サマースクールでお友達になった仲間が集って、勉強、お正月飾り、本格的な風作り、お雑煮づくり、百人一首、ニュースポーツ、部活動体験等々様々なことに取り組んで、一年を締めくくります。

【各イベント参加者数】2024年11月現在

	土曜講座	土曜スクール	サマースクール	ワンデイ・ウィンター・スクール	計
2022年	77	***	67	86	230
2023年	50	***	101	91	242
2024年	97	35	101	***	233
参加延べ人数	224	35	269	177	705

※2024年の、土曜講座、土曜スクールは、1・2学期合計



サマースクール2024

「小学生土曜講座2024」二学期プログラム

チャレンジで、もっと近づくキミの夢

- 対象/小学4年～6年生
- 定員/各講座10～20名(下表参照)
※各講座、定員になり次第締め切ります。
※応募者が少人数の場合、実施しない講座もあります。
- 期間/二学期 9月14日～12月14日
- 会場/金光学園内 各教室
- 講座内容・講師・日程・持参物・諸経費・定員

■日程/					
月	9月	10月	11月	12月	計
A日程	14	5・19	2・16	7	6回
B日程	28	12・26	9・30	14	6回

■時間/2時間目9:50～11:00 3時間目11:20～12:30 (料理お菓子のみ12:45)
4時間目13:30～14:40 5時間目15:00～16:10
※時間割は土曜スクールとリンクしてあります。

講座内容	講師	日程・時間	持参物・諸経費	定員
[A]英会話講座 ～Let's enjoy English!～ 英会話専門の3人の講師により、楽しみながら英会話を身に付ける講座です。この講座だけ毎週あります。	小嶋美子 金田エリカ ムツカズマ・ストーリー	A・B日程 (海通) ② 時間目	◎持参物: 筆記用具	20名
[B]書写講座 ～学び合おう!広めよう!書の魅力!～ 健康、芸術を楽しく学び、学校の授業では体験することができないオリジナル作品にも挑戦。みんなが楽しく学び書写マスターになろう!	●小森那実 安田女子大学文学部東洋学卒業 夢和書道館全金会員 金光学園書道教師	A日程 ③ 時間目	◎持参物: 習字用具一式 筆記用具(6B 鉛筆含む) ◎諸経費: 1000円(6回 分の材料費)	10名
[C]リトミック講座 ～ポーター・パーカッションでリズムを楽しもう!～ 楽器がなくても、音が得意でなくても大丈夫。講座を通して色んな楽器を身体を使って体験しましょう。取った身体全体でリズムをとって楽しく遊びましょう。	●木下奈穂 国立音楽大学音楽教育学科リトミック専攻卒業 日本ジャックバルクロウズ協会会員 台湾のインターナショナル幼稚園で音楽指導10年 ダンス・リズムの楽しさを伝えたい	A日程 ③ 時間目	◎持参物: 上履き、 タオル、水筒、 運動ができる服装	20名
[D]英検講座 ～検定3級・4級・5級合格を目指して!～ 英検検定3級・4級・5級合格を目指す講座です。チャレンジ精神で頑張ってください。	●守分俊浩 当院院長、海外 英語、金光学 園で一貫指導。 金光学園英語 教師	A日程 ④ 時間目	◎持参物: 筆記用具 ◎諸経費: 1000円 テキスト代 (切めての人)	20名
●長江智子 小学校英語指導 員、英検1級 取得、金光学園 英語教師	A日程 ④ 時間目	◎持参物: 筆記用具	10名	
[E]ロボコン講座 ～LEGOロボットを動かしてみよう～ LEGOのロボットを使って、初心者には高橋から指導します。ロボコン出場希望者は、大会出場のために実戦練習をします。	●谷野一忠 LEGOロボットの制作指導で、全国大会出場経験あり 金光学園技術部副部長	A日程 ⑤ 時間目	◎持参物: 筆記用具	10名
[F]スポーツ講座 ～すべてのスポーツに大切なこと～ 全てのスポーツに共通する「スポーツのコツ」を、それぞれのスポーツの専門家から楽しく学びます。	●有馬佳造 ●佐藤洋平 金光学園保健体育科教師 陸上競技、野球、サッカー、バレー、柔道、バドミントン他専門の 金光学園体育科教師が指導します。	A日程 ⑤ 時間目	◎持参物: 運動ができる 上履きと室内 運動シューズ。 運動ができる 服装、飲み物。	20名
[G]料理・お菓子講座 ～美味しく作って、楽しく食べよう!～ 食べることは、生きることにつながります。だから、自分の手で、食べ物を作ること、とても大切なことです。	●北川恵子 料理センター副 長、金光学園 で入会生指導 調理師・栄養士	B日程 ③ 時間目	◎持参物: エプロン、三島 印、マスク、筆 記用具 ◎諸経費: 3000円(各自 分の材料費)	20名
●加賀琢也 (お菓子) 金光学園の先生 と、金光学園 の先生と、 一緒に作ろう	B日程 ③ 時間目	◎持参物: 筆記用具	15名	
[H]算数ひらめき講座 ～算数で謎を解き明かそう!～ 私たちの身の回りに、算数で考えられる面白い謎がたくさんあります。一緒に考えて、算数の新しい面白さを見に行きませんか?	●瀬戸信貴 金光学園の算数バズ博士 金光学園数学科教師	B日程 ④ 時間目	◎持参物: 筆記用具	15名
[I]アトリエ講座 ～あなたもアーティスト～ アートは心のビタミン剤です。楽しくアート作品を作りましょう。1講座1作品完成を目指します。	●小川一生 画家、日本美術家連盟会員 小川美術教室主宰 Ogawa art gallery 主宰	B日程 ⑤ 時間目	◎持参物: 筆記用具 ◎諸経費: 1500円(6回 分の材料費)	15名
[J]パソコン講座 ～パソコンマスターになろう～ 「メインクラフト」や「プログラミング」などを活用して、パソコンの基本操作を学びます。「やってみよう」を実践しましょう。	●戸井健吾 システムエンジニア・各社ICTアドバイザー Webメディア「森数とことこ」を運営する。一般 社団法人はとこ 代表理事	B日程 ⑤ 時間目	◎持参物: 筆記用具	15名

「小学生土曜スクール2024」二学期プログラム

キミはきっと土曜日が待ち遠しくなる

- 対象/小学4(3)～6年生 ※3年生は兄弟がこの土曜スクールに参加の場合のみ3年生も参加できます。
- 定員/40名
- 期間/令和6年9月14日～12月14日
- 日程/



月	9月	10月	11月	12月	計
日	14・28	5・12・19・26	2・9・16・30	7・14	12日

- 時間/8時00分～17時00分
- 場所/金光学園記念講堂 他
- 1日のスケジュール、内容、持参物について/※「チャレンジタイム」「アクティブタイム」の内容は前もってお知らせいたします。

時間	スケジュール	内容等	持参物など
8:00～8:30	受付	※8時前の登校を希望される方は、ご相談ください。登下校は、児童のみでの登下校も可ですが、保護者の責任でお願いいたします。	*上履き *飲み物 *連絡帳(こちらで準備) *服装は自由です
8:30～8:45	朝の読書	朝読は、毎朝たった15分読書するだけで、いろんなことに興味を持ったり、知識を得たりするだけでなく、一日の活動を穏やかに気持ちよくスタートできる方法です。	*自分の愛読書(漫画類は原則禁止) *こちらでも本を準備いたします。
8:45～9:35	1時間目 スタディタイム①	自主学習の時間。学校の宿題、日々の自主勉強の教材等の学習時間です。学習見守り隊が学習のアドバイスをいたします。	*学校や塾の宿題 *自主勉強の教材等 *筆記用具
9:50～11:00	2時間目 スタディタイム②	教科学習だけでなく、自分に興味ある幅広い学習に取り組みます。(ネット学習、読書、自由研究など)学習見守り隊が学習のアドバイスをいたします。	*自由研究等の資料。 *ネット学習のPCは こちらで準備
11:20～12:30	3時間目 チャレンジタイム	モノづくり、調べ学習、ボランティア活動、共同制作など様々なことにチャレンジしましょう。テーマは先生から与えられたものだけでなく、児童の皆さんからのアイデアでも取り組みます。	
12:30～13:30	昼食休憩	※昼食が必要な方で持参できない方は、コンビニから出張販売をしていただきますのでご利用ください。 ※おやつ配布はありません。	昼食、飲み物 ※校内の自動販売機も利用できます。
13:30～14:40	4時間目 アクティブタイム	スポーツ大会、室内ゲーム、コンサート鑑賞、町内ふれあい探検、部活動体験など、まさにアクティブに活動します。 ※内容によってはご家族の方も参加できるイベントがあります。	スポーツ大会や町内ふれあい探検等の場合は、運動のできる服装です。 ※実施内容は、前もってお知らせいたします。
15:00～16:10	5時間目 フリータイム	自由時間です。お友達と遊んだり、お話ししたりできます。アクティブタイムが延長になって実施される場合もあります。	
17:00	下校時刻	※お迎えが遅くなる場合は、前もってご相談ください。また、急な場合は必ず電話での連絡をお願いいたします。	

【お申し込みに関して】

- 「土曜スクール」と「土曜講座」は両立できるように時間を組んでいます。/両方お申し込みの児童は、「土曜講座」受講時間は「土曜スクール」を抜けて講座を受講します。
- 「土曜スクール2024二学期」に参加の方は、「土曜講座2024二学期」の受講料割引制度があります。/詳細は募集要項参照
- 参加費の返金について/ご入金後の返金はいたしません。ただし、主催者の責任で休校等が生じた場合は、一日につき1000円返金いたします。
- 【その他連絡事項】
- 出欠について/出席、欠席、遅刻、早退は可能ですが、前もって出欠の予定提出と、緊急の場合は電話またはメールでの連絡をお願いいたします。
- 飲み物、おやつについて/飲み物は十分な量持参ください。おやつは配布いたしません。個人でのおやつ持参はご遠慮ください。



2024年9月3日(火)の6時間目、中学3年生1組のLHRの予定です。今週末に行われるほつま祭に向けてクラス全員が役割を全うしています。

1組では監督の金子恵大くんを中心に、生徒主導のほつま祭準備を行っています。その監督を支える最高責任者として戒谷公望くんが全力でサポートしています。監督の金子くんを中心に、キャストの皆はセリフの打ち合わせ、動きの確認を何度も何度も繰り返しています。大道具や衣装係は最高責任者の戒谷くん指揮のもと計画を立て、見栄えのある大きな柱から魔王や小人の小道具を、創意工夫を凝らしながら作成していました。音響や照明を初めて担当する者も多い中、「どのような音がいいのか」、「どのような照明がいいのか」、周りと相談しながら試行



ある日のホームルーム



中学3年生1組

サマースクール2024スケジュール (変更する場合があります。ご了承ください)

月	日/曜日	午前 学習(1)(2)以外の、講座・イベント予定	午後 講座・イベント予定
7月	24/水	8:30~「オープニングセレモニー」※家族参加可 学習(2)(3)夏休み学習計画づくり・自主学習	13:30~15:00校内オリエンテーション 15:30~17:00「みんな友達!ゲーム大会」 
	25/木	学習(3)(3・4年)宿題対策「書道教室」※出品希望者対象 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「算数①」	(5・6年)宿題対策「書道教室」 ※出品希望者対象
	26/金	学習(3)(3・4年)シヨーン先生と英語で遊ぼう① 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「国語①」	楽しい!お菓子作り教室 (講師/加賀氏 参加費500円程度)
	27/土	学習(1)(2)(3)自主学習・自由研究等 ▼金光学園!日入学	13:30~16:00ニューススポーツ大会 ※家族・友達参加可
	28/日	休み	
	29/月	学習(3)(3・4年)宿題対策「読書感想文講座①」 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「算数②」	(5・6年)宿題対策「読書感想文講座①」 (3・4年)宿題対策「工作何でも相談①」
	30/火	学習(3)(3・4年)宿題対策「読書感想文講座②」 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「国語②」	(5・6年) 宿題対策「読書感想文講座②」 
	31/水	8:30~16:00学リマバス研修(参加費1500円 交通費、入場料、昼食込み) 先行/新規、満年齢、新規美術部 ※貸し切りバスで行きます。詳細は後日。 ※不参加者は学校で別メニュー。	
	1/木	[Bコース対象]「オープニングセレモニー」オリエンテーション 【A・Bコース合同】 学習(3)(3・4年)シヨーン先生と英語で遊ぼう② 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「算数③」 ▼9:00~12:00あつまれ!金光学園へ(卓球部)	 学サマコンサート① 「音楽部コーラスと 一緒に歌おう!」 ※家族・友達参加可
	2/金	学習(3)(3・4年)宿題対策「読書感想文講座(Bコース)」 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「国語③」 ▼9:00~12:00あつまれ!金光学園へ(少林寺拳法部)	(5・6年)宿題対策「読書感想文講座(Bコース)」 学サマ夏祭り2024実行委員会発足(以後随時開催)
	3/土	学習(1)(2)(3)自主学習・自由研究等	「映画鑑賞会」または「金光教少年少女全国大会参加」
	4/日	休み	
	5/月	学習(3)(3・4年)宿題対策「絵画・ポスター教室」 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「算数④」 ▼9:00~12:00あつまれ!金光学園へ(音楽部吹奏楽部)	(5・6年)宿題対策「絵画・ポスター教室」 ※13:30~∞ 未完了者仕上げタイム 
	6/火	学習(3)(3・4年)シヨーン先生と英語で遊ぼう③ 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「国語④」 ▼9:00~12:00あつまれ!金光学園へ(女子バスケットボール部)	学リマコンサート ※家族・友達参加可 ②「美しい争の調へ」(華/山路みゆ氏) 学サマ夏祭り準備
	7/水	学習(3)(3・4年)シヨーン先生と英語で遊ぼう④ 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「算数⑤」 ▼9:00~12:00あつまれ!金光学園へ(野球部)	講座「平和って なんだろう?」(お話/桂幾子氏) ※家族・友達参加可
	8/木	学習(3)(3・4年)シヨーン先生と英語で遊ぼう⑤ 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「国語⑤」	学サマキャンプ2024実行委員会発足(以後随時開催) ダンボールでなにができるかな? 学サマ夏祭り準備 
8月	9/金	学習(3)(3・4年)シヨーン先生と英語で遊ぼう⑥ 学習(3)(5・6年)実力アップ・過去問講座「算数⑥」	学サマ夏祭り準備 
	10/土	11:00~夏祭り準備 ■第1部14:00~16:30「夏だ、祭りだ、みんな集まれ!」ゲーム、ビンゴ大会 他 ※家族・友達参加可 ■第2部17:00~19:00 学サマコンサート②「音楽部吹奏楽団演奏」「ジャズコンサート」※家族・友達参加可	
	11/日~15/水	休み(山の日・振替休日・お盆)	
	16/金	□第1回宿題点検日 学習(1)(2)(3)宿題総仕上げ 11:00~(6年)入試面接体験講座	国際交流「世界の仲間と遊んで世界を知ろう。」 
	17/土	学習(1)(2)(3)宿題総仕上げ	「皆さんにぜひ見てほしいスタッフ厳選映画鑑賞会」 
	18/日	休み	
	19/月	□宿題締切点検日 学習(1)(2)(3)宿題総仕上げ 等 ※宿題完成者は、学習(3)以降は別メニュー	学サマキャンプ基礎講座・集団訓練・準備 ※宿題未完成者は別メニュー
	20/火	学習(1)(2)(3)宿題総仕上げ 等 ※宿題完成者は、学習(3)以降は別メニュー	学リマキャンプ準備(集団訓練含む) ※宿題未完成者は別メニュー
	21/水	学サマキャンプ 日時/21日9:00~22日15:30 場所/福照山勝波キャンプ場	
	22/木	参加費/5000円(バス代、施設料、食費 他) ※ボート・カヌー指導者の下実施。詳細は後日。 ※不参加者は学校で別メニュー。	
	23/金	□サマースクール振り返り 学サマで何を体験し、何を考え、どのように成長したかを振り返ってみよう。	大掃除、片づけ、修了証授与式準備 「エンディングセレモニー」お別れの会、※家族参加可



錯誤を繰り返していました。
 ほつま祭四日前くらいになると監督の
 演技指導にも熱が入り、生徒たちにとっ
 て三年目となるほつま祭に対する熱意
 気込みを感じる日々になりました。特に
 成長を感じた点は、「時間を意識した行動」
 「仲間との協力」「役割・係への責任感」
 でした。「こうやってつくっていいこう」「こ
 うしたほうがよくない?」「今の所どうだっ
 た?」「もう一回お願い!」などという会
 話が活発にされていたという点です。意
 見や会話が飛び交うクラスルームは活気



があり、3年生としてのたくましさも感
 じる良い雰囲気でした。
 一つの目標に向かって、生徒三十人の
 意識が高まり、熱を帯びる時、クラスは
 大きく変化していきました。特に、自ら
 考え今取るべき行動ができる生徒たちに
 成長していった姿は、この3年間を思い
 返すと、より感慨深く嬉しい気持ちにな
 りました。
 終礼時に、各々の担当が進捗状況を報
 告していました。今後の予定を立て、放
 課後や明日の時間の使い方を確認してい
 る様子も見られました。PDCAの考え
 方をこういった場面で自然と使っていた
 ことも一歩大人になった証なのかもしれ
 ません。

掃除時間にも変化がありました。掃除
 時間になった時、各掃除場所にすぐに向
 かい、掃除をしっかりとしている姿が中
 学最高学年として誇らしく、とても立派
 に見えました。

一生懸命に、クラスのみんなと取り組
 んだ時間は、きっと何年後かに自分の心
 を明るく灯す素敵な思い出になること
 でしょう。三十人が主役の1組の演劇はきっ
 と最高の結果になったことでしょう。

生徒会活動

《生徒会》 ほつま祭は、「130」受け継
 ぐ歴史 つなぐ青春」を統一テーマに、
 9月7日(土)～8日(日)に行われた。
 酷暑の中ではあったが、高2以下の各ク
 ラスは、展示・演技のいずれかの部門に
 参加し、夏休み前からの取り組んできた
 ものを発表した。クラスとKOPは「コ
 ンテスト形式」で開催した(後段参照)。
 文化部、同好会が展示部門に、書道部、
 ダンス部、音楽部吹奏楽団、音楽部コー
 ラス、軽音楽部が演技部門に参加し、日
 ごろの活動の成果を発揮した。1日目の
 高3有志の模擬店は、地元のお店から食
 品を仕入れて販売する形でいい、生徒が
 生き生きと活動する姿が見られた。また、
 やつなみ保護者会は、ステンドグラスと
 ハンドクラフトなどの展示や130年記
 念グッズの販売に加えて、キッチンカー
 や麦ばたけ・セブイレブンの出店など、学
 園マルシェを昨年度に引き続き開催し、

大盛況であった。

なお、コンテストの結果は次のとおり
 である。

中学展示の部

第1位 2年3組

「見て聞いて楽しいshow和レトロ」

第2位 1年1組

「ゴリラの果てまでウツホQ!!」

高校展示の部

第1位 1年2組

「NO MORE 映画泥棒」

第2位 1年5組

「ア・ホールニューワールド」我
 らも知らないドーナツの世界」

中学演技の部

第1位 3年4組

「救われる僕と、笑う君と。」

第2位 3年1組

「たくましいお姫様」

第3位 3年2組

「もしもすまほがあったなら」

高校演技の部

第1位 2年5組

「嘘吐き村」

第2位 2年6組

「うちの部の事情」

第3位 2年4組

「白雪姫」

《高校生徒会》 生徒会役員は、会長選挙4
 月13日(土)と再選挙4月26日(金)の
 2度の選挙を経て、生徒会長に2年4組
 藤井清慧くん、副会長に2年2組土屋晴
 輝くんと1年3組仁科英利子さんがそれ
 ぞれ承認された。高2・高3春季球技大
 会は、4月19日(金)に実施し、ソフトボ
 ール、ドッジボール、フットサル、テニ
 スの4種目で熱戦が繰り広げられた。
 第1回生徒会総会は5月24日(金)にほ
 つま体育館で行われ、今年度の基本方針
 や予算などについて審議され、原案通り
 に承認された。

高校体育会は、9月11日(水)に、残
 暑厳しい中、暑さ指数(WGBT)を計
 測しつつ、給水タイムを設けるなど工夫
 をしながら行ったが、健康面を考慮して、
 午後の競技を一部カットして、午前中で
 終了した。紫ブロック(1年1・2・3組)
 が優勝、青ブロック(2年1・2・6組)
 が第2位となった。高1・2秋季球技大
 会は、10月18日(金)に実施し、好天の下、
 爽やかな汗を流すとともに、親睦を深めた。
 1年は1組と4組が同点で総合優勝、2

年は3組が総合優勝、5組が第2位であった。

《中生徒会》 体育会は9月21日の予定だったが暑さが厳しく11月20日に延期となった。前日は寒かったが、当日は天候に恵まれた体育会となった。11月に入って、十日ほどの取り組みの中、3年生を中心に兄弟学級が団結した素晴らしい応援合戦を展開した。中3によるマステーム(集団行動)「やってみよう!」〜思い立った日がスタートだ〜は学年の団結を感じさせた。学年の部第1位は1年3組、2年1組、2年3組、3年4組、兄弟学級の部第1位は3組、応援の部第1位は4組であった。

「リレククリン作戦」も1学期から行っている。「日頃お世話になっている町内やJR金光駅等に対し、お礼(感謝)の気持ちを清掃という形で表す」「登下校のマナーについて考える機会とし、学園の仲間が清掃することによってゴミをしない、迷惑をかけないという意識を各々に育てる」を目的とし、クラス、生徒会事務局がチームを作り、金光駅から学園までの主に通学路を中心に清掃活動をしている。体育会で取り組みが遅れていたが、試験

後からまた開始する予定である。

《中・高新聞部》 新任教職員・教育実習生紹介新聞を作成した。

5月25日(火)に、今年度ほつま新聞掲載予定の取材として、大原美術館を訪問し、学芸員や広報の方から美術館のお仕事を詳しく教えて頂いた。

《天文部》 8月、弥高山での夏合宿には現役10名、OB10名が参加し、ペルセウス座流星群の観測及び、星雲や星団の観測や撮影を行った。OBからは観測の技術指導を受けると共に、大学の授業・研究や就職活動についても教えてもらうことと充実した合宿を行うことができた。

また、MASCくらしき空飛ぶクルマ展示場にて、JAXA名誉教授の稲谷芳文先生から「月に社会を作る〜人類の宇宙進出について考える〜」というテーマで特別授業を受けた。

9月、ほつま祭では、例年のように、展示・プラネタリウム・天文台公開を実施した。また、それぞれの興味のあることをテーマにして、壁新聞を作成して展示を行った。

11月、8月の稲谷先生の特別授業の続きとして、「はやぶさ」と日本の宇宙科学

というテーマで特別授業を受けた。

その他にも毎月校内夜間観測を行い、月や惑星、星雲の撮影を行っている。

《生物部》 中学生22名、高校生9名、計31名で活動している。普段は遙照山や里見川・新川の生物調査、生物飼育での生態観察など、それぞれの興味のある分野に分かれて探究活動を行っている。8月5、6日に津黒高原にて令和6年度生物部夏合宿を行った。津黒いきものふれあいの里の職員の方が講師となって、山に川に、県南とは異なる生物相の観察・比較を行った。ほつま祭では日々の研究と合宿にて学んだことを存分に盛り込んだ展示発表を行い、多くの来場者を迎えることができた。

《高美術部》 1年生1名、3年生5名で活動している。6月1日に開催された「令和6年度高校生美術コンクール」に2名が参加し、高3吉田莉情が銀賞を受賞した。7月21日に開催された「高校生芸術フェスティバル」では高3吉田莉情の油彩画が展示された。ほつま祭ポスター原画に高3吉田莉情の作品が選出された。部展示では「What we made, what we impressed.」と題し、部員たちがこれま

でに制作した数々の作品を展示した。

《書道部》 新入部員4名を迎えて、中高合わせて21名で活動している。ほつま祭では、作品展示をするともに、舞台上でパフォーマンスを披露した。「第40回成田山全国競書大会」では、中2石井結菜、高1石井遙菜、小寺功祐、山田桃実、高3大塚萌衣、小寺穂果、矢野心優が佳作を受賞した。「第53回全国高校書道展」では、高1小寺希果が準特選を、高1中村菜々、寺川理斗、小寺功祐が入選を受賞した。「高野山競書大会」では、高1小寺希果が推薦に、高1山田桃実が特選に、高1小寺功祐、高3矢野心優が特選に、高1小寺希果、石井遙菜、中村菜々が金賞に、中3木之瀬由奈、高1寺川理斗、高3大塚萌衣が銀賞に、中2石井結菜、中3下梶碧子が銅賞に、中3長谷川向夏花、赤澤那奈が褒賞を受賞した。「第91回書画展」では、中2長谷川向夏花、中3寺川理斗が特選を受賞した。「第49回ふれあい書道展」では、中2石井結菜、中3長谷川向夏花が特選に、中1三宅心夏、三河咲弥、中3赤澤那奈、木之瀬由奈、高1山田桃実が奨励賞に、中3下梶碧子が敢闘賞を受賞した。

《茶道部》 部員数は中高あわせて18人となり、みんなで教え合いながら、熱心に取り組んでいる。ほつま祭では限定20席でお茶席を設けた。生徒は、お点前、亭主お運びとそれぞれが日ごろの練習の成果を発揮した。5月26日に土佐家旅館で行われた「なんでも市場」では、抹茶ラテ作りを行った。10月27日に土佐家旅館で行われた「IT'S REBORN MARKET」ではハロウィンをテーマにお茶会を行った。

《音楽部吹奏楽団》 4月1日(月)はいるかの家にて訪問演奏を行い、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「北国の春」「新童謡」「上を向いて歩こう」「マツケンサンバII」「ふるさと」を演奏した。4月2日(火)はグランドガーデンにて訪問演奏を行い、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「北国の春」「新童謡」「上を向いて歩こう」「マツケンサンバII」「ふるさと」を演奏した。4月27日(土)やつなみ保護者会総会にて「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「ミラクルシヨット」「ユーミンコレクション」を演奏した。5月3日(金)は里庄総合文化ホール「フロイデ」にて第52回定期演奏会を行い、

「HAPPY」「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「ヨークシャーバラード」「アトラス」「ミラクルシヨット」「ユーミンコレクション」「地球儀」「アイドル」「YMC A」「美女と野獣」「世界に1つだけの花」「贈る言葉」「かっぽれ」「FUNK」「ジャンポリミッキー」「勝利への讃歌」を演奏した。6月2日(日)は金光学園グラウンドにて輪島高校招待試合の応援演奏を行った。6月16日(日)は岡山シンフォニーホールにて、第68回吹奏楽祭が行われ、「20世紀FOXファンファーレ」「地球儀」「明日はきつとい日になる」を演奏した。7月6日(土)は120大講義室にて、絆の会総会が行われ、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「明日はきつとい日になる」「BEGINNERS DEBUT」を演奏した。7月16日(火)はエイコンスタジアムにて第106回全国高等学校野球選手権大会岡山大会、岡山県立岡山南高等学校との試合の応援演奏を行った。7月18日(木)はマスカットスタジアムにて第106回全国高等学校野球選手権大会岡山大会、岡山県立総社南高等学校との試合の応援演奏を行った。7月21日(日)は倉

敷市営球場にて第106回全国高等学校野球選手権大会岡山大会、岡山県立勝山高等学校との試合の応援演奏を行った。7月24日(水)はマスカットスタジアムにて第106回全国高等学校野球選手権大会岡山大会、岡山県立倉敷商業高等学校との試合の応援演奏を行った。7月27日(土)はほつま体育館にてオープンスクールのオーブニングセレモニーで演奏を行い、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「アイドル」「明日はきつ」といい日になる」を演奏した。また、マスカットスタジアムにて第106回全国高等学校野球選手権大会岡山大会、関西高等学校との試合の応援演奏を行った。8月10日(土)はほつま体育館下にて学童サマースクールの学サマコンサートを行い、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「ワタリドリ」「アイドル」「シユガーソングとビターステップ」「明日はきつ」といい日になる」を演奏した。8月24日(土)はあさくち花火大会ステージイベントにて演奏を行い、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「上を向いて歩こう」「ワタリドリ」「アイドル」「シユガーソングとビタース

テップ」「風になりたい」を演奏した。9月8日(日)はほつま体育館にてほつま祭が行われ「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「シロクマ」「ワタリドリ」「シユガーソングとビターステップ」「風になりたい」「YOUNG MAN・YMCA」を演奏した。9月27日(金)は120大講義室にて京都アメリカ大学コンソーシアムのウエルカム演奏を行い、「20世紀FOXファンファーレ」「オーメンズ・オブ・ラヴ」「アイドル」「YOUNG MAN・YMCA」を演奏した。《音楽部コーラス》3月24日(日)に里庄総合文化ホールフロイデにおいてスプリングコンサート2024を開催した。第1ステージは「青と夏」「大都会」「タッチ」「sathie」を混声、男声、女声など様々な形態で歌った。第2ステージはOBOG、現役との合同ステージで「祈り」をテーマに信長貴富氏の作品ばかり「高唄」「群青」「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」を歌った。第3ステージは企画ステージで歌やダンスを劇仕立てで発表し、カラーガードやチャリィディングなども加え、見て聞いて楽しいステージとすることができた。

3月27日(水)に早鳥総合文化会館ゆりの舎で合唱講習会が行われた。5月に行われる全国植樹祭に向けて、大地讃頌などを他校の生徒と交流しつつ練習をした。4月5日(金)に校内で卒部式を行い、引退した高3とゲームをしたり、歌ったりして楽しいひと時を過ごすことができた。4月8日(月)に金光学園中学校の入学式で校歌を披露した。5月26日(日)にジップアアリーナ岡山で全国植樹祭が行われ、岡山県内の合唱部と合同合唱団を結成し、「土の歌」から3曲を歌った。7月20日(土)に保護者会を行い、合わせて保護者向けの発表会を行った。全国総文祭で歌う曲を中心に10曲ほど歌った。7月21日(日)に高梁総合文化会館で岡山県総合文化祭に参加した。全国総文祭で歌う「Apple Tree」「鉄腕アトム」の2曲を歌った。8月1日(木)に金光学園サマースクールに参加している児童を対象にミニコンサートを開催した。歌だけでなく、一緒にゲームなどもして楽しく過ごすことが

できた。

8月4日(日)～5日(月)にかけて岐阜県可児市で開催された全国高等学校総合文化祭に出演した。4日は交流会で全国の合唱仲間とクイズやゲームで交流することができた。5日はステージ発表で「Apple Tree」「鉄腕アトム」の2曲を発表。他校の演奏を聴きたくさんの刺激を受けることができた。

9月8日(日)ほつま祭2日目にはほつま体育館で部の発表をした。

10月17日(木)に金光小学校5年生の学年行事によんでいただき、生徒保護者約100名の前で訪問演奏をした。児童のよく知っている曲を中心に歌い、途中一緒に歌うコーナーでは楽しく歌うことができた。

11月8日(金)創立130年記念式で「神人の栄光」を歌った。

11月10日(日)にマービーふれあいセンターで交流コンサート「信長まつり」に参加した。前日は作曲家の信長貴富氏の指導で合同合唱の練習があり、当日は単独ステージで「鉄腕アトム」を歌った。また合同曲では「夕焼け」「群青」の2曲を歌った。

《英語部》部員数は高校1年生が2名、

高校2年生が4名の計6名。週1回、活動している。英語らしい発音ができるようにはまず母音や子音を矯正し、ストレス、リズム、イントネーションなどの基本的なルールを学び、自然な英語を話すことを目的にトレーニングしている。2年の男子生徒3名は、公益財団法人イオンワンプーセントクラブが開催する、2024年度アジアユースリーグズの日本代表に選出され、8月20日(火)から23日(金)の4日間、アジア8カ国(インドネシア・カンボジア・タイ・中国・日本・ベトナム・マレーシア・ラオス)80名の高校生が東京に集合して行われた「将来のリーダーに必要な資質」をテーマにした英語によるデイスカッションに参加し、白熱した議論を重ねた。

《写真部》ほつま祭では、日常の何気ない風景の中の煌く一瞬を撮影した写真を展示した。また高校体育会では大変暑い中、各種競技で活躍する選手達を撮影した。《中・高放送部》新入部員として中1が2名、高1が3名入部した。

6月9日に行われた第71回NKK杯全国高校放送コンテスト岡山県予選朗読部

門に、高1小平悠羽里が出演した。

6月16日に行われた第41回NKK杯全国中学放送コンテスト岡山県予選アナウンス部門に中3木之瀬由奈、松田琴音が、朗読部門に中2岡本光里、中3松永奈々が出演した。

11月17日に行われた第48回総文祭兼秋季放送コンテスト朗読部門に高1小平悠羽里が出演し、中国大会出場を決めた。

以上のような大会出場その他、式典、球技大会、ほつま祭、体育会での司会進行や、放送機材の設置・運用など学園行事を支える活動を行っている。

《囲碁将棋部》10月5日に実施された第44回岡山県高等学校秋季将棋大会A級戦、11月16日に実施された第44回岡山県高等学校将棋新人大会A級戦に2名が参加した。両大会はスイス式トーナメントで実施され、最高戦績は3勝2敗で上位大会の出場権は得られなかった。

《科学部》毎週月曜日と金曜日に、興味を持った内容について調べ、試行錯誤しながら楽しく実験を行った。ほつま祭では、夏休みの自由研究を模造紙にまとめ展示したり、サイエンスショーの披露や、お客様に実験を体験してもらったりする

ことで、日頃の活動の成果を発揮することができた。11月4日に行われた第22回ワクワク ドキドキ 科学であそぼう2024ではプラバンのブースを企画・担当し、多くの来場者に楽しんでもらった。《軽音楽部》ほつま祭では、緊張しながらも、日頃の練習の成果を発揮してステージ発表をやり遂げた。お客さんとの一体感を創り出すように工夫し、気持ちのこもった歌唱、演奏を披露し、部員たちも存分に楽しむことができた。

《文芸部》高2が1名、高1が1名の部員2名に中学生の部友1名を加えた3名で活動している。およそ月に一度のペースでテーマを設定し、小説を執筆した。作品は月例集にまとめ、批評会を行うことで研鑽に励んだ。高文連文芸部会が主催する「高校生文芸道場おかもま二〇二四」散文部門に2名が作品を出品した。ほつま祭では文芸誌『榴槤火』の販売を行った。9月28日に就実大学で行われた「高校生文芸道場おかもま二〇二四」に生徒二人が参加し、司会や分科会報告などの役割を担いつつ、散文分科会でワークショップを行い、作家から創作の要諦を学んだ。

《ダンス部》新入部員5名を迎えることができた。7月は有志で高校野球部の応援に駆け付けた。8月3日には、毎年参加している玉島ハーバーダンスに参加した。今回ははやり時期から「自然」をテーマに振り付けを考え、色々な生徒が出したアイデアを合わせて完成させ、お祭りにふさわしい、勢いのあるダンスを披露することができた。また、ほつま祭では、中1も学年独自のダンスを披露し、今回は選抜メンバーによるダンスにも挑戦し、日ごろの練習の成果を発揮することができた。11月10日には玉島物産展に向けて、新しい曲にも挑戦し、元気いっぱい発表することができた。

《高陸上競技部》
【全国大会】
○インターハイが福岡県で開催され、4×100mリレーに爲房百恵、板倉葵海、前田来奈、伊藤瑞、水流和々花、瀧本椰々子が参加した。また、総合開会式では岡山県選手団を代表して金光学園の選手が参加し、爲房百恵が旗手を務めた。
○国民スポーツ大会が佐賀県で開催され、瀧本椰々子が少年女子B100mで3位に入賞。4×100mリレーと4×400mリレー

(ミックスマイルリレー)に岡山県代表選手として参加した。
○U18陸上競技大会が三重県で開催され、瀧本椰々子が100mB決勝で1位になった。

【中国大会】
○中国高校陸上が鳥取県で開催され、4×100mリレーで5位に入賞した。
○中国高等学校新人陸上大会が岡山県で開催され、瀧本椰々子が100mで2位、200mで3位。水流和々花が400mで6位。4×400mリレーで水流和々花、前田来奈、伊藤瑞、瀧本椰々子が3位。4×400mリレーで爲房百恵、瀧本椰々子、伊藤瑞、水流和々花が4位に入賞した。

【県大会】
○岡山県高等学校陸上競技選手権大会が開催され、伊藤瑞が100mハードルと400mハードルで3位。水流和々花が400mハードルで2位、400mで4位。板倉葵海が200mB決勝で7位。田中結菜が走高跳で6位。前田来奈が100mで6位、200mでB決勝2位。瀧本椰々子が100mで3位、200mで3位。山田桃実が100mハードルで8位。4×100mリレーで山田桃実、水流和々花、爲房百恵、前田来奈が4位。森永夏美、

板倉葵海、伊藤瑞、瀧本椰々子が5位。4×400mリレーで伊藤瑞、水流和々花、爲房百恵、森永夏美が4位に入賞した。

○岡山県高等学校新人陸上大会が開催され、爲房百恵が走高跳で8位。田中結菜が走高跳で7位。瀧本椰々子が100mで2位、200mで優勝。伊藤瑞が100mハードルで2位、400mハードルで6位。前田来奈が100mで4位、200mB決勝で1位。板倉葵海が砲丸投で8位。水流和々花が400mで4位、400mハードルで5位。4×100mリレーで板倉葵海、前田来奈、水流和々花、瀧本椰々子が優勝。4×400mリレーで伊藤瑞、瀧本椰々子、爲房百恵、水流和々花が3位に入賞した。

○岡山陸上競技カーニバルが開催され、瀧本椰々子が100mで2位、200mにおいて大会新記録で優勝した。伊藤瑞は100mハードルで6位、400mハードルで4位。水流和々花が200mB決勝で4位。4×400mリレーで森永夏美、爲房百恵、瀧本椰々子、前田来奈が3位。水流和々花、伊藤瑞、川手咲子、田中結菜が5位に入賞した。

《中陸上競技部》

【全国大会】

○全中陸上が福井県で開催され、小野礼

翔が200mで4位に入賞した。(岡山県中
学新記録)

○U16陸上競技大会が三重県で開催され、小野礼翔が150mB決勝で4位だった。
○U16都道府県選抜リレーが国立競技場で開催され、岡山県代表選手として小野礼翔が参加し岡山県選抜記録の樹立に貢献した。

【中国大会】

○中国中学陸上が岡山県で開催され、小野礼翔が3年100m・共通200mで優勝。矢部佑晟が1年100mで3位に入賞した。

【県大会】

○岡山県中学校総体が開催され、小野礼翔が3年100m・共通200mで優勝。矢部佑晟が1年100mで3位に入賞した。
○岡山県ジュニア陸上競技大会が開催され、小野礼翔が150mで岡山県中学校新記録で優勝した。

《中男子ソフトテニス部》

5月には9名の新入部員を迎え、18名で今年度の活動をスタートした。5月3日に福山テニスセンターで行われた第18回びんごふくやま中学生ソフトテニス交歓大会に2チームが出場し、決勝トーナメント1回戦で敗退した。6月15・16日に笠岡総合公園

テニスコートで行われた備南西地区総体では、個人戦に6ペアが出場し、岡森・金藤ペア、川合・上松ペアが初戦敗退、奥野・鳴本ペア、田村・仁科ペア、黒川・石岡ペアが2回戦敗退、青木・圓福寺ペアがベスト16で敗退した。団体戦では予選リーグで新吉中学校に3-0、里庄中学校に3-0で勝利し、予選を突破。準決勝では井原中学校に0-2、3位決定戦では鴨方中学校に0-2で敗退し、県大会出場は果たせなかったが4位に入賞した。7月6日に笠岡総合スポーツ公園で行われたチャレンジカップでは、I部に4ペアが出場し、青木・圓福寺ペア、奥野・鳴本ペアが初戦敗退、田村・仁科、黒川・石岡ペアは2回戦敗退であった。II部は2ペアが出場し、片岡・OP、仁科・木曾、中野・田中、川野・小山、岡森・金藤ペアが予選敗退、川合・上松ペアが決勝トーナメントに進出、ベスト8に入った。

新チームになって9月16日に中国・四国中学校選抜ソフトテニス大会に出場、Bチームは決勝トーナメント初戦、Aチームは決勝トーナメント2回戦で敗退した。10月5日・6日に笠岡総合スポーツ公園で行われた備南西地区秋季総体では、個

人戦に6ペアが出場し、川野・木曾、中野・小山、金藤・田中ペアが初戦敗退、岡森・上松ペアが2回戦敗退、奥野・鳴本ペアが3回戦敗退、田村・仁科ペアがベスト8で県大会への出場権を獲得した。団体戦では予選リーグで笠岡東中学校に1-2で敗退、金浦中学校には2-1で勝利したが得失ゲーム数で決勝トーナメント進出を逃した。11月2日に備前テニスセンターで行われた秋季県総体では、田村・仁科ペアが吉備中に初戦敗退であった。

コートで行われた、備南西地区中学生秋季ソフトテニス大会では、個人戦に3ペアが出場し、金光・仁科ペアが3回戦敗退、小幡・高木ペアは2回戦敗退。団体戦では諸事情によりオープン参加となり、予選トーナメントで敗退し県大会出場はならなかった。11月16日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた、秋季チャレンジカップ備南西地区中学生ソフトテニス大会(Ⅰ部)に2ペアが出場し、予選リーグは突破したが決勝トーナメントの初戦で敗退した。

6月15日・16日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた、備南西地区大会の個人戦に3ペアが出場したが、2回戦までに敗退、団体戦では予選リーグ敗退であった。

4月16日に水島緑地福田公園テニスコートで行われた岡山県春季高等学校ソフトテニス選手権大会では、早野・桑田、生藤・高野ペアが初戦を勝ち上がり2回戦で敗退した。4月27日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(ダブルス)の備西地区予選会に2ペアが出場し、早野・桑田ペアが初戦敗退、生藤・板野ペアが2回戦で敗退し、県大会への出場権の獲得はならなかった。6月8日に浦安総合公園テニスコートで行われた全日本・中国高等学校ソフトテニス選手権大会(団

7月6日に井原運動公園テニスコートで行われた、夏季チャレンジカップ備南西地区中学生ソフトテニス大会に3ペア(Ⅰ部に2ペア、Ⅱ部に1ペア)が出場し、Ⅰ部は2ペアとも2回戦敗退、Ⅱ部の1ペアは予選リーグ敗退であった。10月5日・6日に笠岡総合スポーツ公園テニス

コートで行われた、備南西地区中学生秋季ソフトテニス大会では、個人戦に3ペアが出場し、金光・仁科ペアが3回戦敗退、小幡・高木ペアは2回戦敗退。団体戦では諸事情によりオープン参加となり、予選トーナメントで敗退し県大会出場はならなかった。11月16日に笠岡総合スポーツ公園テニスコートで行われた、秋季チャレンジカップ備南西地区中学生ソフトテニス大会(Ⅰ部)に2ペアが出場し、予選リーグは突破したが決勝トーナメントの初戦で敗退した。

体)の岡山県予選会では津山高高校に0対3で初戦敗退であった。6月22日に浦安総合公園テニスコートで行われた国民体育大会岡山県選手少年(男女)1次選考会では、生藤・板野、早野・桑田ペアが出場したが、どちらも初戦敗退であった。8月3日に水島緑地福田公園で行われた交流大会では、早野・桑田、高野・板野ペアともに予選リーグ敗退であった。9月14日に玉島の森テニスコートで行われた新人戦(ダブルス)地区予選会では、早野・桑田、高野・板野、生藤・香河ペアが出場し、初戦で敗退した。11月9日に浦安総合公園テニスコートで行われた岡山県高校新人ソフトテニス大会(団体)では、初戦で玉島高校に0-3で敗れた。

はならなかった。

した。男子団体では予選リーグで竜操中に3-1、福浜中に3-0で勝ち、高森卓球に1-3で敗れ、2位トーナメントで高梁中に3-2、京山中に3-2で勝ち、TFとみやまに1-3で敗れた。男子個人では福上(L3)が3回戦に進出した。

3年生が引退して新チームとなり、9月14日(土)に岡山県新人ソフトテニス選手権大会(ダブルス)の備西地区予選会が玉島の森テニスコートでおこなわれた。萩原・猪股組が出場し1回戦で敗れたが、エントリー数が少なかったこともあり、岡山県大会(ダブルス)へ出場することが決まった。そして11月9日(土)に水島緑地福田公園で岡山県新人ソフトテニス選手権大会(ダブルス)がおこなわれ、出場した萩原・猪股組は初戦を突破したものの、2回戦で敗退した。

5月25、26日に第2回中学卓球チャレンジカップに参加した。男子団体で予選リーグ4位で決勝リーグに進みベスト8に入った。

《卓球部》

4月7日にチェリィカップ・

6月9日に井原卓球協会前期個人戦に参加した。男子個人で福上が7位、下久保(L3)が8位に入った。

テーブルテニスオープンに参加した。男子団体で金光学園Aが予選リーグで木之子中Dに3-0、TS CBに3-0で勝ち、準決勝リーグでなくスポ少Bに2-1、TS平松に3-0で勝ち、準決勝で笠岡スポ少に0-3で敗れ、3位決定戦で新芳クラブAに2-1で勝ち、3位に入賞した。金光学園Bは準決勝リーグ2位で敗退、金光学園Cは3位トーナメント1位に、金光学園Dは3位トーナメント1回戦で敗退した。

6月15、16日に備南西地区総体に出場した。男子団体では7戦全勝で優勝し、県大会への出場権を得た。女子団体では8位であった。男子個人ではベスト8に福上、12位に黒川(L3)が入り、県大会の出場権を得た。ベスト32に金子(L3)、下久保、東(L3)、松岡(L3)が入った。

5月3、4日に岡山近府県大会に参加

7月24、25日に岡山県総体に出場した。男子団体では1回戦で久米に4-1で勝ったが、2回戦で新田に2-3で敗れ、ベスト16であった。男子個人では福上が

2回戦で敗退、黒川が1回戦敗退であった。7月31日に岡山県カデットシングルス大会に参加した。男子シングルスで大橋(L2)、藤井(L2)、宮田(L2)、山下(L1)が3回戦に進出した。

8月1日に岡山県カデットダブルス大会に参加した。男子ダブルス2部で大橋・宮田組と秋田(L2)・藤井組が予選リーグで2位であった。

9月15日に福山市会長杯に参加した。男子CクラスのAブロック予選リーグで金光学園Aが4位、金光学園Bが3位で敗退した。Bブロック予選リーグで金光学園Cが3位で敗退した。女子Cクラスの子選リーグで金光学園Aが3位、金光学園Bが3位で敗退した。

10月5、6日で備南西地区秋季大会に出場した。男子団体では2勝4敗で8位であった。女子団体では1勝5敗で5位であった。男子個人ではベスト16に秋田が、ベスト32に大橋、佐々木(L2)、藤井、宮田が入った。女子個人ではベスト16に板野(L2)と鈴木(L2)が、ベスト32に渡邊(L2)と山田(L1)が入った。10月20日に井原会長杯に参加した。男子団体では金光学園Aが予選リーグ1位

で、続く準決勝リーグで1位、決勝リーグで4位であった。金光学園Bは予選リーグ1位で、続く準決勝リーグで3位であった。金光学園Cは予選リーグ3位で、続く3位リーグで3位であった。

《高卓球部》 4月7日チェリリーカップにて男子Aチーム（U3白神・斎藤、U1岸）が高校男子の部で優勝した。

5月6～7日第63回岡山県高等学校総合体育大会卓球競技において、男子シングルの部で白神が第5位、斎藤が第23位、女子シングルスでU3川上が第22位、男子ダブルスの部で斎藤・白神組が第9位、U3岸本・藤井豊組が第12位となり、中国高等学校卓球選手権への出場権を獲得した。

5月18日第76回中国卓球選手権大会岡山県予選会において、白神が男子シングルの部で本戦への出場権を獲得した。

6月1～2日第63回岡山県高等学校総合体育大会卓球競技（学校対抗）において、男子は第3位で中国高等学校卓球選手権への出場権を獲得した。

6月9日令和6年度尾道市オープン卓球大会において、斎藤が男子シングルスで準優勝であった。

6月15～17日中国高等学校卓球選手権において、男子団体（白神・斎藤・藤井豊・U1安藤・飯塚・岸・小谷・藤井周作）はベスト16、男子シングルスに白神・斎藤、男子ダブルスに斎藤・白神組、岸本・藤井組、女子シングルスに川上がそれぞれ出場した。

6月23日第76回中国卓球選手権大会において、白神が男子シングルスに出場した。7月13～14日国スポ予選（少年の部）において、男子の部で白神が第8位入賞、女子の部でU1藤原がベスト16に進出した。

7月29日倉敷市長杯争奪高等学校卓球大会において、男子チーム（飯塚・岸・藤井周作）が第5位であった。

7月30日倉敷ジュニア選手権個人戦に男女、8月4日徳島商業高校との練習試合・8月14～16日香川県坂出市で行われた西日本オープンに男子が出場した。

8月26～27日岡山県高等学校秋季卓球選手権（学校対抗）にて、男子が第5位に入賞した。

9月15日福山市卓球協会長杯・9月16日全日本ジュニア予選に男女、9月21日津山オープンに男子が出場した。

9月22日東京オープン岡山県予選会にて、白神が県で4枠の代表権を獲得し、令和7年3月に行われる本大会出場を決めた。

10月12・14日全日本予選に白神が出場した。
10月20日井原市卓球協会長杯に男女で出場した。

10月27～28日県高等学校新人卓球大会（学校対抗）にて、男子が11～12位、女子（U2高木・木村、U1石倉・仁科・藤原）は1回戦敗退であった。

《中野球部》 4月29日、5月3日に笠岡市営球場などで行われた第19回笠岡東ライオンズクラブ杯では、1回戦で井原中学校に0―1で敗れた。

6月15・16日にどんぐり球場などで行われた令和6年度中体連備南西地区総体では、1回戦で小北・新吉中学校に3―2で勝利したが、翌日の代表決定戦で、井原中学校に0―3で敗れ県大会出場を逃した。

8月2日、3日に行われた総社市長杯では、1回戦10―3で総社中学校に勝利したが、準決勝2―6で磐梨・備前・和気中学校に敗れ、3位に終わった。

新チームとなり、8月18日に笠岡市営球場で行われた第17回全日本春季軟式野球大会岡山県予選会出場をかけた試合では、スピリッツ岡山に1―3で敗れた。

10月5日、6日に笠岡市営球場で行われた備南西地区秋季大会では、代表決定戦木之子中学校に6―7で敗れた。11月16、17日に玉島の森野球場で行われた第25回玉浅良寛杯中学校野球大会では、準決勝で玉島北中学校に7―0（6回コールド）で勝利し、決勝戦は玉島西中学校に3―2で勝利し、2年ぶり13回目の優勝を果たしました。また、個人賞として最優秀選手賞を田中幸太朗くんが、打撃賞を佃和真くんが受賞した。

《高野球部》 4月6日に開幕した春季岡山県高等学校野球大会西部地区予選は水島工業高校に7対0で勝利し、県大会出場権を獲得しました。

4月20日から令和6年度春季岡山県高等学校野球大会が行われ、1回戦で西大寺高校に3対2（延長10回）で敗れました。

7月13日より開幕した第106回全国高等学校野球選手権岡山大会は、1回戦で岡山南高校に5対0で勝利し、2回戦でBシード校の総社南高校に4対3で勝利し、

3回戦で勝山高高校に5対4で勝利し、準々決勝でAシード校の倉敷商業に勝利し、5年ぶり6回目のベスト4となりました。13年ぶり2度目の決勝進出を目指した準決勝戦、対関西高校戦でしたが、3対8で敗れ、第三位となりました。

新チームになり、9月1日から秋季岡山県高等学校野球大会西部地区予選が行われました。初戦の興譲館高校に6対3で勝利し、次戦の倉敷青陵高校戦も8対6で勝利し、ブロック1位となり県大会出場権を獲得した。県大会出場校の順位決定戦は翠松高校に12対11（延長10回）で勝利し、県大会は1位校としての出場を得た。県大会は2回戦で倉敷商業高校に0対10（5回コールド）で敗れ、ベスト16での敗退となった。

《中サッカー部》 3月20日に矢掛総合運動公園で練習試合が行われた。対矢掛中学校（0―2）、対鴨方中学校（0―2）、対鴨方中学校（0―1）。5月3日・4日に令和6年度倉敷西日本中学校招待サッカー大会が行われた。対真備中学校（1―2）、対玉島北中学校（7―0）、対倉敷北中学校（5―1）、対真備中学校（1―0）、対玉島北中学校（0―0）、

対船穂中学校（5―0）、対連島南中学校（3―0）、対早島中学校（2―0）。

5月19日に玉島北中学校で練習試合が行われた。対玉島北中学校（0―0）、対玉島北中学校（1―0）、対玉島北中学校（0―0）、対玉島北中学校（1―0）。6月2日に玉島東中学校で練習試合が行われた。対玉島東中学校（6―0）、対玉島東中学校（0―1）、対玉島東中学校（4―1）、対玉島東中学校（0―0）。6月15日に矢掛総合運動公園で備南西地区中学校総合体育大会が行われた。対高屋中学校（7―0）、対矢掛中学校（2―2）延長（0―1）、対鴨方中学校（3―2）となり、県大会に出場となった。7月20日に美作サッカー場で第62回岡山県総合体育大会県大会が行われた。対大安寺中学校（2―3）となり、1回戦敗退となった。7月27日・28日に第8回AKANO CUPが行われた。対玉島西中学校（0―3）、対船穂中学校（0―2）となり、中学校3年生は3年間のサッカー部としての活動を引退することになった。

10月5日に矢掛総合運動公園で備南西地区中学校新人大会が行われた。対鴨方中学校（0―2）であったが、県大会に出

場となった。11月9日に福田公園サッカー場で県大会が行われた。対総社西中学校(0-3)で一回戦敗退となった。

《高サッカー部》 3月10日、17日、24日、30日、31日(高梁合宿)、4月3日、7日に練習試合を行った。対倉敷南(30分×3)(3-0)、(0-1)、(2-2)。対社会人チーム(20分×7)(6-5)。対大門×3本(3-3)、対新見×3本(3-1)、対高梁×5本(2-4)、対総社×3本(3-5)、対籠谷×4本(2-5)。対玉島×4本(2-6)。4月27日に行われた備中支部総体備西大会では、対作陽学園(1-3)、交流戦では、対笠岡(0-5)、対玉島(7-0)。高円宮杯U-18サッカーリーグ2024 OKAYAMA チャレンジリーグ(前期)の結果は次の通りである。4月29日、対瀬戸(8-1)、B戦(1-0)、対朝日塾B戦(1-0)。5月4日、対東岡山工業B(0-1)、B戦(0-1)。6月16日、対大安寺(2-1)、対アクト(B戦)(0-1)。6月22日、対林野(3-2)。7月14日、対アクト(3-4)。7月21日、対朝日塾B(3-4)。5月3日の寄島フェスティバルでは、対朝日塾(0-

1)、対おかやま山陽(1-4)、対福智(3-4)。5月11日の県総体一回戦は、対興陽(8-0)、2回戦は対倉敷南(0-6)。8月2日に練習試合を行い、対総社(7-2)。8月4日・6日に、西日本サッカーサマーフェスティバルに参加し、対境(1-4)、対岐阜第一(0-8)、対兵庫県立大附属(4-1)、対明石西(1-3)。9月14日・15日、岡山県高校サッカー選手権大会一次トーナメントに出場し、対勝間田・真庭(4-1)、対一宮(0-2)。9月28日、玉島高校と練習試合(30分×4)を行い、結果は(2-1)、(1-3)、(1-0)、(0-0)。高円宮杯U-18サッカーリーグ2024 OKAYAMA チャレンジリーグ(後期)の途中結果は、10月6日、対興陽(9-0)。対白陵B戦(2-0)。

《柔道部》 今年度柔道部では新たに中1が5名入部し、計15名で活動をしている。4月20、21日に岡山武道館で、第71回中国高等学校柔道大会岡山県予選会が行われた。男子団体戦では岡山県美作高校に勝ち、2回戦で作陽学園高校に敗れた。男子個人戦では計6名が出場し、それぞれが善戦した。

6月1、2日に岡山武道館で、第63回岡山県高等学校総合体育大会柔道競技が行われた。男子団体戦では県立岡山工業高校に敗れた。男子個人戦では計7名が出場し、それぞれが善戦した。

6月15日に里庄武道館で、令和6年度岡山県中学校体育連盟備南西地区総合体育大会柔道競技が行われた。男子個人戦では計2名が出場し、1名ともが県総体への出場権を得た。

7月21日に岡山武道館で、令和6年度岡山県中学校総合体育大会柔道競技が行われた。男子個人戦では1名が出場し、善戦した。

10月5日に里庄武道館で、令和6年度岡山県中学校体育連盟備南西地区秋季柔道大会が行われた。男子団体戦は笠岡彰善館及び里庄中学に敗れた。個人戦では男子6名女子1名の計7名が出場し、階級別で中2兒玉大和、中1西原琉紀有、中1兒玉陽が1位になった他、7名全員が県大会の出場権を得た。

10月26、27日に岡山武道館で第74回岡山県高等学校柔道優勝大会が行われた。男子団体戦では1回戦に県立玉野光南高校に敗れた。男子個人戦では4名が出場

し、それぞれが善戦した。

11月3日に岡山武道館で、令和6年度岡山県中学校秋季柔道大会が行われた。個人戦では男子6名、女子1名の計7名が出場し、それぞれが善戦した。

11月10日に里庄武道館で、第45回里庄武道館柔道大会が行われた。中学生の個人戦で合計8名が出場し、中2豊田倅太郎が第3位となった。

《中剣道部》(備南西地区大会) 6月15日(土)笠岡総合体育館サブアリーナで開催され、男子個人試合で1回戦敗戦。男子個人試合で雀部燦(3年)、藤田耀広(1年)、高島蒼希(1年)、中桐大地(1年)が1回戦敗退であった。

《備南西地区大会》 10月5日(土)笠岡総合体育館サブアリーナで開催され、男子団体試合で第3位。男子個人試合で藤田がベスト8になり県大会出場権を得た。高島、中桐が2回戦敗退であった。女子個人試合で伊藤果穂(1年)が第5位となり県大会出場権を得た。

《段級審査会》 10月27日(日)雀部が二段合格。

《県大会》 11月2日(土) 3日(日)和気町体育館にて開催予定で、男子個人試

合に藤田、女子個人試合に伊藤が出場を予定していたが大雨のため中止となった。

《高剣道部》(中国大会予選会) 4月20日(土)21日(日)岡山市総合文化体育館で開催され、男子個人試合で藤井大輔(2年)がベスト32になり中国大会出場権を得た。才野恵翔(3年)と山下劉(3年)1回戦敗退であった。

《県総体》 6月1日(土)2日(日)笠岡総合体育館で開催され、男子団体戦で2回戦敗退。男子個人戦で藤井が2回戦敗退、山下が1回戦敗退であった。

《中国大会》 6月14日(金)16日(日)鳥取県立武道場で開催され、男子個人試合で藤井が3回戦敗退であった。

《段級審査会》 10月27日(日)藤井が三段合格。

《新人戦》 11月3日(日)津山総合体育館で開催され、男子個人試合で藤井と根津翔真(2年)が2回戦敗退であった。

《中高剣道部》 奉祝「金光学園創立百三十年」「剣道部創部百二十年」を心よりお祝いし、11月8日(金)に「記念稽古会」を行い、快い汗を流しました。また、記念品として面手ぬぐいを配布しました。お世話になりました多くの方々から心から

お礼を申し上げるとともに、ご報告いたします。

《中男子バスケットボール》 6月15日、16日に備南西地区総合体育大会が矢掛中学校で行われた。1回戦は笠岡東中学校と対戦し、78-30で勝利、つづく決勝戦は鴨方中学校と対戦し54-60で敗退し、惜しくも県大会出場はできなかった。この大会で3年生は引退となったが、3年間で培った力を出し切ることができた。10月5日、6日に備南西地区秋季体育大会が天草体育館で行われた。1回戦は里庄中学校と対戦し、40-59で敗退。県大会出場はできなかった。悔しい結果になったが次の大会に向けて良い経験ができた。

《中女子バスケットボール》 6月15日、16日に備南西地区総合体育大会が矢掛中学校で行われた。準決勝では鴨方中学校と対戦し、56-47で敗退し、惜しくも県大会出場は果たせなかった。10月5日、6日に備南西地区秋季体育大会が天草体育館で行われた。1回戦は矢掛中学校と対戦し、33-34で敗退。県大会出場は果たせなかった。11月10日玉島西中学校で行われた玉島・船穂・浅口・笠岡地区バスケットボール大会では、予選リーグ、

金光学園10―28船穂中学校、金光学園19―8玉島西中学校となり、リーグ2位となり2位リーグへ。2位リーグでは、金光学園34―33玉島東中学校に勝利し、結果3位となった。

《高男子バスケットボール部》 4月に第4回OBAバスケットボールリーグ2024が行われた。倉敷古城池高校、岡山南高校、総社南高校と対戦し、3勝しグループ1位となった。

5月11・12日に、総合体育大会備中地区予選会が開催された。倉敷高校と対戦し、勝利してブロンズ1位となり、5月末に行われる県大会への出場を決めた。

5月24日から岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部が開催された。一回戦で理大附属高校と対戦し、惜しくも敗れた。この大会をもって3年生は引退となったが、どんなときにも果敢に攻める姿を始終見せてくれた。

9月14日から第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岡山県予選会が行われた。新チームとして臨む最初の大会となった。2回戦で勝山高校に勝利、3回戦で倉敷高校に勝利したが、4回戦で理大附属高校と対戦し敗れた。

《高女子バスケットボール部》 4月に第4回OBA U-18バスケットボールチャレンジリーグに出場。

5月11日に第63回岡山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技の部備中予選会に出場。初戦、龍谷高校に59―42で敗退。

9月15日に第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会岡山予選会に出場。初戦、瀬戸高校と対戦し、58―29で敗退。

《中男子バレーボール部》

令和6年度後半の戦績

6月に行われた備南西地区大会を優勝して7月行われた県夏季大会はベスト4。

新チームとして10月の備南西地区大会を優勝。11月の県新人大会は天候不良のために決勝トーナメントが1月に順延した。

《高男子バレーボール部》

3月 全国私立選手権大会 ベスト16

グループ戦

金光学園2 (25―14 25―13) 0

正智深谷 (埼玉県)

金光学園2 (25―13 25―16) 0

専大北上 (岩手県)

金光学園2 (25―15 25―20) 0

常翔学園 (大阪府)

金光学園2 (27―25 25―23) 0
東洋 (東京都)
決勝トーナメント

1回戦

金光学園0 (23―25 21―25) 2

開智 (和歌山)

4月

春季大会 準優勝

2回戦 金光学園2―0倉敷天城

準々決勝 金光学園2―0岡山一宮

準決勝 金光学園2―1関西

決勝 金光学園1―2岡山東商業

5月

中国選手権大会 5位

2回戦 金光学園2―0米子工業

(鳥取県)

準々決勝 金光学園0―2高川学園 (山口県)

6月

岡山県総合体育大会バレーボール

競技 優勝 (2年連続7回目)

4回戦 金光学園2―0岡山龍谷

準々決勝 金光学園2―0岡山芳泉

準決勝 金光学園2―0関西

決勝 金光学園2―0岡山東商業

8月

全国高等学校総合体育大会バレー

ボール競技 ベスト16

グループ戦

金光学園1 (25―21 17―25 19―

25) 2慶應義塾 (神奈川県)

金光学園2 (25―18 25―22) 0

天理 (奈良県)

決勝トーナメント

2回戦 金光学園2 (25―12 25―

23) 0東京学館新潟 (新潟県)

3回戦 金光学園0 (18―25 12―

25) 2鎮西 (熊本県)

国民スポーツ大会中国ブロック予

選 準優勝

(U3) 亀山侑生、神崎優、不動

寺優斗、池田耕大)

岡山2―0鳥根 岡山2―0鳥取

岡山2―1広島 岡山0―2山口

全日本高等学校選抜選手 インド

ネシア遠征 U3神崎優

10月

佐賀国民スポーツ大会 ベスト16

(U3) 亀山侑生、神崎優、不動

寺優斗、池田耕大)

1回戦 岡山2 (19―25 25―22

25―20) 1静岡

2回戦 岡山0 (16―15 18―

25) 2京都

《高少林寺拳法部》

7月26日～28日に佐

賀県佐賀市で行われたインターハイに出

場した。女子単独演武で岸本奈那美 (3年) が準決勝に進出 (ベスト32)、女子団体演武で岸本、籠崎、恒本、尾高、高橋、佐藤、井藤、寺崎が準決勝進出 (ベスト18)、男子単独演武で西山和志 (2年) が予選敗退、女子組演武で籠崎なすな・恒本紗都 (3年)、尾高愛琉・高橋里桜奈 (3年) が予選敗退した。

11月2日に行われた岡山県新人大会に出場し、男子自由単独演武で西山和志 (2年) が2位、田淵伸太郎 (1年) が5位、能宗智 (1年) が8位、男子自由組演武で渡邊康稀・天野蓮太郎 (2年) が2位、男子団体演武で中尾、西山、渡邊、田淵能宗、天野が2位、女子自由単独演武で井藤ひより (1年) が4位、女子規定単独演武で寺崎心菜 (1年) が優勝という結果であった。うち、西山、田淵、渡邊・天野、井藤、寺崎は中国新人大会の、西山、渡邊・天野、寺崎は全国選抜大会の出場権を得た。

《中少林寺拳法部》 8月24日・25日に岡山県岡山市で行われた全国中学生少林寺拳法大会に出場した。女子単独演武で白神凜 (3年) が準決勝に進出した。

《木綿崎ボランティア部》 ほつま祭の手

作りキーホルダーの売り上げを、浅口市社会福祉協議会に寄付。2学期は、中高の在学生と一緒にSDGsに貢献できる取り組みをしたいという目標をもち、「エコフラー作り」を実施した。昔公学生服株式会社の企画で、廃材布を提供していただき、バラ作りを実施。わかばプロジェクト主催の土曜スクールに参加している小学生と中学生、部員の高校生で9月26日 (土) 午後と10月19日 (土) 午後の二回で延べ60人程度が参加。99本の花を仕上げた。3学期は校外活動も含め、誰かの笑顔のために」をモットーに活動を続けた。

《水泳》 高1田口大輝くんが、6月に行われた岡山県高等学校総合体育大会水泳競技の部に出場、バタフライ200mで第3位となり、7月に鳥根県で行われた中国高等学校選手権水泳競技大会に出場した。また、9月に行われる予定であった岡山県高等学校新人水泳競技大会が台風で中止になったため、エントリータイムによる選考が行われた。その結果、バタフライ100mで第5位、バタフライ200mで第2位となり、10月に山口県で行われた中国

学園だより

第9回イギリス短期語学研修

第2回ニュージージーランド現地校交流

3月20日～4月3日に第9回イギリス短期語学研修が、3月20日～30日に第2回ニュージージーランド現地校交流がそれぞれ実施され、海外ならではの異文化交流を体験し、無事に帰国した。4月5日には両コースとも本部参拝を行った。

出校日 4月4日、在校生が出校し、新

入学式 4月8日、中学は午前中に、高

校は午後からほつま体育館で行い、それぞれ131名、180名の新生が希望に胸を膨らませて入学した。

始業式 4月9日、中高合同で1学期始業式がほつま体育館で行われた。新任教員紹介の後、校長式辞、留学生紹介、春休み中に行われた国際交流活動報告などが行われ、在校生を代表して高3柿原千輝さんから歓迎の言葉、また新生を代

表して中1の杉本真莉彩さんから挨拶がそれぞれあった。

◆**新入生代表挨拶** 中1 杉本 真莉彩
暖かな春を迎え、私達中学校131名、高等学校180名は、金光学園の生徒として新たな仲間と新しい一歩を踏み出します。

これから始まる学園生活は、新鮮で、今しかできない体験がたくさんあり、希望に満ちあふれているものばかりです。何事も挑戦して楽しんでいこうという前向きな気持ちの反面、新しい環境への不安や心配もありますが、仲間と支え合い、乗り越えていきたいと思います。新たな体験の中の失敗や問題が発生した際、先生方、先輩方を巻き込んでしまうかもしれませんが。その際は温かく、また、厳しいご指導をくださいますようお願いいたします。

私達新入生一同は、長い歴史と伝統ある金光学園に通える有難さと、「人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに」の言葉を胸に、成長ある学園生活を送っていこうと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

新入生本部参拝 4月11日、青天に恵ま

れ中1と高1が金光教本部に参拝し、これからの学園生活の立ち行きをお願いした。その後、境内でクラス毎の記念写真を撮影した。



◇お届け(高1 小寺 希果)

4月8日に中学校新入生131名、高等学校新入生180名と留学生1名の合計312名は、多くの方々の祝福を受け、金光学園に無事進学させていただくことができました。お礼を申し上げます。

私たちは、新しい学校生活に期待や希望を持ち、入学しました。それぞれの学校生活の中で、勉強はもちろん、部活動や人間関係など、様々なことを大切にして、

学園生活を実りのあるものにしていくことを誓います。

これからの学校生活の中で、多くの壁にぶつかると思いますが、先生方、家族、友人など多くの方に支えていただきながら、乗り越えていきたいと思います。また、様々な制限がなくなった今だからこそ、行事も以前のように、全員が全力で楽しみ、安心して安全に過ごせるよう見守っていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇教主金光様のおことば

皆さん、おめでとうございます。どうぞ、お世話になるすべての人や物にお礼をいう感謝の心をもって、おかげを頂いていかれますよう、お祈りいたします。

街頭交通指導 4月9日～16日まで教員が通学路に立ち、交通安全・交通マナーについての指導を行った。

なんでも相談室 毎週水曜日に午前10時～午後5時まで第1相談室で開設され、学校カウンセラーがカウンセリング・助言・支援を行っている。

検尿 4月12・16日に検尿を実施した。

高1進路講演 4月12日、高1がベネッセコーポレーションの岩城将太氏による

「これからの高校生活に向けて」と題した講演を聴き、高校生としての学習において大切なこと、日々の過ごし方について学んだ。

高校生徒会役員選挙 4月13日、高校ほつま生徒会役員選挙が行われた。開票の結果、会長に藤井清慧くん(高2)、副会長に土屋晴輝くん(高2)、仁科英利子さん(高1)が決定した。

総合健診 中学生は4月17日に、高校生は4月18日に総合健診を行った。

高1一日旅行 4月17日、高1は一日旅行として、香川の中野うどん学校でうどん作り体験を行い、レオマワールドに行った。晴天に恵まれ、学年の親睦を深めることができた。

中1入校時合宿・高校春季球技大会 4月19日～20日、中1入校時合宿が行われた。19日は遙照山登山で飯ごう炊さんを行い、下山後学園歌コンクールや夜の集いを行った。20日は集団ゲームや町内クレーンオリエンテーションを行い充実した2日間となった。高校春季球技大会では高2・高3がソフトボール、フットサル、ドッジボール、ティーパーンで熱闘した。**心音心電図・血圧** 4月22日に中1、23

日に高1を対象に実施した。
中学新入生歓迎会 4月24日に開催され、新入生に向けて上級生が部活動の紹介などをを行った。

一日入部 4月25日・26日に行われ、新入生が部活動を見学・体験した。

やつなみ保護者会総会 4月27日、1限に授業参観、2限に学級会、3、4限に総会と講演が行われた。講演はNHK岡山放送局アナウンサー、塩田慎二氏（高49回卒）の「ことばの力を信じて」であった。

高3人權教育 4月30日、高3はNPO法人ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦先生による講演「私の歩んだ道」見えなから見えなものを聞き、笑いあり涙ありのお話の中から今後の人生への示唆を受けた。

高2進路学習 5月10日、高2は富士学院の村田慎一氏による進路講演を聞いた。

中3性教育 5月21日と6月4日に、男女交際や性感染症・避妊について学習した。
中学夏季球技大会 5月22日、夏季球技大会が行われた。バスケットボール、ドッジボール、ソフトボール、テニール、フットサル、フットベースボールに分かれ、熱闘した。

土曜日授業 1学期は5月23日（木）・6月5日（水）に、2学期は10月8日（火）に土曜日授業を実施した。

創立130年記念行事 人文字撮影 5月23日、グラウンドに全校生徒・職員が集まり、学園マークを人文字で作り、ドローンを使って撮影した。

高生徒会総会 5月24日、ほつま体に全校生徒が集合して開催された。生徒会執行部・事務局や各種委員会の基本方針、令和6年度予算などが承認された。

教育実習 5月27日～6月8・15日まで期間、卒業生7名が2週間ないし3週間の実習を行った。

塾対象説明会 5月29日、塾の先生を対象に学校説明会を開催した。金光学園の学習や行事、部活動などについて説明した。午前中には授業公開も行った。

創立130年記念音楽会兼令和6年度芸術鑑賞会 5月31日、高47回卒河田総一郎さんと佐々木望さんによるユニット「Soulful」によるコンサートとトークセッションが、ほつま体育館で行われた。軽音楽部とのジョイントも行われ、保護者も観覧するなどの盛り上がりを見せた。

耳鼻科・眼科検診 6月6日、中1と中

3（眼科のみ）を対象に実施した。
6月7日、高1と高3（眼科のみ）を対象に実施した。

中学生徒会総会 6月7日、ほつま体育館に全校生徒が集合して開催された。生徒会や常任委員の基本方針、令和6年度予算などが承認された。

高2修学旅行 6月10日～14日、北海道とオーストラリアとシンガポール・マレーシアの3コースに分かれて実施した。3コースとも雄大な自然・文化・歴史に触れ、見聞を広めた。

中3進路講演 6月11日、進路課長の籠崎恒祐教諭から「志を高く夢に向かって」という進路についての話を聞いた。

中2性教育 6月13日、120大講義室にて、かみむらウイメンズクリニックの上村茂仁先生の講演を保護者と共に聞いた。

高3・中3読書会 6月14日に高3が、6月18日に中3が、それぞれ読書会を行った。各人が希望した本ごとにグループに分かれ、お互いの意見を交換した。

一日体験入学パートI（小学生対象） 6月22日、午後から行われた一日入学では、授業体験や説明会が行われた。総勢約20名の参加者が来校し、賑やかに行われた。

高2理系探究中間発表会 6月26日、高2の総合進学理系クラス全員と、特別進学理系クラス探究Ⅱ選択者が中間発表会を行った。各グループは中間発表を行い、オンラインもしくは対面で助言者から指導、助言をいただいた。

韓国春川女子高等学校第12回姉妹校交流 7月9日～13日に姉妹校である韓国の春川女子高等学校に生徒15名と引率教員2名の計17名が訪問した。授業や研修をホストシスターと一緒に体験するなど、充実したプログラムの中、互いの絆を深め合った。

高2性教育 7月10日、助産師の内尾京子先生（公設国際貢献献大学校）の「責任ある性」と題した講演を聞いた。

中2広島平和研修 7月12日～13日に、中2は一泊二日の広島平和研修を行った。初日は、ピースバディと共にピースワークツアーに取り組み、平和祈念公園を散策後、平和集会やピースワークショウプのまとめを行った。夜には「キャンドルの集い」が行われた。2日目は千羽鶴の献納、平和資料館の見学を行い、平和の大切さを深く学んだ。
高1夢ナビライブ参加 7月15日、高1

は「夢ナビライブ」にオンラインで参加した。大学の先生の講義を受けたり、各大学の説明を聞いたりして、大学進学・進路選択に対する意識を高めた。
1学期終業式 7月26日、1学期終業式が行われた。

サマーチャレンジ 7月26日・29日・30日特別進学クラス全員と総合進学クラスの希望者を対象に、サマーチャレンジを実施した。3日間で集中的に発展的な学習に取り組んだ。

一日体験入学パートⅡ（小中学生対象） 7月27日、オープンスクールを開催した。小中学生・保護者合わせて約500名の参加となった。授業体験、部活動体験、説明会などを行った。

サマーイングリッシュジュビレッジ 7月31日～8月1日にサマーイングリッシュジュビレッジ初級を、8月21日から23日に中級を実施した。生徒10人に対して1人の割合で外国人講師がオールイングリッシュの授業を行った。

教職員夏期研修 8月22日、全職員が参加して37回目の夏期研修が行われた。岡山県教育庁人権教育・生徒指導課 和氣史弥先生による講話「いじめへの対応と記

録の取り方について」と、慈恵病院城戸高志先生による講話「学校における子どもたちの生きのびる力をそがない関わり方」を聞き、質疑応答を交わすことで、実り多き研修会となった。

一日体験入学パートⅢ 8月24日、中学生を対象としたオープンスクールを開催した。9時20分から中学生と保護者対象に授業体験、部活動体験、説明会などを行った。

始業式 8月26日、ほつま体育館に全校生徒が集合しての2学期始業式が行われた。

金光学園杯小学生招待バレーボール大会 9月1日、第20回になる大会が、小学生20チームを招待しほつま体育館で開催された。

教育実習 9月2日～9月14日までの2週間に卒業生1名が実習を行った。
ほつま祭・一日入学パートⅣ 9月7日～8日にほつま祭が開催された。来場者制限は設けず、高3有志によるバザール、保護者の方によるキッチンカー、学園マルシェなど飲食も充実し、大盛況の2日間であった。

高校体育会 9月11日、保護者の方にもご来校いただき高校体育会が開催された。暑さにより午前中で終了したが、それぞれ

の競技でブロック対抗の熱戦が繰り広げられた。

高1・高2進路講演 9月20日の6時間目に高1が、9月27日の6時間目に高2が、リクルートの佐々木太陽氏による「文理選択の進め方・考え方」と題した講演を聴き、学力向上に向けて大切な2学期の過ごし方について学んだ。

中1心の教育 9月23日の6時間目に中1が、「和賀心」のビデオを鑑賞し、人を思いやる心を学んだ。

高1進路学習 仕事の流儀 9月24日の5〜7時間目に、120大講義室にて高1が、16種の職業人を迎え、地域で実際に働いている社会人の先輩方からお話を聞き、進路について考えるきっかけとなった。

塾対象説明会 9月25日、塾の先生方を対象に令和6年度の中学・高校入試などについて説明を行った。

中学教員対象説明会 9月26日、県内外の中学校の先生26名をお招きし、令和7年度入試の説明会を開催した。

京都アメリカ大学コンソーシアム来校 9月27日、京都アメリカコンソーシアムの大学生19名が来校した。6時間目に中学3年生と交流会を行い、放課後は部活

動体験を行った。その後120大講義室で歓迎会が開催され、音楽部吹奏楽団によるミニコンサート、ホストファミリーや、国際交流クラブのメンバーも参加しての交流が行われた。

2学期中間考査 高校は10月10日〜、中3は11日〜、中1、2は15日〜16日まで2学期中間考査を実施した。

金光学園杯小学生卓球大会 10月13日、第24回卓球大会が小体育館で開催された。14名の参加があり、シングルスで男女別

に優勝杯を競い合った。

高校生と浅口市議会との意見交換会 10月16日、市長・市議会議員6名をお招きし、高校生の希望者との意見交換会がセミナー室で行われ、活発な議論がなされた。

球技大会 10月18日、高1・2年の球技大会が開催され、熱戦が繰り広げられた。

中1性教育 10月18日、中1は男女の身体

の仕組みや、心のあり方が異なることを説明したビデオを鑑賞し、感想文を書いた。10月29日には感想文をまとめた学年通信とともに、男女の違いを理解するとともに、人と人とのよりよい関係づくりについて学んだ。

来春の中学校入試を受験する小学校6年生を対象に、10月26日、来春の高等学校入試を受験する中学3年生と学園の中学3年生を対象に模擬テストを行い、多くの受験生が本番さながらに挑戦した。また高校の推薦入試希望者には面接を行った。その後、入試説明が行われ、それぞれに令和7年度入試についての説明を行った。

避難訓練 10月22日、火災が発生したとして避難訓練を実施した。

中3進路学習 10月22日、中3は高校教務課長の西山龍明教諭から高校の学習について心構えを学んだ。

租税教室 11月2日、高2を対象に、「税理士による租税教室」が行われた。玉島税務署署長 近藤美野氏、総務係長 越智孝弘氏、本校のOBでもある笠原弘孝税理士事務所 笠原弘孝氏が来校し、講演を行った。税について多岐にわたる内容を学び、税の大切さを学んだ。

中3フィールドスタディ福山市企業訪問 11月2日、中3は探究授業の一環として福山市にある17企業への訪問を行った。各自希望する企業へは、交通手段も自力で調べ、公共機関を使ってグループごと

に訪問した。到着後は、企業見学をしたり仕事内容の説明を聞いたりすることで、将来の職業について考えるよききっかけとなった。

読書会 中2は11月5日に、高1は11月15日に、高2は11月22日に、それぞれ学年で希望の本を選び、各グループに分かれて、意見交換を行った。

創立130年記念式 11月8日、創立130年記念式がほつま体育館で厳かに挙行された。生徒代表 金光圭士さんの所願表明は大変すばらしく、後輩に向けて大変な元気を与えた。記念講演は高38回卒業の劇団四季専務取締役 越智幸紀氏を講師に迎え、「お客様に喜ばれる仕事」という演題で実施された。

一日体験入学パートV 11月9日(土)、小学校5、6年生を対象にしたオープンスクールを実施した。11時20分から授業見学、食堂体験、部活動体験、学園生による説明会などを行った。児童は65名、総員130名が来校された。

中1・2進路学習 11月13日、中1は3〜4限目に23名の方に、中2は5〜6限目に20名の方に、それぞれほつま体育館にてNPOだっぴの方に「ご指導いただき、

「大人と夢を語るプログラム」と題し、将来の職業を見据えた中学校時代の過ごし方について考えた。

倉敷弦楽アンサンブル演奏会 11月16日、120記念館にて、教育後援会メタセコイアの会主催の倉敷弦楽アンサンブルによるコンサートが行われた。

Gakuen English day 11月17日、中2が終日120大講義室等にてGakuen English dayを行なった。ベルリッツ講師(10名)によるゲームやスポーツなどを交えた英会話

を、小グループに分かれて受講する取り組みを行い、楽しく英語を学んだ。

中学体育会 11月20日、中学体育会が開催された。好天に恵まれての開催となり来場者も多く、大変な盛り上がりの中、熱戦が繰り広げられた。創立130年の記念すべき体育会となった。

中3美術館見学 11月22日、学校メンバー制度を利用し、中3は大原美術館等の見学を行った。

探究Ⅱ校内発表会 11月27日に特進クラス理系選択者による発表、28日に特進クラス文系選択者による発表が行われた。両日とも120大講義室で行われ、テーマごとに、スライドによるプレゼンテーショ

ンを行った。

2学期末考査 中・高ともに12月2日〜(中1は3日〜)、6日まで、期末考査を実施した。

中学適性検査型入試 12月8日、令和7年度中学適性検査型入試が行われ、132名が受験した。

人権教育 高2は、12月13日、笠岡市人権擁護委員の方8名をお招きしてデートDVについて講演をしていただいた。

2学期終業式 12月24日、2学期終業式をほつま体育館で行った。

お慶び 事務職員 市川智裕氏には10月27日にご結婚、戸田洋平先生には12月8日に長男のご誕生、お慶び申し上げます。

お悔やみ 松本蓮太郎先生の御祖母様には4月25日に、久野恵理子先生の御祖母様には7月2日に、藤澤奈美恵先生の御母堂には8月10日に、天野浩美先生の御尊父には9月16日に、中村美江様(高1保護者)には10月9日に、竹内仁志先生のご尊父には12月1日にご逝去、謹んでお悔やみ申し上げます。

高2 修学旅行 オーストラリア



高2 修学旅行 シンガポール・マレーシア



高2 修学旅行 北海道



教室の窓から

大学共通テストまであと数か月となり、大学受験もいよいよ後半戦。高校3年生はそれぞれの夢の実現に向かって、受験勉強に邁進しながら偏差値に翻弄される日々を過ごしている。ホームルームの時間、午前中に実施した大学共通テスト模試の自己採点中に「よし！今回は出来た」という声に混じって「あゝ最悪や」といった声も聞こえてくる。特に国語の評論が難しかったようで「国語勉強しているのにどうしたら点数上がるんやろ？」と生徒勉強のしかた教えてほしい」と生徒。国語が一番苦手な科目だったため、私自身も知りたいくらいであるが、ほかの生徒が「やっぱり、普段から本を読まんといけんのかな」や「アドバイスを送る。私自身は幼い頃より本を読むことは好きなのであるが、国語の成績がよくなった覚えがない。本を読むことで国語の力は身につくのか？」その疑問は私の中では永遠のテーマである。生徒にはやはり国語の担当の先生に一刻も早く相談に行くようにアドバイスをした。どの教科にも成績を上げるコツはあるように思い、進路雑誌で国語の勉強法について私も調べてみた。

「鳥の眼」「虫の眼」の読解術

文章を正確に読み解くためには、「鳥の眼」と「虫の眼」の2つの視点が必要。「鳥の眼」とは、鳥が上空から陸地を俯瞰するように、文章全体を大きくとらえる眼差しである。段落・文章レベルで、全体をマクロに押えるには欠かせない。一方、「虫の眼」とは、地上の虫が微小な世界をとらえるように、「一語一語を緻密に押える眼差し」である。単語・語句レベルで、細部までミクロに押さへ、

特に難解な内容を押さえるときに大事になる。文章を読むときには、細部の意味を理解している必要があると同時に、大きく全体を理解していなければならない。それゆえ、どちらも常に起動している状態こそ読解の基本だと言える。

私も国語が苦手な生徒も特に要旨を把握する力である「鳥の眼」の視点が弱いのではないかと考えた。「鳥の眼」の視点を強化することは国語の成績だけでなく実際に社会に出たときに必要となるだろう。物事に言い詰まった時、視点を換えることで解決へ近づけることがある。物事を見る視点には人により癖があるので、その癖に気づかされた答えをみつけられる可能性が高まるのではないかと他の人との対話によって新たな視点に気がつくこともあった。私が本を読むのは、何かしらの悩みを抱えたとき、新たな視点を得たいからのような気がする。本を読むことで出会った言葉や知識、新たな視点はときに自分を支えてくれる力となる。本を読むことで物語の主人公となることが出来て自分の心が少し自由になれる気がする。

私は、国語の成績を上げたいために本を読んだことはないが、どの教科の成績もいかに越したことはないと思ったり、思いがけず点だった知識が繋がって、自分自身が腑に落ちる瞬間がやってきましたりして学ぶことが楽しくなることもある。社会に出れば、すぐ正解にとり着かない問いに直面することも多い。成績の悪い教科を試行錯誤しながら一生懸命考えて学ぶ時間そのものにも意味があるのではないだろうか。受験まであと少し。共通テストに向けて、授業・補習で対策演習を行い、出来る限りの取り組みをして送り出した。

編集後記

小・中・高と運動会のリレーで活躍できるような脚力を持つておらず、グラウンドを華麗に走り抜ける友人達を「すこいなあ」と見送る側でした。「リレー競技」とのご縁はほとんどない人生ですが、百三十年誌の編集をしながら「これもある意味リレーかも」と思うようになりました。先人達が積み上げた歴史をまとめ、確実に次の世代に送っていく。パトンや球ではないですが、「つなぐ」という行為は、人間のあらゆる営みの中で最も尊いものではないでしょうか。今、ここにいることが、「金光学園リレー」の真つ最中なのだなと感じながら、今回の合併号を編集しました。「知ることは愛すること」を胸にこれからも学園の歴史を記録していきたいです。

令和6年12月14日印刷
12月24日発行

編集者 金光学園やつなみ保護者会
やつなみ編集部

印刷所 倉敷市船穂町船穂二〇九五―一
玉島活版所

発行所 浅口市金光町古見新田一三五〇
金光学園内
金光学園やつなみ保護者会

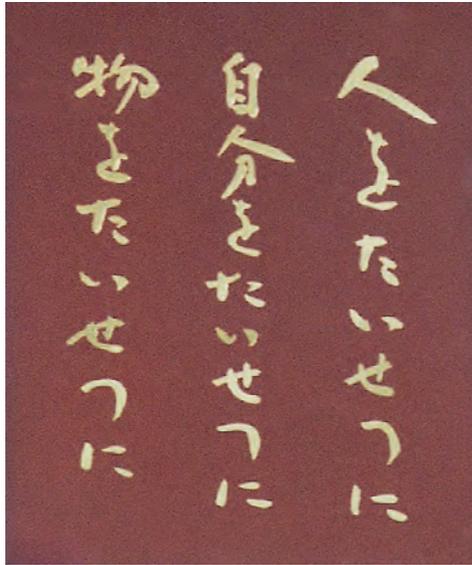


高校体育祭



ほつま祭





◎ほつま = 秀真

非常に優れ整い備わっていることの意。

「日本という国」の古異名の一つ。

創立後、生徒会や冊子の名に使用。

ほつま体育館、ほつま祭などで使われる。

◎やつなみ = 八波

どこまでもひろがり栄えゆく願いをこめる。

金光教・学園・中学・高校の徽章のふちどり。

P T A機関誌創刊当時、会員から公募してつけた。



homepage



facebook



Instagram

人をたいせつに 自分をたいせつに 物をたいせつに

<https://www.konkougakuen.net>

E-mail info@konkougakuen.net